



徳島大学

環境防災研究センター年報

第22号

2026年3月



徳島大学環境防災研究センター

Research Center for Management of Disaster and Environment

連絡先

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島2丁目1番地
徳島大学環境防災研究センター
Tel : 088-656-8965 Fax : 088-656-8017
E-mail : office@rcmode.net

序 文

昭和東南海地震(1944年)及び徳島県にも甚大な被害をもたらした昭和南海地震(1946年)が発生してからすでに約80年が経過し、南海トラフにおける次の巨大地震の発生リスクは高い状況が続いています。2025年3月末に発表された国の新しい被害想定に続いて、徳島県も2026年2月に独自の被害想定を公表しました。犠牲者数や全焼・焼失建物数は、これまでの対策効果などが見込まれ、前回(2013年)より幾分小さく想定されていますが、広範囲の津波浸水や震度7エリア拡大などにより、被害規模が依然として大きいことに変わりはありません。南海トラフ巨大地震による被害を最小限に抑えるべく、防災・減災対策の継続的な取り組みが強く求められています。

当センターは環境と防災の両面から安全・安心な地域づくりに貢献するため、地域社会と緊密に連携しながら教育研究・社会貢献活動を行っています。環境面では生態系・生物多様性に関する調査研究や、グリーンインフラ・生態系を活用した防災・減災(Eco-DRR)の調査研究等を実施しています。令和7年度は沿岸域では、尼崎運河での市民協働調査、兵庫運河での魚類・海草調査等を実施し、河川域では徳島県飯尾川での環境DNA調査、山岳域では絶滅の危機に瀕するツキノワグマ四国個体群の保護増殖計画策定に向けたヒアリング調査を実施しました。

当センターの防災グループは災害科学研究、各種自然災害・災害対応の調査研究を推進し、研究・調査成果を地域社会へ発信すると共に、行政、企業、団体、他の大学などと連携・協働し、防災人材育成や地域貢献活動、大学BCPの取組等を積極的に行っています。災害調査関係では、令和7年8月豪雨による熊本県内の浸水や土砂災害被害調査・福祉施設インタビュー調査、令和6年能登半島地震・奥能登豪雨による被害地の復旧・復興ヒアリング調査、今治市及び岡山市・玉野市で発生した林野火災の被害地現地調査・ヒアリング調査等、多数の災害調査を実施しました。

防災人材育成については、徳島県地域防災推進員養成研修や徳島大学防災リーダー養成講座(長期講座)、徳島県職員等講習会・地域防災推進員養成研修(短期講座)を行うと共に、鳴門市地域防災リーダー養成講座・上板町防災士養成講座も開催し、計807名が今年度の防災士養成講座を修了しました。また防災士の実践スキルを向上させることを目的に防災士のためのスキルアップ研修を徳島県との共催で実施しました。平成25年から香川大学と共同で運営している四国防災・危機管理プログラムは、令和7年度・第12期プログラム生が修了し、累計297名の修了生を輩出しました。

大学BCPの取り組みでは、1)学生・教職員を対象とした防災訓練の実施、2)常三島体育館における避難所開設初動の検討、3)災害対策総合訓練の検討の3つの柱で進めました。昨年立ち上げた徳島大学防災サークル「てくと」は、科学体験フェスティバル in 徳島やとくしま防災フェスタ、能登の中高生との交流等を通じて、大学内にとどまらない学生主体の地域連携活動を担ってきました。

市民向けの啓発活動や地域支援活動も積極的に展開しています。毎月開催の環境防災カフェや

マスメディアを通した防災啓発の他、徳島市地震・津波避難支援マップ制作、四国防災八十八話マップや四国防災八十八話マップカルタ、四国おへんろ防災スゴロクなどの教材を使った災害伝承・防災教育等を実施しています。また発災後の被災者支援人材を育成するための防災教育も行っており、災害ケースマネジメントの担い手となる人材の育成研修を徳島県やNPO等と連携して実施しました。当センターのスタッフは地方自治体の委員会等に多数参画・参加しており、セミナーなどに毎年多数の講師派遣を行うと共に、地域社会活動への支援も行っています。

今後とも地域の環境保全・防災力向上に向けて継続的に取り組んでまいりますので、引き続きご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和8年3月

徳島大学環境防災研究センター
センター長 蔣 景 彩

徳島大学環境防災研究センター 年報
第22号

目 次

I 目的・組織

1. はじめに	1
2. 目的	1
3. 組織と運営	2

II 令和7年度活動状況

1. 運営委員会等関係

1. 1 運営委員会	3
------------	---

2. 主催・共催等事業

2. 1 主催事業	8
2. 2 共催・協力事業	20

3. 調査

3. 1 災害調査	26
3. 2 聞き取り調査	27
3. 3 環境調査	28
3. 4 現地視察	29
3. 4 その他	29

4. 社会貢献

4. 1 外部委員等	30
4. 2 講師派遣	38
4. 3 支援・協働	60
4. 4 連携協定	63
4. 5 その他	63

5. 研究

5. 1 経常経費特別分	69
5. 2 学長裁量経費（機能強化）研究クラスター	69
5. 3 受託研究	69
5. 4 共同研究	71
5. 5 受託事業	72
5. 6 助成金	73
5. 7 寄附金	74

6. 研究業績

6. 1 著書	75
6. 2 論文	76
6. 3 研究発表等	83
6. 4 受賞・表彰	99
6. 5 その他	99

III 徳島大学環境防災研究センター規則	100
-----------------------------	-----

I. 目的・組織

1. はじめに

徳島大学環境防災研究センターは、環境と防災に関わる諸問題を文理両面から総合的に研究するとともに、研究成果を活用した地域連携ならびに地域貢献事業を推進する学内共同教育研究施設として、全学的な協力・支援体制のもと平成16年4月1日に発足しました。

2. 目的

南海トラフ地震は南海トラフ沿いを震源域とするプレート境界型の巨大地震で、10 年以内に発生する確率は30%程度、30 年以内に発生する確率は80%程度(2025 年1 月時点)とされています。徳島県では、この地震による津波災害、構造物被害、土砂災害等への対策や地震後の人的・物的被害に対する短期・長期的支援や復旧活動に関わる社会的、医療的問題等、早急に解決しなければならない課題が山積しています。

他方、前世紀後半における人間活動の急激な拡大や地球温暖化の進行が世界的な異常気象をもたらし、地球規模で見れば洪水・渇水災害、異常高・低温災害、強風・竜巻災害、斜面災害等が昨今、日常的に発生しています。さらには、大気・土壌・地下水汚染など化学物質に由来する環境災害も依然として深刻な状況にあります。

このように、災害危険度の増大や災害形態の変貌等、いわゆる負の遺産の蓄積が明白な中で、わが国では、安全・安心な社会を構築し、次世代に引き継ぐために、産・官・学一体となって防災対策ならびに危機管理体制の確立と充実に向けた機運が高まっています。

一方、防災対策と自然環境の保全が往々にして対立の構図を描く点を見逃すわけにはまいりません。すなわち、防災対策などの人為作用が自然環境系とくに生態系に大きいダメージを与え、しばしば社会的な批判を浴びてきた点です。今後の防災対策では、その実効性の追求は勿論ですが、自然を尊重し、環境との共生を図ることが重視されなければなりません。

以上のような防災と環境の問題を合理的に解決するためには、関連する学術分野が単独に個別課題の研究の高度化を図るだけでは不十分です。課題の本質からして、工学分野、理学分野、人文・社会科学分野、医・薬学分野など、広範な学術分野間の有機的な連携と協働が不可欠です。さらに、これらの研究成果を広く学会ならびに社会に発信するとともに、とくに地域性の強い課題については、その解明と解決に向けて具体的かつ積極的な支援を行っていく必要があります。

徳島大学環境防災研究センターでは、以上のような観点より、

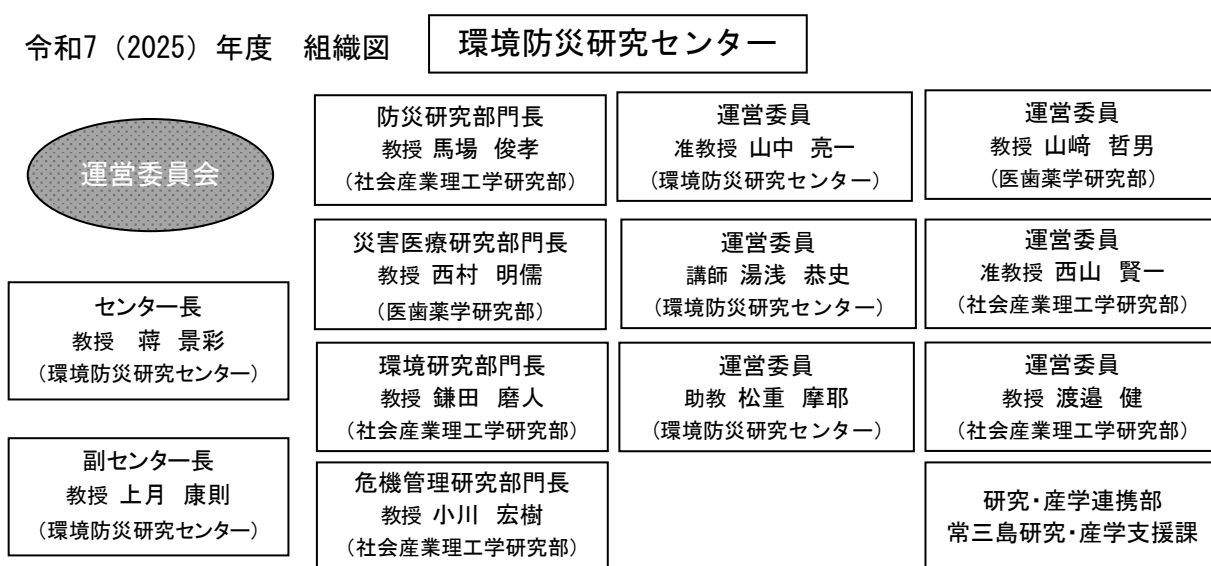
- ①地域の防災・環境・危機管理に関連する研究の高度化
- ②地域の防災・環境・危機管理に関連する学内分野の連携・協働体制の形成と支援
- ③研究成果を活用した地域貢献・支援活動の推進
- ④地域の防災・環境関連情報の集積・管理・発信とその有効利用法の開発

を推進する文理融合型の研究活動拠点となることを目的としています。

3. 組織と運営

センターはセンター長、副センター長のもとに4部門（組織図参照）を置き、研究と地域連携事業を推進することとしています。平成19年度からは全学共通教育の中で徳島大学防災リーダー養成講座として科目提供を行っているほか、平成25年度からは大学院先端技術科学教育部において、四国防災・危機管理プログラムを提供するなど、研究成果を教育に活かす活動も行っています。センターの運営全般に関わる事項については、正・副センター長と4名の部門長、さらにそのほか運営委員会が認めた者を加えて構成する運営委員会が所掌し、事務一般は、研究・産学連携部常三島研究・産学支援課が担当しています。全学から期限付きで招致された教員からなるプロジェクト推進チームで多くの研究・事業プロジェクトを精力的に進めています。

本センターの令和7年度の運営体制（2026年3月1日時点）は次図のとおりです。



防災研究部門	青矢 陸月 准教授	多田 美由貴 助教	西田 貴明 客員教授	井若 和久 特任助教
馬場 俊孝 教授	内藤 直樹 准教授	上白川 沙織 助教	大谷 壮介 客員教授	中野 晋 特命教授
蔣 景彩 教授	森山 仁志 講師	環境研究部門	小串 重治 客員准教授	宇野 宏司 客員教授
武藤 裕則 教授	堀越 一輝 講師	鎌田 磨人 教授	飯山 直樹 客員准教授	坂東 淳 客員准教授
安間 了 教授	中野 晋 客員教授	上月 康則 教授	危機管理研究部門	三上 卓 客員准教授
野田 稔 教授	張 浩 客員教授	奥嶋 政嗣 教授	小川 宏樹 教授	徳永 雅彦 客員准教授
矢部 拓也 教授	古谷 綱崇 客員准教授	山中 亮一 准教授	上月 康則 教授	西村 実徳 客員准教授
田口 太郎 教授	災害医療研究部門	渡辺 公次郎 准教授	光原 弘幸 教授	中島 康利 専門研究員
山中 亮一 准教授	西村 明儒 教授	山城 考 准教授	山中 亮一 准教授	技術スタッフ
西山 賢一 准教授	佐藤 健二 教授	佐々木 千鶴 准教授	金井 純子 准教授	平田 順子 技術補佐員
田村 隆雄 准教授	内海 千種 教授	松重 摩耶 助教	湯浅 恭史 講師	尾野 美香 技術補佐員
上野 勝利 准教授	岡久 玲子 教授	中西 敬 客員教授	白山 敦子 講師	片山 理恵 技術補佐員
三輪 昌史 准教授	主田 英之 准教授	山本 裕史 客員教授	畠 一樹 講師	
中田 成智 准教授	松下 恭子 准教授	古川 恵太 客員教授	松重 摩耶 助教	

Ⅱ 令和 7 年度活動状況

1. 運営委員会等関係

1. 1 運営委員会

第 1 回運営委員会

- 1) 開催日 2025 年 4 月 7 日 (月) [WEB 会議 (Teams)]
- 2) 議題
 - (1) 客員教員の発令について
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告 (～令和 7 年 3 月) 及び今後の予定について
 - (2) 受託事業の受入について
 - (3) 寄附の受入について
 - (4) 台湾科技大学訪問について
 - (5) 花蓮地震調査報告会について
 - (6) 令和 7 年度とくしま大学環境防災 Café の年間予定について
 - (7) 令和 7 年度 FM 徳島「防災 Café」の年間予定について
 - (8) 徳島大学 BCP の取組について
 - (9) 令和 6 年度 3 月環境防災 café の実施報告について
 - (10) 環境防災研究センターホームページのアクセス状況について

第 2 回運営委員会

- 1) 開催日 2025 年 4 月 17 日 (木) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 主催行事の開催について

第 3 回運営委員会

- 1) 開催日 2025 年 5 月 7 日 (水) [WEB 会議 (Teams)]
- 2) 議題
 - (1) 令和 7 年度環境防災研究センター運営会議の開催日について
 - (2) 令和 7 年度部門スタッフの新規推薦について
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告 (～令和 7 年 4 月) 及び今後の予定について
 - (2) 受託研究の受入について
 - (3) 令和 6 年度徳島大学 BCP に関する報告について
 - (4) 令和 7 年度第 1 回環境防災 Café の実施報告について
 - (5) 環境防災研究センターホームページのアクセス状況について

第4回運営委員会

- 1) 開催日 2025年6月2日(月) [WEB会議 (Teams)]
- 2) 議題
 - (1) その他
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告(～令和7年5月)及び今後の予定について
 - (2) 受託研究の受入について
 - (3) 寄附金の受入れについて
 - (4) 令和7年度徳島大学BCPに関する報告について
 - (5) 令和7年度第2回環境防災caféの実施報告について
 - (6) 環境防災研究センターホームページのアクセス状況について

第5回運営委員会

- 1) 開催日 2025年7月7日(金) [WEB会議 (Teams)]
- 2) 議題
 - (1) 徳島大学AWA(OUR)サポートシステム女性リーダー育成上位職登用プロジェクトの公募について
 - (2) 共催行事の開催について
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告(～令和7年6月)及び今後の予定について
 - (2) 共同研究の受入について
 - (3) 協力行事の開催について
 - (4) 令和7年度徳島大学BCPに関する報告について
 - (5) 令和7年度第3回環境防災caféの実施報告について
 - (6) 環境防災研究センターホームページのアクセス状況について

第6回運営委員会

- 1) 開催日 2025年7月28日(月) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 主催行事の開催について

第7回運営委員会

- 1) 開催日 2025年8月4日(月) [WEB会議 (Teams)]
- 2) 議題
 - (1) その他
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告(～令和7年7月)及び今後の予定について
 - (2) 寄附金の受入について
 - (3) 令和7年度徳島大学BCPに関する報告について
 - (4) 令和7年度第4回環境防災caféの実施報告について

- (5) 環境防災研究センターホームページのアクセス状況について

第8回運営委員会

- 1) 開催日 2025年9月8日(月) [WEB会議 (Teams)]
- 2) 議題
 - (1) 後援名義の使用申請について
 - (2) 主催行事の開催について
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告(～令和7年8月)及び今後の予定について
 - (2) 受託研究の受入れについて
 - (3) 令和7年度徳島大学BCPに関する報告について
 - (4) 令和7年度第5回環境防災caféの実施報告について
 - (5) 環境防災研究センターホームページのアクセス状況について

第9回運営委員会

- 1) 開催日 2025年9月19日(金) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 主催行事の開催について

第10回運営委員会

- 1) 開催日 2025年10月6日(月) [WEB会議 (Teams)]
- 2) 議題
 - (1) とくしま大学環境防災café番外編(公開講座)の開催について
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告(～令和7年9月)及び今後の予定について
 - (2) 寄附の受入れについて
 - (3) 徳島大学BCPの取組について
 - (4) 令和7年度9月環境防災caféの実施報告について
 - (5) 環境防災研究センターホームページのアクセス状況について

第11回運営委員会

- 1) 開催日 2025年10月30日(木) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 主催行事の開催について

第12回運営委員会

- 1) 開催日 2025年11月10日(月) [WEB会議 (Teams)]
- 2) 議題
 - (1) 蔵本地区の学生を対象としたシェイクアウト訓練について

(2) 主催行事の開催について

3) 報告事項

- (1) 事業報告（～令和 7 年 10 月）及び今後の予定について
- (2) 令和 6 年度徳島大学組織別評価の評価結果について
- (3) 寄附の受入れについて
- (4) 徳島大学 BCP の取組について
- (5) 令和 7 年度 10 月環境防災 café の実施報告について
- (6) 環境防災研究センターホームページのアクセス状況について

第 13 回運営委員会

1) 開催日 2025 年 12 月 8 日（月）[WEB 会議（Teams）]

2) 議題

(1) その他

3) 報告事項

- (1) 事業報告（～令和 7 年 11 月）及び今後の予定について
- (2) 共同研究の受入について
- (3) 徳島大学 BCP の取組について
- (4) 令和 7 年度 11 月環境防災 Café の実施報告について
- (5) 環境防災研究センターホームページのアクセス状況について

第 14 回運営委員会

1) 開催日 2026 年 1 月 6 日（火）[WEB 会議（Teams）]

2) 議題

- (1) 再任審査について
- (2) 共催行事の開催について

3) 報告事項

- (1) 事業報告（～令和 7 年 12 月）及び今後の予定について
- (2) 徳島こども防災会議について
- (3) 徳島大学 BCP の取組について
- (4) 令和 7 年度 12 月環境防災 Café の実施報告について
- (5) 環境防災研究センターホームページのアクセス状況について

第 15 回運営委員会

1) 開催日 2026 年 2 月 2 日（月）[WEB 会議（Teams）]

2) 議題

- (1) 環境防災研究センター教員の再任審査について
- (2) 共催行事

3) 報告事項

- (1) 事業報告（～令和 8 年 1 月）及び今後の予定について

- (2) 徳島大学 BCP の取組について
- (3) 令和 8 年度 1 月環境防災 café の実施報告について
- (4) 環境防災研究センターホームページのアクセス状況について
- (5) 令和 7 年度防災士養成講座について
- (6) 東日本大震災の復興と災害伝承を学ぶ視察について

第 16 回運営委員会

- 1) 開催日 2026 年 2 月 5 日 (金) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 主催行事の開催について

第 17 回運営委員会

- 1) 開催日 2026 年 3 月 2 日 (月) [WEB 会議 (Teams)]
- 2) 議題
 - (1) 令和 8 年度環境防災研究センター運営委員会委員について
 - (2) 令和 8 年度客員教員の選考について
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告 (～令和 8 年 2 月) 及び今後の予定について
 - (2) 徳島大学 BCP の取組について
 - (3) 令和 8 年度 2 月環境防災 café の実施報告について
 - (4) 環境防災研究センターホームページのアクセス状況について
 - (5) 令和 8 年度環境防災研究センター運営会議の開催日について

2. 主催・共催等事業

2. 1 主催事業（事業名、日時、場所、内容、参加人数 など）

1) 令和7年度台湾花蓮地震オンライン速報会

主 催：徳島大学環境防災研究センター

日 時：2025年4月2日（水）18：30～20：00

場 所：オンライン

報 告：(1) 蔣 景彩 「地震と台風による土砂災害と復旧対応」

(2) 堀越 一輝 「地震動の特徴と地盤・建物被害」

(3) 上月 康則、大西 昌(D学生)、松家 茉莉子(M学生)「避難所と被災者支援」

(4) 飯田 政義（徳島県危機管理部・次長(危機管理政策課長)）・岡 龍太郎(徳島県危機管理部防災対策推進課・主事)「官民連携による災害対応」

(5) 湯浅 恭史 「内政部消防署中央応急対応センターの取組」

参加者：105名

2) 防災 Café（FM 徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内）

放送日時：毎週金曜 17:45～18:00

パーソナリティ：土橋 琢史（FM 徳島アナウンサー・防災士）

内 容：徳島大学環境防災研究センターのスタッフがゲスト出演し、専門家の立場から防災について話す

- ・第1回、2025年4月11日、蔣 景彩「令和7年度の防災 Café!最新の動向を踏まえた災害への備え①」
- ・第2回、2025年4月18日、上月 康則「最近の自然災害、防災の話題1」
- ・第3回、2025年4月25日、松重 摩耶「令和6年度能登半島地震での能登町 LINE オープンチャットの活動事例について」
- ・第4回、2025年5月9日、坂東 淳「あなたのまわりの災害リスクは?～重なるハザードマップとキックル」
- ・第5回、2025年5月16日、内藤 直樹「流域治水(鳴門の事例)」
- ・第6回、2025年5月23日、三輪 昌史「水上ドローンでの調査」
- ・第7回、2025年5月30日、馬場 俊孝「南海トラフ地震の被害想定の見直しについて」
- ・第8回、2025年6月13日、中野 晋「大雨災害への備え」
- ・第9回、2025年6月20日、蔣 景彩「土砂災害補への備え」
- ・第10回、2025年6月27日、金井 純子「要配慮者の避難」
- ・臨時、2025年7月4日、蔣 景彩「トカラ列島群発地震から考える地震への備え」
- ・第11回、2025年7月11日、野田 稔「風がもたらす災害」
- ・第12回、2025年7月18日、田村 隆雄「ただいま作成中!北井上地区災害避難支援マップ」
- ・第13回、2025年7月25日、西山 賢一「「自然災害伝承碑」から学ぶ徳島の防災」
- ・第14回、2025年8月8日、西村 実穂「保育施設の災害対応」
- ・第15回、2025年8月15日、上月 康則「最近の自然災害、防災の話題2」
- ・第16回、2025年8月22日、山中 亮一「高潮による生態系の攪乱」

- ・第17回、2025年8月29日、小川 宏樹「安心・安全の家づくりと建築基準法改正」
- ・第18回、2025年9月12日、坂東 淳「171を使ってみよう！～災害時の安否確認」
- ・第19回、2025年9月19日、湯浅 恭史「令和6年能登半島地震での医療機関の対応と課題」
- ・第20回、2025年9月26日、蔣 景彩「地震と豪雨による複合災害と対策」
- ・第21回、2025年10月10日、中野 晋「近年の水害を振り返る」
- ・第22回、2025年10月17日、内藤 直樹「鳥獣害対策とジビエ四国の地すべり災害」
- ・第23回、2025年10月24日、三輪 昌史「ドローン搬送」
- ・第24回、2025年10月31日、上月 康則「最近の自然災害、防災の話題3」
- ・第25回、2025年11月14日、坂東 淳「隠し味の防災～生活文化の中で考える」
- ・第26回、2025年11月21日、西村 明儒「大規模災害等における徳島県警察と徳島県医師会、徳島県歯科医師会及び徳島大学との協力に関する協定」
- ・第27回、2025年11月28日、蔣 景彩「土砂災害ハザードマップの課題」
- ・第28回、2025年12月12日、小川 宏樹「最新の空き家バンク事情」
- ・第29回、2025年12月19日、田村 隆雄「ただいま作成中！入田地区災害避難支援マップ」
- ・第30回、2025年12月26日、岡久 玲子「みんなで育てる防災意識」
- ・第31回、2026年1月9日、中野 晋「大地震時のライフライン被害に備える」
- ・第32回、2026年1月16日、山中 亮一「地震による都市部での液状化災害」
- ・第33回、2026年1月23日、内藤 直樹「世界農業遺産(日本 or 世界)」
- ・第34回、2026年1月30日、西村 実穂「能登半島地震の保育への影響」
- ・第35回、2026年2月13日、坂東 淳「地震のもたらす恵みと災い」を考える」
- ・第36回、2026年2月20日、上白川 沙織「在宅医療の場における防災」
- ・第37回、2026年2月27日、古谷 綱崇「四国の地すべり災害」
- ・第38回、2026年3月13日、上月 康則「最近の自然災害、防災の話題4」
- ・第39回、2026年3月20日、内海 千種「災害がもたらす心身への影響」
- ・第40回、2026年3月27日、蔣 景彩「R7年度FM徳島防災Caféの振り返り」

3) 令和7年度徳島県地域防災推進員養成研修（長期講座）

日 時：2025年4月16日～7月30日（全16回）、水曜16：20～17：50

場 所：徳島大学教養教育5号館302/303教室

内 容：「防災・減災基礎」徳島大学防災リーダー養成講座：日本防災士機構認定カリキュラム

- ・第1回、2025年4月16日、小川 宏樹「オリエンテーション／地震・津波への備え／耐震診断と補強」
- ・第2回、2025年4月23日、上月 康則「ライフライン・交通インフラの確保」
- ・第3回、2025年4月30日、中野 晋「近年の主な自然災害、防災士に期待される活動」
- ・第4回、2025年5月7日、西村 明儒「災害医療とこころのケア」
- ・第5回、2025年5月14日、湯浅 恭史「行政の災害対策と危機管理、企業・団体の事業継続」
- ・第6回、2025年5月21日、馬場 俊孝「地震・津波による災害」
- ・第7回、2025年5月28日、金井 純子「HUG 演習」
- ・第8回、2025年6月4日、西山 賢一「土砂災害と火山災害」

- ・第9回、2025年6月11日、安原 充「広域・大規模火災」
- ・第10回、2025年6月18日、林 憲行「災害関連情報と予報・警報」
- ・第11回、2025年6月25日、武藤 裕則「気象災害・風水害、風水害・土砂災害への備え」
- ・第12回、2025年7月2日、井若 和久「自主防災活動と地区防災計画」
- ・第13回、2025年7月9日、中野 晋「行政の災害救助・応急対応、復旧・復興と被災者支援」
- ・第14回、2025年7月16日、田村 隆雄「防災マップ作り」
- ・第15回、2025年7月23日、畠 一樹「災害ボランティア活動」
- ・第16回、2025年7月30日、防災士資格取得試験

受講生：101名（学生61名、一般40名）、修了生：96名（学生57名、一般39名）

4) とくしま大学環境防災 Café

内 容：環境防災研究センターのスタッフ2名が研究や取組みについて最新の話題を提供し、出席者全員で話し合う

担 当：蔣 景彩、松重 摩耶

- ・第1回 中野 晋「最新の動向を踏まえた南海トラフ地震への備え」
湯浅 恭史「令和6年能登半島地震での医療機関の対応と課題」
日 時：2025年4月24日（木）18：00～20：00
場 所：オンライン
参加者：62名
- ・第2回 馬場 俊孝「南海トラフ地震の被害想定の見直しについて」
田村 隆雄「徳島市災害避難支援マップの作成15年の歩み～市民の認知度と理解度、今後の改善について～」
日 時：2025年5月22日（木）18：00～20：00
場 所：オンライン
参加者：81名
- ・第3回 西山 賢一「三好市の山地集落で行った防災まち歩き」
河口 洋一「水をすくって生き物を調べる旧吉野川水系の魚たち」
日 時：2025年6月26日（木）18：00～20：00
場 所：オンライン
参加者：35名
- ・第4回 西村 実穂「保育施設の災害対応(能登半島地震の保育への影響)など」
佐藤 健二「被災者心理の理解とケア」
日 時：2025年7月24日（木）18：00～20：00
場 所：オンライン
参加者：34名
- ・第5回 内藤 直樹「「溢れること」の環境史：流域治水・生物多様性・生業」
野田 稔「強風に備える話」
日 時：2025年8月28日（木）18：00～20：00

場 所：オンライン

参加者：29 名

- ・第 6 回 坂東 淳「人口減少下における地域防災を考える」

渡辺 公次郎「事前復興とまちづくり」

日 時：2025 年 9 月 25 日（木）18：00～20：00

場 所：オンライン

参加者：28 名

- ・第 7 回 宇野 宏司「あそんで学ぼう防災クイズ(出前授業の取り組みと体験)」

金井 純子「要配慮者の避難」

日 時：2025 年 10 月 23 日（木）18：00～20：00

場 所：オンライン

参加者：35 名

- ・第 8 回 三上 卓「防災ワークショップの企画と運営～効果的な住民参加型防災教育の実現に向けて～」

蔣 景彩「地震と豪雨による地盤災害と対策」

日 時：2025 年 11 月 27 日（木）18：00～20：00

場 所：オンライン

参加者：30 名

- ・第 9 回 中田 成智「Plateau3D 都市モデルの活用と AI を用いた建物情報の推定」

白山 敦子「木造建築の揺れ方をみる」

日 時：2025 年 12 月 18 日（木）18：00～20：00

場 所：オンライン

参加者：17 名

- ・第 10 回 古川 恵太「協働・共創のためのテクニック(環境事業における合意形成)」

山本 裕史「水や食べ物は大丈夫?PFAS 汚染のホントとウソ」

日 時：2026 年 1 月 22 日（木）18：00～20：00

場 所：オンライン

参加者：39 名

- ・第 11 回 古谷 綱崇「地すべり災害と防災対策・維持管理」

山中 亮一「能登半島での海岸・河川における複合災害被害の現地調査」

日 時：2026 年 2 月 26 日（木）18：00～20：00

場 所：オンライン

参加者：26 名

- ・第 12 回 松重 摩耶「災害時の簡易・携帯トイレを座り・触り比べしてみよう」

光原 弘幸「防災教育に与える生成 AI のインパクト」

日 時：2026 年 3 月 19 日（木）18：00～20：00

場 所：徳島大学フューチャーセンターA. BA.

参加者：25 名

5) 被災者支援情報 DX セミナー

・第1回「アプリと人流データで支援をつなぐ南海トラフ巨大地震への備え」

主 催：徳島大学環境防災研究センター、Code for Tokushima

後 援：徳島県

日 時：2025 年 5 月 23 日（金）15：00～17：00

場 所：徳島大学フューチャーセンターA. BA.

15：00、開会・趣旨説明

15：05、講演①『『ぼうさいパッカーン』アプリ開発における地域防災の視点』

15：25、講演②『『ぼうさいパッカーン』プログラマーの視点』

15：45、講演③「人流データによる災害と被災者支援」

16：25、ワークショップ・質疑「地域に活かす防災 DX を描く」

17：00、閉会

講 師：柴山 和久(株式会社 Agoop 取締役会長)

本橋 大輔(株式会社 monosus プログラマー)

上月 康則(徳島大学環境防災研究センター・教授)

参加者：75 名(対面 25 人、オンライン 50 人)

・第2回「那賀町の事例と共に考える 平時からの一元的な要支援者 DX が実践される町」

主 催：徳島大学環境防災研究センター、Code for Tokushima、徳島被災者支援プラットフォーム、
一般社団法人さいわい

後 援：徳島大学研究支援・産官学連携センター、徳島県危機管理部

日 時：2025 年 8 月 18 日（月）15：00～17：00

場 所：徳島大学フューチャーセンターA. BA. (+オンライン配信)

15：00、開会・趣旨説明

15：05、話題提供(60 分)

16：05、意見交換・参加者とディスカッション(50 分)

テーマ：「「みまもるくん」の災害時活用と他地域への展開」

講 師：濱田 邦美(那賀町相生包括ケアセンター長・医師)

参加者：53 名(対面 23 人、オンライン 30 人)

・第3回「赤十字の実践から学ぶ災害関連死を減らすために」

主 催：徳島大学環境防災研究センター、徳島被災者支援プラットフォーム、一般社団法人さいわい

協 力：日本赤十字社徳島県支部、株式会社 Agoop、Code for Tokushima

後 援：徳島県

日 時：2025 年 10 月 8 日（水）14：30～17：00

場 所：徳島大学フューチャーセンター地域創生・国際交流会館

14：30、はじめに(5 分)コーディネーター：上月 康則

14：35、講演①「TKB48 で変わる避難生活」：根本 昌宏

15：25、講演②「世界の赤十字に学ぶ救援技術」：曾篠 恭裕

16：15、休憩・質問回収(10 分)

16 : 25、質疑応答(15 分)

16 : 40、グループディスカッション(20 分)

17 : 00、おわりに

講 師：根本 昌宏(日本赤十字北海道看護大学教授、災害対策教育センター長)

曾篠 恭裕(日本赤十字看護大学附属災害救護研究所災害救援技術部門長)

上月 康則(徳島大学環境防災研究センター教授)

参加者：105 名(対面 56 人、オンライン 49 人)

・第 4 回「行政と Civic-tech 防災 DX とその役割」

主 催：徳島大学環境防災研究センター、徳島被災者支援プラットフォーム、Code for Tokushima

後 援：徳島県

日 時：2025 年 12 月 16 日（火）14 : 30～17 : 00

場 所：徳島大学フューチャーセンターA. BA. (対面&オンライン)

14 : 30、趣旨説明

14 : 40、講演①「胆振東部地震における被災者支援と防災 DX の取り組み」：小山 敏史

15 : 15、講演②「能登半島地震における DX 支援の実例」：福島 健一郎

16 : 05、グループ討議「南海トラフ巨大地震時に期待する防災 DX」

16 : 30、全体共有と質疑

16 : 55、まとめ

講 師：小山 敏史(北海道・厚真町総務課情報防災担当参事)

福島 健一郎(アイパブリッシング株式会社 代表取締役)

参加者：81 名(対面 50 名、オンライン 31 名)

6) 徳島県 B C P 研究部会

担 当：湯浅 恭史

主 催：徳島大学環境防災研究センター

・第 1 回「火災発生時の事業継続対応」

日 時：2025 年 5 月 28 日（水）15 : 00～17 : 00

場 所：徳島大学フューチャーセンターA. BA.

講 師：九合 正(赤松化成工業株式会社 総務部長)

参加者：10 名

・第 2 回「令和 6 年能登半島地震、豪雨災害からの復旧・事業継続と復興」

日 時：2025 年 10 月 30 日（木）14 : 00～16 : 00

場 所：オンライン

講 師：本谷 一知(有限会社もとや庄治商店(もとやスーパー))

参加者：17 名

・第 3 回「地域住民と連携した夜間避難訓練の見学」

日 時：2025 年 11 月 28 日（金）18 : 00～19 : 00

場 所：株式会社大塚製薬工場

参加者：10 名

・第 4 回「令和 6 年能登半島地震からの事業継続と復興」

日 時：2026 年 1 月 19 日（月）14：00～16：00

場 所：オンライン

講 師：金七 聖子（松波酒造株式会社 若女将）

参加者：10 名

・第 5 回「講演・ワークショップ「事業環境変化に対応するためのレジリエンス」」

日 時：2026 年 3 月 9 日（月）18：00～20：00

場 所：オンライン

講 師：細坪 信二（一般財団法人危機管理教育&演習センター 理事長）

参加者：12 名

・第 6 回「CERT（Community Emergency Response Team）訓練」

日 時：2026 年 3 月 10 日（火）9：00～11：00

場 所：徳島大学フューチャーセンターA. BA.

講 師：細坪 信二（一般財団法人危機管理教育&演習センター 理事長）

平吾 かおり（一般財団法人危機管理教育&演習センター 評議員）

参加者：16 名

7) 令和 7 年度鳴門市地域防災リーダー養成講座

日 時：2025 年 8 月 23・24 日（全 2 日）

場 所：鳴門市役所 2 階 大会議室

内 容：防災士養成研修講座

<第一日>8 月 23 日（土）

9：10～10：10、馬場 俊孝「地震・津波による災害」

10：20～11：20、武藤 裕則「気象災害・風水害」

11：30～12：30、坂東 淳「行政の災害対策と危機管理」

13：30～14：30、蔣 景彩「風水害・土砂災害等への備え」

14：40～15：40、上月 康則「地震・津波への備え」

15：50～16：50、徳永 雅彦「行政の災害救助・応急対策」

<第二日>8 月 24 日（日）

8：30～ 9：30、湯浅 恭史「自主防災活動と地区防災計画」

9：40～10：40、宮本 正人「災害ボランティア活動」

10：50～11：50、西村 明儒「災害医療とこころのケア」

12：40～14：40、金井 純子「避難所の設置と運営協力」

14：50～15：50、大宮 佐知子「防災士に期待される活動」

16：10～17：10、防災士資格取得試験

参加者：市職員 85 名、修了者：81 名

8) 令和7年度徳島県地域防災推進員養成研修（県職員等講習会）

日 時：2025年9月1・2日（全2日）

場 所：あわぎんホール 大会議室

内 容：防災士養成研修講座

<第一日>9月1日（月）

9：30～10：30、馬場 俊孝「地震・津波による災害」

10：40～11：40、武藤 裕則「気象災害・風水害」

12：40～13：40、井若 和久「復旧・復興と被災者支援」

13：50～14：50、蔣 景彩「風水害・土砂災害等への備え」

15：00～16：00、坂東 淳「行政の災害対策と危機管理」

16：10～17：10、上月 康則「地震・津波への備え」

<第二日>9月2日（火）

9：30～10：30、湯浅 恭史「自主防災活動と地区防災計画」

10：40～11：40、西村 明儒「災害医療とこころのケア」

12：40～13：40、重松 聡彦「災害ボランティア活動」

13：50～15：50、金井 純子「避難所の設置と運営協力」

16：00～17：00、大宮 佐知子「防災士に期待される活動」

17：15～18：15、防災士資格取得試験

参加者：県職員 171 名、修了者：169 名

9) 2025年度第36回京都大学防災研究所・徳島大学環境防災研究センター公開講座

テーマ：今こそ学ぶ！徳島の災害リスクと備え

日 時：2025年9月13日（土）13：00～16：55

場 所：あわぎんホール 4F 大会議室（徳島県郷土文化会館）、Zoom ミーティング形式

主 催：京都大学防災研究所、徳島大学環境防災研究センター

13：00、堀 智晴、蔣 景彩「開会の挨拶」

13：15、山崎 新太郎「ジオパークとしての四国山地の地すべり」

13：45、竹林 洋史「地震と豪雨による複合的な水害・土砂災害」

14：15、蔣 景彩「それでも減らない土砂災害、今後は？」

15：00、西川 友章「日本列島周辺の沈み込み帯で発生するスロー地震」

15：30、上月 康則「南海トラフ巨大地震への新しい備え～徳島被災者支援プラットフォーム(TPF)～」

16：10、質疑

16：50、矢守 克也「閉会の挨拶」

講 師：堀 智晴（京都大学防災研究所長）

蔣 景彩（徳島大学環境防災研究センター教授）

山崎 新太郎（京都大学防災研究所斜面未災学研究センター、徳島地すべり観測所准教授）

竹林 洋史（京都大学防災研究所 気候変動適応研究センター准教授）

西川 友章(京都大学防災研究所 地震災害研究センター准教授)

上月 康則(徳島大学環境防災研究センター教授)

矢守 克也(京都大学防災研究所副所長)

参加者：470 名(対面 70 人、オンライン 400 人)

10) 令和7年度徳島県地域防災推進員養成研修(第1回短期講座)

日 時：2025 年 10 月 29・30 日(全2日)

場 所：あわぎんホール 大会議室

内 容：防災士養成研修講座

<第一日>10 月 29 日(水)

9:40~10:40、白山 敦子「地震・津波による災害」

10:50~11:50、武藤 裕則「気象災害・風水害」

12:50~13:50、上月 康則「地震・津波への備え」

14:00~15:00、蔣 景彩「風水害・土砂災害等への備え」

15:10~16:10、湯浅 恭史「企業・団体の事業継続」

16:20~17:20、大宮 佐知子「防災士に期待される活動」

<第二日>10 月 30 日(木)

9:20~10:20、田村 隆雄「自主防災活動と地区防災計画」

10:30~11:30、井若 和久「復旧・復興と被災者支援」

11:40~12:40、重松 聡彦「災害ボランティア活動」

13:30~15:30、金井 純子「避難所の設置と運営協力」

15:40~16:40、西村 明儒「災害医療とこころのケア」

17:10~18:10、防災士資格取得試験

参加者：159 名(一般 159 名)、修了者：147 名(一般 147 名)

11) とくしま大学環境防災 Café 番外編

主 催：徳島大学環境防災研究センター

日 時：2025 年 11 月 13 日(木) 18:00~20:00

場 所：徳島大学フューチャーセンターA. BA.

テーマ：村田 明広 徳島大学名誉教授

「10 万分の 1 徳島県及び周辺地域の地質図」の概要」

担 当：蔣 景彩、松重 摩耶

参加者：42 名

12) 被災地域の外から届ける支援、内へつなぐ力～令和6年能登半島地震の実例から～

主 催：徳島大学環境防災研究センター、四国防災八十八話・普及啓発研究会

支 援：徳島大学研究クラスター「中高大連携による防災実践共同体の実現に向けた災害伝承のアクションリサーチ」、「大規模自然災害からのインクルーシブ避難の実現」

日 時：2025 年 11 月 24 日（月・祝）10：00～12：00 ランチミーティング：12：00～13：00

場 所：徳島大学フューチャーセンターA. BA.（対面開催のみ）

講 演：松重 摩耶（徳島大学環境防災研究センター助教）

「能登町での地域住民同士による LINE オープンチャット活用事例」「中高大生の四国地域
内外の交流活動事例」

山本 明人（大阪若獅子ライオンズクラブ、発災当時：能登ライオンズクラブ）

「災害時の地域内外の共助支援について」

川島 莉生（OPEN JAPAN、ダッシュ隊徳島）

「災害時民間団体による初動対応と若者とのつながり」

参加者：30 名

1 3）令和 7 年度徳島県地域防災推進員養成研修（第 2 回短期講座）

日 時：2025 年 12 月 1・2 日（全 2 日）

場 所：あわぎんホール 大会議室

内 容：防災士養成研修講座

<第一日>12 月 1 日（月）

9：40～10：40、湯浅 恭史「企業・団体の事業継続」

10：50～11：50、武藤 裕則「気象災害・風水害」

12：50～13：50、田村 隆雄「自主防災活動と地区防災計画」

14：00～15：00、蔣 景彩「風水害・土砂災害等への備え」

15：10～16：10、白山 敦子「地震・津波による災害」

16：20～17：20、西村 明儒「災害医療とこころのケア」

<第二日>12 月 2 日（火）

9：20～10：20、上月 康則「地震・津波への備え」

10：30～11：30、井若 和久「復旧・復興と被災者支援」

11：40～12：40、香西 卓哉「災害ボランティア活動」

13：30～15：30、金井 純子「避難所の設置と運営協力」

15：40～16：40、大宮 佐知子「防災士に期待される活動」

17：10～18：10、防災士資格取得試験

参加者：130 名（一般 129 名・県職員 1 名）、修了者：123 名（一般 122 名・県職員 1 名）

1 4）徳島こども防災会議 大地震がおきても被害を受けない未来の町を考えてみよう！

主 催：徳島大学環境防災研究センター

共 催：徳島県教育委員会

後 援：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

日 時：2025 年 12 月 13 日（土）10：00～15：00

場 所：徳島大学常三島キャンパス 知能情報北棟 1F パブリックフロア

<午前の部>～聞いて学んで考えてみよう～

10：00～10：10、開会式

10：10～10：30、ガイダンス、自己紹介

10：30～11：30、防災のお話「南海トラフ地震がおきたら町はどうなるの？」

11：30～12：00、意見交換「～未来の防災アイテムについて発表しよう～」

<午後の部>～グループで話し合って発表してみよう～

13：00～13：30、意見交換「～グループのみんなで意見を出しあおう～」

13：30～13：50、発表資料の作成「～グループのみんなの意見をまとめよう～」

13：50～14：00、発表方法の検討「～どうすればうまく伝わるかな？」

14：00～14：10、休憩

14：10～14：50、発表会

14：50～15：00、閉会式

担 当：金井 純子

参加者：6名

15) 令和7年度防災士のためのスキルアップ研修

日 時：2025年12月13・14日（全2日）

場 所：徳島県立防災センター 講堂

内 容：地域防災活動や被災者支援のプログラムを体験的に学ぶ

<第一日>12月13日（土）

8：50～9：50、松重 摩耶「四国の自然災害：四国防災八十八話マップとカルタ」

10：00～11：00、蔣 景彩「危機を知る：ハザードマップ&キキクル」

11：10～12：40、松重 摩耶「避難生活の基礎1：①トイレ、②情報・スターリンクとライン」

13：40～15：10、山中 亮一「避難生活の基礎2：クロスロードゲーム」

15：20～16：50、湯浅 恭史「家族を災害から守る：FCP・臨時情報演習」

<第二日>12月14日（日）

8：40～10：10、上月 康則「被災後の生活困窮を防ぐ：防災パッカーンアプリ」

10：20～11：50、上月 康則「誰一人取り残されない支援：災害ケースマネジメント」

13：00～14：30、井若 和久「被災者訪問調査の概要：聞き取り基礎演習」

14：40～16：10、井若 和久「被災者支援制度の概要：生活再建カードゲーム」

16：20～17：00、上月 康則「ふりかえり」

参加者：19名

16) 令和7年度徳島県地域防災推進員養成研修（第3回短期講座）

日 時：2026年1月11・12日（全2日）

場 所：あわぎんホール 大会議室

内 容：防災士養成研修講座

<第一日>1月11日（日）

9：40～10：40、白山 敦子「地震・津波による災害」

10：50～11：50、武藤 裕則「気象災害・風水害」
12：50～13：50、松重 摩耶「地震・津波への備え」
14：00～15：00、蔣 景彩「風水害・土砂災害等への備え」
15：10～16：10、湯浅 恭史「企業・団体の事業継続」
16：20～17：20、西村 明儒「災害医療とこころのケア」

<第二日>1月12日（月）

9：20～10：20、田村 隆雄「自主防災活動と地区防災計画」
10：30～11：30、上月 康則「復旧・復興と被災者支援」
11：40～12：40、香西 卓哉「災害ボランティア活動」
13：30～15：30、金井 純子「避難所の設置と運営協力」
15：40～16：40、大宮 佐知子「防災士に期待される活動」
17：10～18：10、防災士資格取得試験
参加者：140名（一般140名）、修了者：133名（一般133名）

17）令和7年度上板町防災士養成講座

日 時：2026年2月14・15日（全2日）

場 所：技の館2階 第3研修室

内 容：防災士養成研修講座

<第一日>2月14日（土）

9：10～10：10、白山 敦子「地震・津波による災害」
10：20～11：20、林 憲行「災害関連情報と予報・警報」
11：30～12：30、井若 和久「復旧・復興と被災者支援」
13：30～14：30、蔣 景彩「風水害・土砂災害等への備え」
14：40～15：40、坂東 淳「行政の災害対策と危機管理」
15：50～16：50、上月 康則「地震・津波への備え」

<第二日>2月15日（日）

8：30～9：30、湯浅 恭史「自主防災活動と地区防災計画」
9：40～10：40、西村 明儒「災害医療とこころのケア」
10：50～11：50、富永 哲史「災害ボランティア活動」
12：40～14：40、金井 純子「避難所の設置と運営協力」
14：50～15：50、大宮 佐知子「防災士に期待される活動」
16：10～17：10、防災士資格取得試験

参加者：町職員61名、修了者：58名

18）地域継続シンポジウム

主 催：土木学会四国支部、徳島大学環境防災研究センター

日 時：2026年3月6日（金）14：00～15：30

開催方法：オンライン

第1部：特別講演・ディスカッション

「被災から立ち上がる：能登半島地震・豪雨を乗り越えて」

講 師：本谷 一知(もとやスーパー代表)

聞き手：湯浅 恭史

第2部：専門講義

「中小企業が取り組むべき防災：事業継続力強化計画の重要性」

講 師：湯浅 恭史

参加者：29名

19) 令和7年度徳島大学地域交流シンポジウム「徳島県の災害ケースマネジメントをどう進めていくか？」

主 催：徳島大学人と地域共創センター、徳島大学環境防災研究センター

後 援：徳島県、徳島被災者支援プラットフォーム

日 時：2026年3月15日(日) 13:00～16:30

開催方法：対面およびオンライン

場 所：徳島大学フューチャーセンターA. BA

第1部：最新の被災者支援制度を知ろう

「被災者支援制度についてカードを使いながら楽しく学ぶ」

第2部：被災者の生活再建支援を考えよう

「ある被災者の生活再建をカードゲームで考える」

「被災者支援に必要なマインドや災害ケースマネジメントを知る」

講 師：永野 海(日本弁護士連合会災害復興支援委員会副委員長)

コーディネーター：井若 和久

参加者：53名(対面18名、オンライン35名)

2. 2 共催・協力事業(事業名、主催機関、日時、場所、内容、参加数 など)

1) 第12回勝浦川流域フィールド講座

主 催：徳島県、とくしま生物多様性センター、NPO 法人徳島保全生物学研究会、生物多様性とくしま会議、とくしま生物多様性リーダーチーム

共 催：徳島大学環境防災研究センター

対 象：高校生以上

内 容：徳島の自然の魅力とその課題を学ぶ連続講座として講義および現場実習を行い「生物多様性リーダー」を養成した(徳島県知事認定)

・第1回「開講式、役立つ安全知識」

日 時：2025年4月26日(土) 13:00～16:30

場 所：エコみらいとくしま 2F

講 師：鎌田 磨人・稲飯 幸代(赤十字救急法指導員)

参加者：9名

・第2回「奥山と人の暮らし」

日 時：2025年5月11日（日）7：45～16：00

場 所：上勝町高丸山

講 師：土井 伸一郎（徳島県猟友会青年部事務局）・飯山 直樹

参加者：7名

・第3回「里川で遊んで、里川から学ぼう」

日 時：2025年6月7日（土）7：45～16：00

場 所：勝浦川中流

講 師：塩崎 健太（NPO 法人川塾）・河口 洋一

参加者：7名

・第4回「里山の魅力」7：45～16：30

日 時：2025年6月29日（日）7：45～16：30

場 所：上勝町檜原棚田周辺

講 師：小串 重治・片山 博之（日本ビオトープ管理士会徳島支部）

参加者：6名

・第5回「里山で自然と生きる工夫」

日 時：2025年7月12日（土）7：45～16：00

場 所：勝浦町坂本

講 師：桃本 恵（とくしま生物多様性リーダーチーム）阿部 篤（とくしま生物多様性リーダーチーム）

参加者：8名

・第6回「里の暮らしと生きもの」

日 時：2025年8月3日（日）7：45～16：00

場 所：勝浦川下流

講 師：大原 賢二（徳島県佐那河内いきものふれあいの里）・松家 大樹（とくしま生物多様性リーダーチーム）

参加者：6名

・第7回「森が干潟を創る!？」

日 時：2025年9月21日（日）9：30～16：00

場 所：勝浦川河口干潟

講 師：三宅 武（日本野鳥の会徳島県支部）・酒井 孟（とくしま生物多様性リーダーチーム）

参加者：6名

・第8回「ふりかえりとまとめ、閉講式」

日 時：2025年10月26日（日）13：00～17：00

場 所：エコみらいとくしま

講 師：鎌田 磨人・とくしま生物多様性リーダーチーム

参加者：7名

2) 第1回にし阿波農業フィールド講座

主 催：徳島県、とくしま生物多様性センター、NPO 法人徳島保全生物学研究会、生物多様性とくしま会議、とくしま生物多様性リーダーチーム

共 催：徳島大学環境防災研究センター

対 象：高校生以上

内 容：農業が創る風景と生きもののつながりを「知ろう・調べよう・味わおう」全15講座（8日間）の連続講座

・第1回「開講式、役立つ安全知識」

日 時：2025年4月26日（土）13：00～16：30

場 所：エコみらいとくしま

講 師：鎌田 磨人・稲飯 幸代（赤十字救急法指導員）

参加者：3名

・第2回「農が生み出す文化・食・生きもの」

日 時：2025年5月24日（土）10：00～16：00

場 所：三好市池田町

講 師：馬宮（三芳菊酒造株式会社）・日鷹 一雅（アグエコロジー研究所）

参加者：4名

・第3回「北岸用水と稲作（生き物調査）」

日 時：2025年6月14日（土）8：30～16：00

場 所：阿波市阿波町

講 師：石川 茂夫（農家、自然観察指導員）・水口 潔（徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校校長）

参加者：3名

・第4回「斜面地の稲作の工夫（生き物調査）」

日 時：2025年6月28日（土）8：00～16：00

場 所：三好郡東みよし町

講 師：島田 洋一（農家、地方公務員）・中野 昭雄（徳島県立農業水産総合技術支援センター）

参加者：3名

・第5回「水田で暮らす生きもの（生き物調査）」

日 時：2025年8月24日（日）7：30～16：00

場 所：阿波市阿波町・三好郡東みよし町

講 師：飯山 直樹（NPO 法人徳島保全生物学研究会）吉田 一夫（トンボ研究会）

参加者：3名

・第6回「伝承されてきた傾斜地農耕システム」

日 時：2025年9月6日（土）8：00～16：00

場 所：三好市東祖谷

講 師：杉平 美和（東祖谷雑穀生産組合）・篠原 尚志（徳島県猟友会理事・徳島県文化財巡視員）

参加者：3名

・第7回「地域資源を活用する農業技術」

日 時：2025年9月28日（日）9：00～16：00

場 所：美馬市穴吹町・美馬郡つるぎ町

講 師：前田 進一（徳島剣山世界農業遺産推進協議会・はっさく農家）・磯貝 一幸（つるぎ町雑穀生産販売組合・野菜農家）

参加者：2名

・第8回「ふりかえりとまとめ、閉講式」

日 時：2025年10月26日（日）13：00～16：30

場 所：エコみらいとくしま

講 師：鎌田 磨人・とくしま生物多様性リーダーチーム

参加者：3名

3) 尼崎運河オープンキャナルデイ

主 催：尼崎運河〇〇クラブ

協力・運営：徳島大学環境防災研究センター（担当：上月 康則、山中 亮一）

場 所：尼崎運河水質浄化施設

対 象：地域住民

日時・参加者：

2025年4月27日 9:00～16:00、参加者 30 名

2025年5月25日 9:00～16:00、参加者 33 名

2025年6月22日 9:00～16:00、参加者 36 名

2025年7月27日 9:00～16:00、参加者 33 名

2025年8月27日 9:00～16:00、参加者約 26 名

2025年9月28日 9:00～16:00、参加者 22 名

2025年10月26日 9:00～16:00、参加者 21 名

2025年11月23日 9:00～16:00、参加者 34 名

2025年12月21日 9:00～16:00、参加者 20 名

2026年1月25日 9:00～16:00、参加者 21 名

2026年2月22日 9:00～16:00、参加者 26 名

2026年3月22日 9:00～16:00、参加者 30 名

4) 防災ラジオドラマシナリオコンテスト

主 催：「防災ラジオドラマ」政策実行委員会

（徳島県、徳島大学環境防災研究センター、株式会社エフエム徳島）

募集期間：2025年5月1日（木）～7月31日（木）

テーマ：私の考える防災（地震・津波に限定）

審査委員：北阪 昌人（脚本家）・向井 康介（脚本家）・「防災ラジオドラマ」制作実行委員会

内 容：防災施策を普及・啓発するため、「防災ラジオドラマ」のシナリオを募集し、その中から審査の上、知事賞（最優秀賞）1 作品、優秀賞 2 作品、徳島賞 1 作品、入選 3 作品が選出された。

5) Teen`s 防災、ダッシュ隊徳島

主 催：徳島県立防災センター

協 力：徳島大学環境防災センター

内 容：能登半島地震の被災体験を基に能登と徳島の中高生がディスカッションを行い今後の南海トラフ地震への教訓と防災対策を考える機会

開催日：2025 年 8 月 15 日

参加者：100 名

6) BCP（事業継続計画）トップセミナーin 徳島

主 催：徳島県中小企業団体中央会、とくしま BCP 支援センター

共 催：徳島県、徳島大学環境防災研究センター

日 時：2026 年 1 月 27 日 14：00～16：30

場 所：ホテルサンシャイン徳島アネックス

内 容：徳島県企業 BCP 認定制度認定証交付式

・企業プレゼンテーション

テーマ：「西精工の BCP～「製品供給を止めない企業」を目指して～」

発表者：田中 裕也(西精工株式会社 総務部)

・啓発セミナー

テーマ：「発災から復旧までの Time Table 作成 1Day セミナー～部署ごとに全従業員が動ける BCP ですか～」

講 師：佐藤 雅信(事継舎代表)

参加者：60 名

7) 第 8 回とくしま生物多様性活動推進フォーラム

「徳島県における希少野生生物保護の取組」

主 催：とくしま生物多様性活動推進協議会、徳島県

共 催：徳島大学環境防災研究センター、NPO 法人徳島保全生物学会、生物多様性とくしま会議、とくしま生物多様性センター

日 時：2026 年 3 月 8 日（日）13：00～17：00

場 所：徳島市シンビックセンターさくらホール

報 告：①「徳島県の「希少野生生物保護」の取組について」：徳島県生活環境部サステナブル社会推進課

②「コウノトリの保護の取組について」：柴折 史昭(認定NPO 法人とくしまコウノトリ基金事務局長)

③「サンゴの保全を切り口とした地域再生」：岡田 直也(ニタコンサルタント株式会社環境調査部)

④「オヤニラミの生育の取組について」：西山 成実(日亜化学工業株式会社 環境安全本部 環境安全 全部 部長)

⑤「「ツキノワグマ四国地域個体群の保全に係る広域協議会」の取組について」：金丸 太一(環境省 中国四国地方環境事務所 四国事務所 野生生物課 自然保護官)

講演：①「北海道のヒグマ・本州のツキノワグマの現状と四国との違いについて」：佐藤 喜和(酪農学園大学教授)

②「四国のツキノワグマの保全への取組～Save the Island Bear プロジェクト～」：山田 孝樹(認定特定非営利活動法人四国自然史科学研究センター長)

参加者：65 名

8) 第14回防災・危機管理人材養成シンポジウム

日時：2026 年 3 月 10 日（金）13：15～16：15

開催方法：対面およびオンライン

場所：香川大学林町キャンパス講義棟

主催：四国防災共同教育センター

共催：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構、徳島大学環境防災研究センター

内容：四国防災・危機管理プログラム成果報告、第 12 期修了生の成果発表、修了証書授与、災害・危機対応マネージャー認定証授与、災害・危機対応マネージャーの活動報告、

特別講演：長谷川 修一「今感じる危機とジオの視点による人材育成」

参加者：201 名（対面 71 名、オンライン 130 名）

9) こども仕事体験フェスタ in 徳島、損保ジャパン

日時：2026 年 3 月 14 日（土）9：00～15：00

場所：アスティとくしま

主催：こども仕事体験フェスタ実行委員会 in 徳島

後援：徳島県、徳島市、徳島大学、徳島市教育委員会

内容：こども仕事体験、徳島大学環境防災センターによる防災ワークショップ、損保ジャパンによる防災ワークショップ体験

参加者：80 名

10) テレビトクシマ 35 周年感謝祭

日時：2026 年 3 月 29 日（日）10：00～16：30

場所：アスティとくしま

主催：ケーブルテレビ徳島株式会社

内容：いざというとき大活躍！防災マイボトルをつくろう！（徳島大学防災サークルてくと）、四国の災害をゲームで学んで備えよう！（徳島大学環境防災研究センター）

参加者：100 名

3. 調査

3. 1 災害調査（内容、場所、日時、担当者 など）

<防災研究部門>

- (1) 平成 30 年豪雨により複数の土砂災害・浸水被害を受けた松山市高浜町および令和 6 年 7 月 12 日に発生した松山市城山土石流災害の復旧復興状況調査、2025 年 6 月 6 日、蔣 景彩
- (2) 兵庫県南部地震で発生した西宮市仁川地すべりと神戸市東灘区地すべりおよび地震による大規模盛土被害の現状調査、西宮市、神戸市、2025 年 8 月 8・9 日、蔣 景彩
- (3) 2025 年 8 月豪雨による斜面崩壊・土石流災害調査、熊本県上天草市、2025 年 8 月 27 日、西山 賢一
- (4) 大船渡市山林火災被災地調査および三陸沿岸災害復興調査（土砂災害警戒区域およびその周辺のまちづくり）、2025 年 9 月 6～9 日、蔣 景彩
- (5) 令和 6 年能登半島地震による港湾被害と復興状況調査、2025 年 9 月 23・24 日、山中 亮一
- (6) 1926 年十勝岳大正噴火泥流災害に関わる自然災害伝承碑の分布調査、北海道上富良野町、2025 年 10 月 11 日、西山 賢一
- (7) 三好市檜尾地すべり現地調査、三好市、2025 年 10 月 30 日、西山 賢一
- (8) 今治市林野火災被災地の現地調査、今治市桜井地区、長沢地区、朝倉地区、2026 年 1 月 23 日、蔣 景彩
- (9) 令和 7 年 8 月豪雨による熊本県内浸水被害地（熊本市、八代市等）調査および令和 2 年 7 月豪雨による球磨川氾濫被害地（芦北町、球磨村、人吉市）復旧復興の現地調査、2026 年 2 月 18～20 日、蔣 景彩
- (10) 令和 7 年 3 月岡山市・玉野市林野火災被災地調査および平成 30 年 7 月豪雨による岡山県・広島県被災ため池の復旧調査、2026 年 3 月 6・7 日、蔣 景彩
- (11) 眉山北側斜面（徳島市水道局旧配水池周辺等）地質調査、2026 年 3 月 13・14 日、蔣 景彩・古谷 綱崇

<危機管理研究部門>

- (1) 令和 6 年能登半島地震災害対応調査、能登町教育委員会、能登町健康福祉課ほか、2025 年 6 月 27・28 日、金井 純子・中野 晋・西村 実穂・川瀬 公美子（メンタルサポートオフィスーひといきー）、越智 亮太・岡本 凌（ニタコンサルタント株式会社）
- (2) 点群データを用いた令和 6 年能登半島地震の家屋被害調査、能登町、2025 年 7 月 19～21 日、上月 康則
- (3) 令和 6 年能登半島地震ヒアリング調査、石川県酒造組合連合会他、9 月 29・30 日、湯浅 恭史
- (4) 事前による防災集団移転促進事業に係るインタビュー調査、美郷町港地区、島根県都市計画課、美郷町建設課、浜田河川国道事務所、2025 年 12 月 4 日～6 日、金井 純子・中野 晋・寒川 智有・川添 純子（鳴門教育大学）、岡本 凌（ニタコンサルタント株式会社）
- (5) 令和 7 年 8 月熊本豪雨調査、熊本県八代市、同玉東町、同玉名市、2025 年 12 月 10～12 日、中野 晋・西村 実穂
- (6) 令和 6 年能登半島地震ヒアリング調査、珠洲市総合病院他、12 月 15・16 日、湯浅 恭史
- (7) 能登町・珠洲市での災害時の被災者支援 DX について、能登町、珠洲市、金沢市、2026 年 3 月 1～3 日、上月 康則

- (8) 被災地復興と教訓伝承の在り方に関する調査、岩手県、宮城県、2026 年 3 月 8～11 日、上月 康則・松重 摩耶
- (9) 被災地復興に関する調査、能登町、七尾市、2026 年 3 月 16～18 日、上月 康則
- (10) 令和 7 年 8 月豪雨に係るインタビュー調査、特別養護老人ホーム康和苑、サービス付き高齢者向け住宅千寿庵、2026 年 3 月 18～20 日、金井 純子・西村 実穂・中野 晋

3. 2 聞き取り調査（内容、場所、日時、担当者 など）

<防災研究部門>

- (1) 今治市林野火災被災地の現状および復旧・復興に関する聞き取り調査、国土防災技術松山支店、2026 年 1 月 24 日、蔣 景彩

<環境研究部門>

- (1) 大里松原での松林管理のヒアリング調査、2025 年 5 月 27 日、6 月 2 日、7 月 30 日、8 月 21 日、11 月 6 日、2026 年 1 月 9 日、山中 亮一
- (2) 兵庫運河での水産資源管理に関するヒアリング調査、2025 年 9 月 9 日、11 月 3 日、山中 亮一

<危機管理研究部門>

- (1) 防災ツーリズムについて、高知県黒潮町、2025 年 5 月 16 日～17 日、上月 康則・松重 摩耶
- (2) 令和 6 年能登半島地震災害対応調査、能登町教育委員会、能登町健康福祉課ほか、2025 年 6 月 27・28 日、中野 晋、金井 純子、西村 実穂、川瀬 公美子（メンタルサポートオフィスーひといきー）、越智 亮太・岡本 凌（ニタコンサルタント株式会社）
- (3) 徳島市避難所開設キットについて、2025 年 7 月 24 日、松重 摩耶
- (4) 洞爺湖有珠山火山マイスター制度、洞爺湖町、2025 年 8 月 19 日～21 日、上月 康則・松重 摩耶
- (5) 人口減少社会における持続可能な地域のあり方に関するヒアリング、美波町役場・美波町議会・地域住民宅、2025 年 9 月 2 日、美波町職員・美波町議会議員・美波町住民 ※今後、住民アンケートから住民集会を展望、坂東 淳
- (6) 令和 6 年能登半島地震災害対応調査、石川県測量設計業協会、石川県建設業協会、輪島市内建設業者、2025 年 9 月 8 日～10 日、中野 晋・徳永 雅彦
- (7) 人口減少社会における持続可能な地域のあり方に関するヒアリング、海陽町内自営業者、2025 年 9 月 17 日、自営業者、坂東 淳
- (8) 人口減少社会における持続可能な地域のあり方に関するヒアリング、美波町内企業経営者、2025 年 9 月 17 日、企業経営者、坂東 淳
- (9) 人口減少社会における持続可能な地域のあり方に関するヒアリング、美波町内企業経営者、2025 年 9 月 26 日、町議会議員、坂東 淳
- (10) 被災者支援団体に関するヒアリング調査、福岡県、2025 年 10 月 15 日、上月 康則
- (11) 奥能登地域ヒアリング調査、能登町、珠洲市、2025 年 10 月 11～13 日、馬場 俊孝・金井 純子・松重 摩耶・中野 晋
- (12) 阿南市要支援者避難計画立案調査、阿南市、2026 年 2 月 7 日、上月 康則

(13) 宇和島市での被災者支援 DX について、宇和島市、2026 年 2 月 17・18 日、上月康則

3. 3 環境調査 (内容、場所、日時、担当者 など)

＜環境研究部門＞

- (1) 兵庫運河アマモ調査、兵庫県兵庫運河、2025 年 4 月 13 日、上月 康則
- (2) 魚礁実験と環境調査、尼崎運河、2025 年 4 月 27 日、上月 康則・山中 亮一
- (3) 江戸前ハゼ復活プロジェクト、東京湾全域、2025 年 4 月～2026 年 2 月、マハゼの棲み処調査 (東京湾全域)、浦安水辺の会親子ハゼ釣り教室 (浦安境川 7/20)、東海大浦安 SC・生物部合同調査 (浦安境川 8/7)、浦安市夏ボランティア (浦安境川 8/30)、東京水産振興会ハゼ釣り調査 (朝潮運河 11/65)、大田区環境マイスターの会ハゼ釣り調査 (多摩川 10/15)、自主調査 (京浜運河 11/17)、東京湾におけるマハゼの釣り調査を行い、東京湾再生のための方策を検討するための基礎データを収集、延べ 810 人 (運営 : 30 人、市民調査 : 690 人、浦安 : 60 人、その他 30 人)
- (4) 兵庫運河アマモ調査、兵庫県兵庫運河、2025 年 5 月 9 日、上月 康則
- (5) 神山町・水質浄化池における環境調査、2025 年 5 月 12 日、6 月 30 日、7 月 31 日、9 月 8 日、10 月 7 日、10 月 20 日、山中 亮一
- (6) 魚礁実験と環境調査、尼崎運河、2025 年 5 月 25 日、上月 康則・山中 亮一
- (7) 大阪南港野鳥園環境調査、大阪府大阪市、2025 年 5 月 28 日、大谷 壮介
- (8) 兵庫運河アマモ調査、兵庫県兵庫運河、2025 年 6 月 14 日、上月 康則
- (9) 魚礁実験と環境調査、尼崎運河、2025 年 6 月 22 日、上月 康則・山中 亮一
- (10) 兵庫運河アマモ調査、兵庫県兵庫運河、2025 年 7 月 13 日、上月 康則
- (11) 魚礁実験と環境調査、尼崎運河、2025 年 7 月 27 日、上月 康則・山中 亮一
- (12) 人工リーフにおけるサンゴの白化状況調査、沖縄県本部町浜崎海岸、2025 年 8 月 2～4 日、中西 敬
- (13) クローン増殖サンゴ移植後のモニタリング調査、沖縄県座間味村阿嘉島、2025 年 8 月 5・6 日、中西 敬
- (14) 兵庫運河アマモ調査、兵庫県兵庫運河、2025 年 8 月 25 日、上月 康則
- (15) 大阪南港野鳥園環境調査、大阪府大阪市、2025 年 8 月 27 日、大谷 壮介
- (16) 簡易水道の現況調査・阿波市、2025 年 8 月 29 日、上月 康則
- (17) 長洲干潟におけるアサリ及び生息環境に関する調査、熊本県長洲町地先、2025 年 9 月 8 日、中西 敬
- (18) 魚礁実験と環境調査、尼崎運河、2025 年 9 月 28 日、上月 康則・山中 亮一
- (19) クローン増殖サンゴ移植後のモニタリング調査、沖縄県座間味村阿嘉島、2025 年 10 月 3・4 日、中西 敬
- (20) 兵庫運河アマモ調査、兵庫県兵庫運河、2025 年 10 月 5 日、上月 康則
- (21) 魚礁実験と環境調査、尼崎運河、2025 年 10 月 26 日、上月 康則・山中 亮一
- (22) 大阪南港野鳥園環境調査、大阪府大阪市、2025 年 11 月 5 日、大谷 壮介
- (23) 魚礁実験と環境調査、尼崎運河、2025 年 11 月 23 日、上月 康則・山中 亮一
- (24) 工事用船舶を活用したブルーカーボン生態系の創出実験 : ワカメ種糸の植付け、兵庫県神戸市摩耶埠頭、2025 年 12 月 19 日、中西 敬
- (25) 魚礁実験と環境調査、尼崎運河、2025 年 12 月 21 日、上月 康則・山中 亮一

- (26)大阪湾北部臨海部におけるカモ類の飛来状況調査、2026 年 1 月 18 日、山中 亮一
- (27)工事用船舶を活用したブルーカーボン生態系の創出実験：ワカメ種系の植付け・モニタリング、兵庫県神戸市摩耶埠頭、2026 年 1 月 23 日、中西 敬
- (28)魚礁実験と環境調査、尼崎運河、2026 年 1 月 24・25 日、上月 康則・山中 亮一
- (29)大阪南港野鳥園環境調査、大阪府大阪市、2026 年 2 月 4 日、大谷 壮介
- (30)クローン増殖サンゴ移植後のモニタリング調査、沖縄県座間味村阿嘉島、沖縄県座間味村阿嘉島、2026 年 2 月 9～11 日、中西 敬
- (31)魚礁実験と環境調査、尼崎運河、2026 年 2 月 21・22 日、上月 康則・山中 亮一
- (32)魚礁実験と環境調査、尼崎運河、2026 年 3 月 21・22 日、上月 康則・山中 亮一

<危機管理研究部門>

- (1) 空き家調査、那賀町鷺敷地区、なか地域価値創造協議会、2025 年 7 月 5・6 日、小川宏樹
- (2) 空き家調査、那賀町平谷地区、なか地域価値創造協議会、2025 年 9 月 18 日、小川宏樹

3. 4 現地視察（内容、場所、日時、担当者 など）

<防災研究部門>

- (1) 送電線鉄塔基礎保護工（新工法 ハイスイテラス工法）愛媛県三島町、2025 年 7 月 3 日、蔣 景彩・久保 慶徳・向谷 光彦

<環境研究部門>

- (1) 韓国・チョンゲジョンの河川再生状況視察、2025 年 6 月 3 日、山中 亮一
- (2) 台北市のエリアマネジメントの現状調査、台湾台北市、2026 年 1 月 22 日、渡辺 公次郎

<危機管理研究部門>

- (1) 令和 6 年能登半島地震の被災地視察、能登町・珠洲市ほか、2025 年 10 月 11～13 日、金井 純子・馬場 俊孝・松重 摩耶
- (2) 大塚製薬工場夜間避難訓練（大塚製薬工場社員、地域住民、鳴門市、鳴門市消防等が参加）、大塚製薬工場敷地内、2025 年 11 月 28 日 18:00～19:30 頃、大塚製薬工場西脇総務部長ほか、坂東 淳
- (3) 防災集団移転促進事業現地視察、島根県庁及び島根県美郷町、2025 年 12 月 4～6 日、金井 純子・中野 晋

3. 5 その他

<危機管理研究部門>

- (1) 令和 7 年度徳島 DMAT 研修プログラム（見学）、徳島市内、2025 年 7 月 26・27 日、光原 弘幸
- (2) NIPPON 防災資産認に関する視察調査受け入れ、松山市内、2026 年 3 月 27 日、上月 康則・松重 摩耶

4. 社会貢献

4. 1 外部委員等（依頼機関、委員会等名、委嘱期間、職名 など）

上月 康則

- (1) 阿南市、南阿波定住自立圏共生ビジョン懇談会、委員長
- (2) 阿南市、阿南市水道事業審議会、委員長
- (3) 一般社団法人佐賀災害支援プラットフォーム、助成選考、委員
- (4) 徳島県勝浦郡勝浦町、道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会、委員
- (5) 一般社団法人、生態系工学研究会
- (6) 国道交通省、四国地方ダム等管理フォローアップ委員会、委員
- (7) 国道交通省四国地方整備局、総合評価委員会地域小委員会、委員
- (8) 国道交通省、吉野川学識者会議、委員
- (9) 国道交通省四国地方整備局、総合評価委員会地域小委員会工事契約適正専門部会、委員
- (10) 小松島市、小松島市ごみ処理施設整備基本設計業務等に係る事業者選定会議、委員長
- (11) 神戸市、瀬戸内海研究会議企画委員会、委員
- (12) 徳島県、徳島県内水面漁場管理委員会、委員
- (13) 徳島県、被災者支援ネットワーク会議、委員長
- (14) 徳島県、徳島県動物由来感染症対策検討会、委員
- (15) 徳島県、徳島県環境審議会、委員
- (16) 徳島県、徳島県総合計画審議会、委員
- (17) 徳島県、徳島県廃棄物処理施設設置専門委員会、委員
- (18) 徳島県、徳島県土木環境配慮アドバイザー
- (19) 徳島県、徳島県浄化槽管理士特別認定制度審査委員会、会長
- (20) 徳島県、徳島県若者の被災地訪問学習事業選考委員会、委員長
- (21) 徳島県防災人材育成センター、令和7年度「徳島県まなぼうさい賞」徳島県知事表彰表彰検討会、委員長
- (22) 特定非営利活動法人徳島サステナブル社会推進センター、理事
- (23) 公益社団法人土木学会四国支部、商議員
- (24) 徳島被災者支援プラットフォーム、代表
- (25) 兵庫県、尼崎21世紀の森づくり協議会委員会、委員
- (26) 徳島小松島港における生物共生方策に関する検討会、委員長
- (27) 国土交通省、大阪湾岸道路西伸部ワーキンググループ、委員長
- (28) 国土交通省、神戸港における生物共生方策検討会、委員
- (29) 日本放送協会四国地方放送番組審議会、委員

山中 亮一

- (1) 東邦大学東京湾センター、訪問研究員
- (2) 徳島県（非公開）委員会、委員
- (3) 国土交通省、那賀川学識者会議、委員

- (4) 徳島県（非公開）委員会、委員
- (5) 公益社団法人日本水環境学会、中国・四国支部、支部幹事
- (6) 公益社団法人土木學會、海岸工学委員会、委員
- (7) 兵庫県立尼崎小田高等学校、文部科学省指定スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員
- (8) 国土交通省四国地方整備局、河川・溪流環境アドバイザー
- (9) 国土交通省、吉野川学識者会議、委員
- (10) 徳島県立保険製菓環境センター試験研究評価委員会、委員
- (11) 国土交通省、神戸港における生物共生方策検討会ワーキンググループ、委員
- (12) 徳島県気候変動を踏まえた徳島県海岸保全施設技術検討会、委員
- (13) 徳島県環境審議会、委員
- (14) 徳島県企業局戦略的経営推進委員会、委員長
- (15) 徳島県立農林水産総合技術支援センター手入れ砂社会実験協議会、アドバイザー
- (16) 徳島県環境審議会生活環境部会、鳥獣部会、部会長
- (17) 土木学会海岸工学委員会第 72 回海岸工学講演会実行委員会、幹事

<防災研究部門>

馬場 俊孝

- (1) 地震調査研究推進本部綱津波評価部会、2025 年 4 月～2026 年 3 月、専門委員
- (2) 公益社団法人日本地震学会、2024 年 6 月～2026 年 5 月、理事

蔣 景彩

- (1) 国土交通省四国地方整備局、2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、道路防災有識者
- (2) 京都大学防災研究所、防災研究所自然災害研究協議会委員、2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日（四国部会長）
- (3) 一般社団法人四国クリエイト協会技術開発選定委員会、2025 年 1 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、委員
- (4) 徳島県南海トラフ巨大地震被害想定検討委員会、2025 年 4 月～2026 年 3 月、委員
- (5) 地盤工学会「災害連絡会議」地方連絡委員（徳島県）、2024 年 7 月 20 日～2026 年 6 月 30 日、委員
- (6) 徳島県とくしま地震防災県民会議、2025 年 7 月 4 日～2026 年 6 月、（次回総会開催日まで）会長
- (7) 日本地すべり学会、多次元方向の計測変位に基づく斜面崩壊発生予測手法研究委員会、2025 年 10 月～2028 年 3 月、委員
- (8) 令和 7 年度「未来を守る防災活動賞」徳島県知事表彰検討会、2025 年 12 月 2 日～12 月 17 日、会長
- (9) 「南海トラフ巨大地震対策啓発業務」プロポーザル選定委員会、2025 年 11 月～12 月 31 日、委員
- (10) 徳島管内事前通行規制区間等検討委員会、管内防災対策検討専門部会、国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所、2026 年 2 月～3 月、委員長

西山 賢一

- (1) 三好ジオパーク推進協議会役員会、三好市池田総合体育館（ウェブ参加）2025 年 4 月 16 日
- (2) 佐那河内村史編纂委員会、佐那河内村役場、2025 年 4 月 17 日

- (3) 徳島県土砂災害警戒情報発表基準検討に関わる学識者意見聴取、徳島県砂防防災課、2025 年 9 月 11 日
- (4) 徳島県土砂災害警戒情報発表基準検討に関わる学識者意見聴取、徳島県砂防防災課、2025 年 11 月 11 日
- (5) 令和 7 年度 NEXCO 西日本技術アドバイザー（土工部門 万々地区） 現地視察検討会、2025 年 12 月 16・17 日
- (6) 徳島県有瀬地区地すべり対策検討委員会、徳島県砂防防災課、2026 年 1 月 7～8 日、委員
- (7) 佐世保市福井洞窟整備活用検討委員会、長崎県佐世保市、2026 年 2 月 11～12 日、委員
- (8) 砂防関係個別補助事業の新規事業採択評価に係る意見聴取、徳島県砂防防災課、2026 年 2 月 24 日
- (9) 徳島県内事前通行規制区間等検討委員会、徳島河川国道事務所、2026 年 2 月 24 日
- (10) 善徳、怒田・八畝地区地すべり対策検討委員会、四国山地砂防事務所、2026 年 2 月 27 日
- (11) 理数科学科 1 年次課題研究テーマ設定発表会助言指導、徳島県立城北高等学校、2026 年 3 月 11 日

上野 勝利

- (1) 国際圧入学会、2022 年 6 月～2025 年 5 月、理事
- (2) 公益社団法人地盤工学会四国支部、2023 年 4 月～2026 年 4 月、商議員
- (3) 一般社団法人四国地質調査業協会、2023 年 6 月～2026 年 5 月、顧問
- (4) 徳島県（総合評価入札審査委員（農林水産部）、2022 年 4 月～2026 年 3 月、委員
- (5) 徳島県（総合評価入札審査委員（県土整備部）、2022 年 4 月～2026 年 3 月、委員

<災害医療研究部門>

上白川 沙織

- (1) 公益社団法人徳島県看護協会、災害看護支援検討委員会、2024 年 6 月～2026 年 6 月、委員

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 国土交通省四国地方整備局、徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会、委員
- (2) 国土交通省四国地方整備局、四国圏域生態系ネットワーク推進協議会、委員
- (3) 国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所、鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会、会長
- (4) 国土交通省徳島河川国道事務所、四国横断自動車道 勝浦川渡河橋の整備に関する環境保全検討委員会、委員
- (5) 中国四国農政局四国東部農地防災事務所、吉野川下流域農地防災事業に係る河川環境調査委員会、委員
- (6) 徳島県生活環境部、徳島県希少野生生物保護検討委員会、委員長
- (7) 徳島県生活環境部サステナブル社会推進課、徳島県環境アドバイザー
- (8) 徳島県生活環境部、とくしま生物多様性活動推進協議会、会長
- (9) 徳島県西部総合県民局、剣山国定公園地域連携協議会、会長

- (10) 徳島県西部総合県民局、剣山地域ニホンジカ被害対策協議会、会長
- (11) 徳島県県土整備部、土木環境配慮アドバイザー、委員
- (12) 徳島市教育委員会、徳島市文化財保護審議会、委員
- (13) 公益社団法人 森林文化協会、森林環境研究会、幹事
- (14) 高知県「四万十川流域保全振興委員会」、委員長
- (15) 環境省自然環境局、地域生物多様性増進法に基づく増進活動実施計画及び連携増進活動実施計画認定審査委員会、委員

渡辺 公次郎

- (1) 美馬市、国指定史跡郡里廃寺跡整備検討委員会、2021年4月1日～2026年3月31日、委員
- (2) 国土交通省四国地方整備局、国土交通省四国地方整備局災害に強いまちづくり検討会、2010年12月～2026年3月、委員
- (3) 美馬市、美馬市都市計画マスタープラン検討委員会、2016年7月20日～2026年3月31日、委員

中西 敬

- (1) 福山市海洋環境改善（福山市）、2025年度、アドバイザー
- (2) 大阪湾岸道路西伸部事業に関する海域環境協議会（高速道路㈱）、2025年度、委員
- (3) 海岸に漂着するアオサの活用プロジェクト検討委員会（神戸市）、2025年度、委員長
- (4) J ブルークレジット審査認証委員会（令和7年度ジャパンプルーエコノミー技術研究組合）、2025年、委員
- (5) 近畿管内における中長期での環境再生に関する技術検討会（国土交通省神戸港湾技術調査事務所）、2025年度、座長
- (6) 姫路港における環境改善方策等検討会（国土交通省神戸港湾事務所）、2025年度、委員長
- (7) ひょうごブルーカーボン連絡会議（兵庫県）、2025年度、学識委員
- (8) 神戸港における生物共生方策検討会（国土交通省神戸港湾事務所）、2025年度、委員
- (9) ひょうご豊かな海推進研究会（兵庫県漁業協同組合連合会）、2025年度、委員
- (10) 神戸港における生物共生方策検討会 緩傾斜護岸ワーキンググループ（国土交通省神戸港湾事務所）、2025年度、委員
- (11) 大阪湾見守りネット、2025年度、代表
- (12) 加太・友ヶ島環境戦略研究会（Kada Tomogashima Institute for Environmental Strategies :Katies）、2025年度、顧問

古川 恵太

- (1) 東アジア海域環境管理パートナーシップ技術会合、2025年4月1日～7月31日（任期満了）、技術会合議長
- (2) 地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 SIMSEA 小委員会協力、2025年4月1日～2026年3月31日、副代表
- (3) 日本沿岸域学会、企画運営委員会、2025年4月1日～2026年3月31日、企画運営委員
- (4) 国立研究開発法人科学技術振興機構、科学の甲子園／科学の甲子園ジュニア地学分科会委員、2025

年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、作問委員

- (5) 水産研究・教育機構 水産技術研究所、豊かな漁場環境推進事業のうち海域特性に応じた赤潮・貧酸素水塊、栄養塩類対策推進事業のうち栄養塩類不足による漁業被害への対策技術の開発・実証・高度化のうち東京湾、2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、外部有識者委員
- (6) 東京都港湾局港湾整備部、お台場海浜公園水域環境改善に関する意見・評価の聴取、2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、有識者
- (7) 環境省・有明海・八代海総合評価海域小委員会、2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、専門委員
- (8) 国土交通省・海における次世代モビリティに関する産学官協議会、2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、検討委員

小串 重治

- (1) 日本景観生態学会、2009 年 7 月～2026 年 1 月、企画・交流委員
- (2) 徳島カーボンオフセット推進協議会、2015 年 8 月～2026 年 1 月、理事
- (3) 蒲郡市三河湾環境チャレンジ実行委員会、2019 年 4 月～2026 年 1 月、委員長
- (4) 岡崎市地球温暖化防止隊、2020 年 4 月～2026 年 1 月、副会長
- (5) 公益社団法人徳島森林づくり推進機構 森林づくり運営協議会、2025 年 9 月～2026 年 1 月、委員

西田 貴明

- (1) 国土交通省、グリーンインフラ官民連携プラットフォーム運営委員会、運営委員・企画広報部会長
- (2) 国土交通省・水産庁、ブルーカーボン研究会、委員
- (3) いなべ市、いなべ市グリーンインフラ推進協議会、会長
- (4) 滋賀県、滋賀県グリーンインフラ懇話会、委員
- (5) 京都府、環境審議会自然・鳥獣保護部会、委員
- (6) 滋賀県、しが生物多様性取組認証制度審査会、審査委員
- (7) 公益財団法人高速道路調査会、高速道路のカーボンニュートラルに向けた総合的な施策等に関する基礎的研究委員会、委員
- (8) グリーンインフラ研究会、運営委員
- (9) 一般社団法人加太・友ヶ島環境戦略研究会、理事

飯山 直樹

- (1) 林野庁四国森林管理局保護林管理委員会、委員
- (2) 徳島県生活環境部サステナブル社会推進課、徳島県環境アドバイザー
- (3) 徳島県森林 CO2 吸収量認定委員会、委員
- (4) とくしま川づくり委員会、委員

大谷 壮介

- (1) 国土交通省近畿地方整備局神戸港湾技術調査事務所、大阪湾における中長期での環境再生に関する技術検討委員会委員、2024 年 8 月～、委員
- (2) 国土交通省近畿地方整備局神戸港湾事務所・阪神高速道路株式会社、神戸港における生物共生方

策検討委員会、大阪湾岸道路西伸部における生物共生方策検討ワーキンググループ委員、2024 年 9 月～、委員

- (3) 国土交通省近畿地方整備局神戸港湾事務所、兵庫運河における発生材活用検討会委員長、2026 年 2 月～、委員長

＜危機管理研究部門＞

小川 宏樹

- (1) 新たな GIS 検討業務委託事業者選定委員会、徳島県企画総務部情報政策課、2025 年 5 月 12 日～2026 年 3 月 31 日、委員
- (2) 徳島市都市計画審議会、徳島市都市建設部都市建設政策課、2025 年 5 月 1 日～2027 年 4 月 30 日、委員
- (3) 空き家 5 戦略事業利活用モデル業務公募型プロポーザル事業者選定委員会、徳島県県土整備部住宅課、2025 年 5 月 30 日～2026 年 3 月 31 日、委員
- (4) 令和 7 年度島木のおもちゃ美術館魅力向上事業設計・施工プロポーザル事業者選定委員会、徳島県農林水産部林業振興課、2025 年 7 月 7 日～2025 年 10 月 31 日、委員長
- (5) 県都とくしまウォークブル推進会議、徳島県県土整備部都市計画課、2025 年 8 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、副委員長
- (6) 小松島市中学校防災会議、小松島市立小松島小学校、2025 年 10 月 1 日～、座長
- (7) 小松島市ごみ処理技術等検討委員会、小松島市市民環境部、2025 年 11 月 4 日～2026 年 3 月 31 日、委員長
- (8) 徳島県 LED ビジョン選定委員会委員、徳島県知事戦略局、2025 年 12 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、委員長
- (9) 徳島市一般廃棄物（ペットボトル）の中間処理業務に係る選定審査会委員、徳島市間胸部環境政策、2026 年 1 月 7 日～3 月 31 日、委員
- (10) 小松島市屋内プール等整備基本計画検討会議、小松島市文化にぎわい推進本部、2026 年 2 月 16 日～3 月 31 日、委員

湯浅 恭史

- (1) 四国建設業 BCP 等審査会、四国地方整備局、2025 年 6 月～2027 年 5 月、部会員
- (2) 令和 7 年度ものづくり企業等災害時対応事業専門家、愛媛県中小企業団体中央会、2025 年 6 月～2026 年 3 月
- (3) 徳島県企業 BCP 委員会、徳島県経済産業部、2025 年 9 月～2026 年 3 月、オブザーバー
- (4) 徳島市水道ビジョン 2019 フォローアップ会議、徳島市上下水道局、2025 年 5 月～2026 年 3 月、委員

金井 純子

- (1) 日本自然災害学会、評議員、2023 年 5 月 2 日～2026 年 3 月 31 日、委員
- (2) 日本自然災害学会、防災イブニングカフェ企画担当、2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、委員
- (3) 徳島県危機管理部防災対策推進課、徳島県南海トラフ巨大地震被害想定検討委員会、2025 年 4 月

- 1 日～2026 年 3 月 31 日、委員
- (4) 阿南市危機管理課、2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日、防災減災・危機管理アドバイザー
 - (5) 徳島県防災対策推進課、令和 7 年度徳島新時代防災システム仕様書作成支援業務委託先選定委員会、2025 年 4 月 21 日、委員
 - (6) 徳島県危機管理部危機管理政策課、令和 7 年度県公式 LINE 情報発信強化推進業務プロポーザル選定委員会、2025 年 4 月 30 日～2025 年 7 月 31 日、委員
 - (7) 徳島県保健福祉部保健福祉政策課、個別避難計画市町村担当者連絡推進会議、2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、アドバイザー
 - (8) 徳島県県土整備部河川政策課、とくしま流域水管理委員会、2024 年 7 月 1 日～2026 年 8 月 31 日、委員
 - (9) 徳島県県土整備部建設管理課、建設工事従事者の安全及び健康の確保並びに処遇の改善に関する徳島県計画推進会議、2024 年 8 月 1 日～2027 年 7 月 31 日、委員
 - (10) 徳島県防災人材育成センター、県立防災センター防災学習機器導入業務選定委員会、2025 年 7 月 8 日～2025 年 8 月 31 日、委員
 - (11) 国土交通省道路局、社会資本整備審議会、2024 年 11 月 26 日～2026 年 11 月 25 日、専門委員
 - (12) 阿南市企画政策課、阿南市総合計画審議会、2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日、委員
 - (13) 徳島県県土整備部都市計画課、徳島県都市計画審議会、2025 年 9 月 1 日～2027 年 8 月 31 日、委員
 - (14) 徳島県危機管理部防災対策推進課、南海トラフ巨大地震対策啓発業務プロポーザル選定委員会、2025 年 11 月 11 日～2025 年 12 月 31 日、委員
 - (15) 徳島県危機管理部防災対策推進課、徳島県災害時情報共有システム構築・運用保守業務に係る落札者決定基準等検討委員会、2025 年 12 月 19 日～2026 年 1 月 9 日、委員
 - (16) 徳島県県土整備部用地対策課、徳島県国土利用計画審議会、2025 年 12 月 20 日～2028 年 12 月 19 日、委員
 - (17) 徳島県危機管理部防災対策推進課、徳島県災害時情報共有システム構築・運用保守業務に係る提案評価委員会、2026 年 2 月 4 日～2026 年 3 月 6 日、委員

松重 摩耶

- (1) 四国財務局、第 85 回国有財産四国地方審議会、2025 年 4 月～、委員
- (2) 四国地方整備局、第 1 回吉野川上流かわまちづくり推進協議会、2025 年 5 月～、委員
- (3) 徳島県、公共事業評価委員会、2025 年 10 月～、委員
- (4) 徳島県、地方港湾審議会、2025 年 10 月～、委員
- (5) 徳島県、とくしま流域水管理委員会、2026 年 2 月～、委員
- (6) 徳島県、とくしま川づくり委員会、2026 年 3 月～、委員

中野 晋

- (1) 徳島県、徳島県防災減災・復興アドバイザー、2025 年 4 月 22 日～2027 年 4 月 21 日
- (2) 四国地方整備局、四国南海トラフ地震対策戦略会議、2025 年 7 月 1 日～2027 年 3 月 31 日、構成員
- (3) 四国地方整備局徳島河川国道事務所、旧吉野川・今切川河川堤防の耐震対策に関する技術検討会、2025 年 7 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、委員

- (4) 四国地方整備局、吉野川学識者会議、2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日、委員
- (5) 土木学会四国支部、四国地域緊急災害調査委員会、2025 年 6 月 1 日～2026 年 5 月 31 日、幹事
- (6) 土木学会四国支部、四国ブロック南海地震研究委員会、2025 年 6 月 1 日～2026 年 5 月 31 日、幹事
- (7) 徳島市、徳島市地域強靱化改革推進会議、2025 年 9 月 10 日～2026 年 3 月 31 日、委員
- (8) 徳島県、令和 7 年度「学校安全総合支援事業」推進委員会、2025 年 6 月～2026 年 3 月 31 日、委員
- (9) 徳島市、徳島市国土強靱化地域計画推進委員会、2025 年 10 月 1 日～2026 年 3 月 31 日、委員長
- (10) 関西広域連合広域防災局、関西広域防災計画策定委員会、2025 年 9 月 1 日～2027 年 3 月 31 日、委員
- (11) 勝浦川渡河橋における環境保全検討委員会、2025 年 10 月 15 日～2026 年 3 月 31 日、委員長
- (12) 徳島県海岸保全基本計画（改訂）検討会、2025 年 7 月 1 日～2027 年 3 月 31 日、会長

宇野 宏司

- (1) 国土交通省兵庫運河における環境改善方策等検討会、2025 年度、委員
- (2) 土木学会海洋開発委員会企画小委員会、2024 年度～、委員長
- (3) 土木学会海岸工学委員会論文集編集小委員会、2022 年度～、委員
- (4) 土木学会技術者教育プログラム審査委員会、2022 年度～、委員
- (5) 土木学会海洋開発委員会、2022 年度～、委員兼幹事
- (6) 日本高専学会、2020 年度～、理事
- (7) 日本技術者教育認定機構（JABEE）、2020 年度～、副審査委員
- (8) 土木学会関西支部「シビルアカデミー委員会」、2019 年度～、副委員長
- (9) 福田川クリーンクラブ、2017 年度～、顧問
- (10) 土木学会関西支部 FCC 委員会、2017 年度～、幹事
- (11) 土木学会海岸工学委員会地域研究活性化小委員会（大阪湾・瀬戸内海）、2016 年度～、委員
- (12) CEJ、2015 年度～、論文査読員

坂東 淳

- (1) 日本災害医学会、2023 年 3 月～2027 年 3 月、評議員
- (2) 内閣府（防災）、TEAM 防災ジャパン、2023 年～、ローカルメンバー
- (3) 防災科学技術研究所 経営諮問会議、2025 年 2 月～2026 年 3 月、諮問会議委員
- (4) 国立研究開発法人海洋研究開発機構、文部科学省委託事業「南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト」推進委員会、2025 年～2030 年度、推進委員会委員
- (5) 沖縄県・全国保健所長会有志、大規模避難を考える WG、2024 年 6 月～
- (6) 内閣府防災、令和 8 年度「事前防災対策総合推進費」における防災技術の研究開発等の課題設定に向けたプレ有識者会議、2026 年 1 月～

4. 2 講師派遣（講演会等名称、講演題目、実施日、実施場所、主催機関、対象、参加者数 など）

<防災研究部門／環境研究部門／危機管理研究部門>

山中 亮一

- (1) 防災 Café、「高潮による生態系の攪乱」、2025 年 8 月 22 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (2) 令和 7 年度防災士のためのスキルアップ研修、「避難生活の基礎 2：クロスロードゲーム」、徳島県立防災センター、2025 年 12 月 13 日、19 名
- (3) 防災 Café、「地震による都市部での液状化災害」、2026 年 1 月 16 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (4) とくしま大学環境防災 Café、「能登半島での海岸・河川における複合災害被害の現地調査」、2026 年 2 月 26 日、オンライン、26 名

<防災研究部門>

馬場 俊孝

- (1) 徳島大学防災リーダー養成講座、「地震・津波による災害」、2025 年 5 月 21 日、徳島大学教養教育 5 号館、101 名
- (2) とくしま大学環境防災 Café、「南海トラフ地震の被害想定の見直しについて」、2025 年 5 月 22 日、オンライン、環境防災研究センター、81 名
- (3) 防災 Café、「南海トラフ地震の被害想定の見直しについて」、2025 年 5 月 30 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (4) 令和 7 年度鳴門市地域防災リーダー養成講座、「地震・津波による災害」、2025 年 8 月 23 日、鳴門市役所、85 名
- (5) 令和 7 年度徳島県職員等講習会、「地震・津波による災害」、2025 年 9 月 1 日、あわぎんホール、171 名

蔣 景彩

- (1) 防災 Café、「令和 7 年度の防災 Café！最新の動向を踏まえた防災への備え」、2025 年 4 月 11 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (2) 防災 Café、「土砂災害への備え」、2025 年 6 月 20 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (3) 防災 Café(臨時)、「トカラ列島群発地震から考える地震への備え」、2025 年 7 月 4 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (4) 令和 7 年度鳴門市地域防災リーダー養成講座、「風水害・土砂災害等への備え」、2025 年 8 月 23 日、鳴門市役所、85 名
- (5) 令和 7 年度徳島県職員等講習会、「風水害・土砂災害への備え」、2025 年 9 月 1 日、あわぎんホール、171 名
- (6) 2025 年度（第 36 回）京都大学防災研究所・徳島大学環境防災研究センター公開講座、「それでも減らない土砂災害今後は?」、2025 年 9 月 13 日、あわぎんホール、70 名

- (7) 防災 Café、「地震と豪雨による複合災害と対策」、2025 年 9 月 26 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (8) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 1 回短期講座）、「風水害・土砂災害への備え」、2025 年 10 月 29 日、あわぎんホール、159 名
- (9) とくしま大学環境防災 Café、「豪雨と地震による地盤災害と対策」、2025 年 11 月 27 日、オンライン、30 名
- (10) 防災 Café、「土砂災害ハザードマップの課題」、2025 年 11 月 28 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (11) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 2 回短期講座）、「風水害・土砂災害への備え」、2025 年 12 月 1 日、あわぎんホール、130 名
- (12) 南京工業大学、2024 年能登半島地震による道路盛土被害の特徴と震害分析、2025 年 12 月 29 日、36 名
- (13) 河海大学土木工程学院、最近の研究トピック：土砂災害警戒区域設定と低透水材料の透水試験器開発、2025 年 12 月 30 日、28 名
- (14) 令和 7 年度防災士のためのスキルアップ研修、「危機を知る：ハザードマップ&キキクルー風水害から命を守るためのスキルアップ」、2025 年 12 月 13 日、徳島県立防災センター、19 名
- (15) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 3 回短期講座）、「風水害・土砂災害への備え」、2026 年 1 月 11 日、あわぎんホール、140 名
- (16) 令和 7 年度上板町防災士養成講座、「風水害・土砂災害への備え」、2026 年 2 月 14 日、上板町技の館、58 名
- (17) 防災 Café、「R7 年度 FM 徳島防災 Café の振り返り」、2026 年 3 月 27 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内

武藤 裕則

- (1) 徳島大学防災リーダー養成講座、「気象災害・風水害、風水害・土砂災害への備え」、2025 年 6 月 25 日、徳島大学教養教育 5 号館、101 名
- (2) 令和 7 年度鳴門市地域防災リーダー養成講座、「気象災害・風水害」、2025 年 8 月 23 日、鳴門市役所、85 名
- (3) 令和 7 年度徳島県職員等講習会、「気象災害・風水害」、2025 年 9 月 1 日、あわぎんホール、171 名
- (4) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 1 回短期講座）、「気象災害・風水害」、2025 年 10 月 29 日、あわぎんホール、159 名
- (5) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 2 回短期講座）、「気象災害・風水害」、2025 年 12 月 1 日、あわぎんホール、130 名
- (6) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 3 回短期講座）、「気象災害・風水害」、2026 年 1 月 11 日、あわぎんホール、140 名

野田 稔

- (1) 防災 Café、「風がもたらす災害」、2025 年 7 月 11 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内

- (2) とくしま大学環境防災 Café、「強風に備える話」、2025 年 8 月 28 日、オンライン、29 名

西山 賢一

- (1) 徳島大学防災リーダー養成講座、「土砂災害と火山災害」、2025 年 6 月 4 日、徳島大学教養教育 5 号館、101 名
- (2) とくしま大学環境防災 Café、「三好市の山地集落で実施した防災まち歩き」、2025 年 6 月 26 日、オンライン、35 名
- (3) 地形・地質調査に基づく土砂災害危険箇所の推定、令和 7 年度治山専門技術研修会（徳島県）、2025 年 7 月 10 日、約 30 名
- (4) 徳島県の自然災害から学ぶ、令和 7 年度大学・研究機関研修（徳島県総合教育センター）、2025 年 7 月 25 日、13 名
- (5) 防災 Café、「自然災害伝承碑」から学ぶ徳島の防災」、2025 年 7 月 25 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (6) 四国中央部・三波川変成岩分布域の地すべりにおけるボーリングコアの詳細解析、令和 7 年度高知県・徳島県地すべり対策技術検討会（徳島県）、2025 年 10 月 29 日、約 40 名

田村 隆雄

- (1) とくしま大学環境防災 Café、「徳島市災害避難支援マップの作成 15 年の歩み～市民の認知度と理解度、今後の改善について～」、2025 年 5 月 22 日、オンライン、81 名
- (2) 徳島大学防災リーダー養成講座、「防災マップ作り」、2025 年 7 月 16 日、徳島大学教養教育 5 号館、101 名
- (3) 防災 Café、「ただいま作成中！北井上地区災害避難支援マップ」、2025 年 7 月 18 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (4) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 1 回短期講座）、「自主防災活動と地区防災計画」、2025 年 10 月 30 日、あわぎんホール、159 名
- (5) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 2 回短期講座）、「自主防災活動と地区防災計画」、2025 年 12 月 1 日、あわぎんホール、130 名
- (6) 防災 Café、「ただいま作成中！入田地区災害避難支援マップ」、2025 年 12 月 19 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (7) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 3 回短期講座）、「自主防災活動と地区防災計画」、2026 年 1 月 12 日、あわぎんホール、140 名

上野 勝利

- (1) 令和 7 年度「地質技術講習会」、2025 年 5 月 29 日、あわぎんホール、一般社団法人四国地質調査業協会

三輪 昌史

- (1) 防災 Café、「水上ドローンでの調査」、2025 年 5 月 23 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内

- (2) 防災 Café、「ドローン搬送」、2025 年 10 月 24 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内

中田 成智

- (1) とくしま大学環境防災 Café、「Plateau3D 都市モデルの活用と AI を用いた建物情報の推定」、2025 年 12 月 18 日、オンライン、17 名

内藤 直樹

- (1) 防災 Café、「流域治水（鳴門の事例）」、2025 年 5 月 16 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (2) とくしま大学環境防災 Café、「「溢れること」の環境史：流域治水・生物多様性・生業」、2025 年 8 月 28 日、オンライン、29 名
- (3) 防災 Café、「鳥獣害対策とジビエ四国の地すべり災害」、2025 年 10 月 17 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (4) 防災 Café、「世界農業遺産（日本 or 世界）」、2026 年 1 月 23 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内

古谷 綱崇

- (1) とくしま大学環境防災 Café、「地すべり災害と防災対策・維持管理」、2026 年 2 月 26 日、オンライン、26 名
- (2) 防災 Café、「四国の地すべり災害」、2026 年 2 月 27 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内

<災害医療研究部門>

西村 明儒

- (1) 徳島大学防災リーダー養成講座、「災害医療とこころのケア」、2025 年 5 月 7 日、徳島大学教養教育 5 号館、101 名
- (2) 防災士研修講座、災害医療とこころのケア、2025 年 7 月 24 日、美馬市、防災士研修センター、美馬市職員および市指定の民間事業者、約 60 名
- (3) 徳島大学医学部法医学分野の取り組み～大規模災害、虐待、法医学画像、新型コロナウイルスについて～、2025 年 8 月 2 日、山口市、山口県医師会警察医会第 35 回研修会、警察活動協力医、医師・歯科医師会員、警察・消防・海保関係者、約 100 名
- (4) 令和 7 年度鳴門市地域防災リーダー養成講座、「災害医療とこころのケア」、2025 年 8 月 24 日、鳴門市役所、85 名
- (5) 防災士研修講座、災害医療とこころのケア、2025 年 8 月 24 日、徳島市、防災士研修センター、徳島県内高校生、中学生、教職員、約 90 名
- (6) 令和 7 年度徳島県職員等講習会、「災害医療とこころのケア」、2025 年 9 月 2 日、あわぎんホール、171 名
- (7) 大規模災害時における多数遺体の処置、遺体管理に関する研究小委員会、地域安全学会、2025 年

9月14日、大阪市、大阪公立大学、約10名

- (8) 令和7年度徳島県「警察・医師会・歯科医師会」合同災害時遺体対応訓練、2025年10月9日、徳島県警察学校体育館、130名程度
- (9) 交通外傷と死体現象・解剖制度、交通専科、2025年10月21日、徳島市、徳島県警察本部交通指導課、約20名
- (10) 法医学について、司法修習生講義、2025年10月28日、徳島市、徳島地方検察庁、司法修習生、約15名
- (11) 徳島県地域防災推進員養成研修（第1回短期講座）、「災害医療とこころのケア」、2025年10月30日、あわぎんホール、159名
- (12) 防災 Café、「大規模災害等における徳島県警察と徳島県医師会、徳島県歯科医師会及び徳島大学との協力に関する協定」、2025年11月21日17:45から約10分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (13) 地震災害における人的被害と対策について、防災講演会、仁淀川町自主防災組織連絡協議会、2025年11月25日、徳島市、約40名
- (14) 「医療倫理」について、日本産業衛生学会、2025年11月27日、徳島市、約100名
- (15) 徳島県地域防災推進員養成研修（第2回短期講座）、「災害医療とこころのケア」、2025年12月1日、あわぎんホール、130名
- (16) 徳島県地域防災推進員養成研修（第3回短期講座）、「災害医療とこころのケア」、2026年1月11日、あわぎんホール、140名
- (17) 遺体検案研修会、平時における検案要領、2026年1月25日、徳島県医師会館、徳島県医師会、徳島県医師会会員、50名程度
- (18) 遺体検案研修会、大規模災害時における検案に対する留意点と所見の特徴、2026年1月25日、徳島県医師会館、徳島県医師会、徳島県医師会会員、50名程度
- (19) 遺体検案研修会、死亡診断書・死体検案書の書き方～日常と災害時～、2026年1月25日、徳島県医師会館、徳島県医師会、徳島県医師会会員、50名程度
- (20) 防災士研修講座、災害医療とこころのケア、2026年2月15日、さぬき市、防災士研修センター、さぬき市推薦者、約70名
- (21) 令和7年度上板町防災士養成講座、「災害医療とこころのケア」、2026年2月15日、上板町技の館、58名

佐藤 健二

- (1) とくしま大学環境防災 Café、「被災者心理の理解とケア」、2025年7月24日、オンライン、34名

岡久 玲子

- (1) 防災 Café、「みんなで育てる防災意識」、2025年12月26日17:45から約10分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内

内海 千種

- (1) 防災 Café、「災害がもたらす心身への影響」、2026年3月20日17:45から約10分間、エフエム

徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内

主田 英之

- (1) 令和7年度徳島県「警察・医師会・歯科医師会」合同災害時遺体対応訓練、2025年10月9日、徳島県警察学校体育館、130名程度
- (2) 遺体検案研修会、遺体検案の制度、2026年1月25日、徳島県医師会館、徳島県医師会、徳島県医師会会員、50名程度
- (3) 遺体検案研修会、死体現象について、2026年1月25日、徳島県医師会館、徳島県医師会、徳島県医師会会員、50名程度

上白川 沙織

- (1) 防災Café、「在宅医療の場における防災」、2026年2月20日17:45から約10分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 勝浦川流域フィールド講座、Nature Positiveへの道筋、徳島県ほか、2025年4月21日、エコみらいとくしま（徳島市）、20名
- (2) 自然によりそう地域づくり、しめっちネット「しめっちカフェ」、bokashi（札幌市）、2025年5月24日、50名
- (3) 自然によりそう地域づくり、事業構想大学院大学「事業構想スピーチ」、2025年9月19日、事業構想大学院大学大阪校（大阪市、オンライン）100名
- (4) 地域における自然資本管理のための協働のプロセスとデザイン、環境省環境調査研修所「自然環境研修」、2025年10月29日、環境調査研修所（所沢市）、100名
- (5) 祖谷地域の草原・草地の景観生態、一般社団法人日本茅葺き文化協会、令和7年度文化庁ふるさと文化財の森普及啓発事業「東祖谷かやぶきの里、茅葺きを萱刈りのワークショップ」、2025年11月29日、東祖谷歴史民俗資料館（みよし市）、30名
- (6) 地域における自然資本管理のための協働のプロセスとデザイン、高知県「ちょっと聞いてみん？こうちの森と川のこと～流域の明日のために」、2026年2月20日、こうち男女共同参画センター「ソーレ」（高知市）
- (7) 「宝が池の森」保全再生協議会が持つ意義、「宝が池の森」保全再生協議会「“宝が池の森”から広がる人と自然の新たな関係」、2026年3月7日、京都工芸繊維大学60周年記念ホール（京都市）

上月 康則

- (1) サマースクール、ブルーカーボンと地球温暖化、沖洲マリンターミナル、国道交通省四国地方整備局、徳島県、2025年7月26日、一般市民、20名
- (2) ナイトウォッチ、沖洲人工海浜、沖楽会、徳島県、2025年8月6日、一般市民、27名
- (3) 尼崎～西宮の水辺再生プログラム視察、RACES、2025年、11月2日、一般市民、11名
- (4) 勝浦川の水をきれいにする会、上勝町、2025年11月30日、一般市民、30名

河口 洋一

- (1) とくしま大学環境防災 Café、「水をすくって生き物を調べる旧吉野川水系の魚たち」、2025 年 6 月 26 日、オンライン、35 名

渡辺 公次郎

- (1) とくしま大学環境防災 Café、「事前復興とまちづくり」、2025 年 9 月 25 日、オンライン、28 名

中西 敬

- (1) ブルーカーボン・コミュニティビジネス研究会「沿岸域の環境並びに藻場造成に関する勉強会」、2025 年 4 月 4 日、6 月 6 日、9 月 10 日、参加者延べ 45 名
- (2) 令和 7 年度静岡県港湾振興会総会基調講演「港湾とブルーカーボン生態系」主催：静岡県港湾振興会(講演)、2025 年 7 月 28 日、参加者約 200 名
- (3) 水産大学校応用生物学特別講義他「工学的手法による漁場環境改善」、2025 年 7 月 10・11 日、学生延べ 100 名
- (4) 兵庫教育大学教員研修「知っておきたい！港湾の役割－物流、利用、環境、防災－」、(主催：兵庫教育大学・土木学会関西支部)、2025 年 8 月 8 日、参加教員 20 名
- (5) 企業研修「ブルーカーボンとアミノ酸コンクリート」、2025 年 9 月 18 日、聴講者 25 名
- (6) 一般社団法人日本海上起重技術協会近畿支部総会「工船用船舶を活用したブルーカーボン生態系の創出」(講演)、2025 年 9 月 29 日、聴講者 40 名
- (7) 神戸市漁業協同組合海苔養殖漁期前講習会「漁場環境のこれまでとこれから」(講演)、2025 年 11 月 7 日、聴講者 35 名
- (8) ブルーカーボン分科会設置に向けた勉強会(第 2 回)「ブルーカーボンをうまく？使うために」(主催：境境港湾脱炭素化推進協議会)、講演、2026 年 3 月 24 日、聴講者 25 名
- (9) CSR-NPO 未来交流会 2026<令和 7 年度>「今だから話せる？(笑) 兵庫運河での藻場造成とブルーカーボン認証取得(主催：東京湾再生官民連携フォーラム)、講演、2026 年 03 月 31 日、聴講者(web 含む) 約 70 名

山本 裕史

- (1) とくしま大学環境防災 Café、「水や食べ物は大丈夫?PFAS 汚染のホントとウソ」、2026 年 1 月 22 日、オンライン、39 名

古川 恵太

- (1) 国連大学 Studies of Socio-Ecological Production Landscapes and Seascapes、沿岸域総合管理／里海の考え方による海洋沿岸域生態系の賢い利用、2025 年 4 月 11 日、国連大学、国連大学高等科学研究所、各国から派遣されたコース受講者、10 名
- (2) 国際特別セミナー：気候変動への適応と将来の進路、2025 年 5 月 1～2 日、韓国海洋科学技術研究所、日中韓の研究者、30 名
- (3) 教員研修：海洋教育でできること、2025 年 6 月 2 日、中央区立豊海小学校(東京都)、教員 15 名
- (4) 浦安市海の教室(3 回コース)、2025 年 6 月 27 日、7 月 27 日、8 月 30 日、浦安水辺の会、一般公

募の親子延 30 名

- (5) 名古屋大学沿岸海象力学、2025 年 7 月 9 日、海域生態系の複雑なメカニズムとその管理、名古屋大学、科目受講生 50 名
- (6) 埼玉マハゼ調査隊、2025 年 8 月 6 日、東京湾とマハゼの歴史と生態を学ぶ、テレビ埼玉、受講生 50 名
- (7) World Coastal Forum、2025 年 9 月 24 日、Toward Adaptation: Practical Blue Carbon Ecosystem Management through Stakeholder Participation, Huayang Center for Maritime Cooperation and Ocean Governance、オンライン（ビデオ）講演
- (8) 浦安市まちづくり講座、2025 年 10 月 4 日、江戸前ハゼが語る海辺の環境、浦安市民大学、一般公募の市民 40 名
- (9) 木更津市地域循環共生圏里海部会、2025 年 10 月 16 日、データから見る東京湾、木更津市観光協会、里海部会関係者 30 名
- (10) 東京湾シンポジウム、2025 年 10 月 16 日、江戸前ハゼ復活プロジェクトの今、国土技術政策総合研究所、公開シンポ 200 名
- (11) 新渡戸文化小学校体験学習、2025 年 11 月 19 日、新渡戸文化小学校・竹芝干潟、5 年生 60 名
- (12) 持続可能な地域と環境リテラシー特別講義、2025 年 12 月 20 日、持続可能な東京湾を目指して、岐阜大学、受講生 15 名
- (13) とくしま大学環境防災 Café、「協働・共創のためのテクニック（環境事業における合意形成）」、2026 年 1 月 22 日、オンライン、39 名
- (14) 里海づくりシンポジウム、2026 年 1 月 30 日、難波御堂筋ホール、環境省・国際エメックスセンター共催、公開シンポ 60 名
- (15) 環境講座：日本の藻場の未来、2026 年 3 月 29 日、港区エコプラザ、公募 20 名

西田 貴明

- (1) 兵庫の里山・里海の恵みを将来につなぐ ～自然・文化資源を活かした地域の共創～、地球と共生・環境の集い 2025（主催兵庫県他）、兵庫県私学会館、講演、2025 年 5 月 19 日
- (2) 複合構造レポート 21 グリーングレーハイブリッドインフラの現状と将来展望、土木学会 複合構造委員会 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会（参画）、2025 年 9 月
- (3) 官民連携プラットフォーム学会間連携について、「グリーングレーハイブリッドインフラの現状と将来展望」に関する講習会（土木学会（複合構造委員会 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会））、東京都・土木学会講堂、講演、2025 年 10 月 31 日
- (4) グリーンインフラの日常業務での活用・滋賀のグリーンインフラシンポジウム、滋賀県・滋賀県庁新館 パネリストとして参加、2025 年 11 月 20 日
- (5) SIP いなべ研究プロジェクトの概要・にぎわいの森雨庭整備事業について、第 2 回いなべグリーンインフラフェス 2025、京都産業大学・いなべ市・SIP グリーンインフラ研究プロジェクト、三重県いなべ市・にぎわいの森シビックコア棟、講演、2025 年 12 月 13 日
- (6) 森の再生・ネイチャーポジティブを促す社会動向と制度：「宝が池の森」から広がる人と自然の新たな関係（「宝ヶ池の森」保全再生協議会）京都工芸繊維大学 60 周年記念ホール、講演、2026 年

3月7日

小串 重治

- (1) 総合的な学習・岡崎市の自然の恵みを活かすには？、講演：「岡崎市の自然 過去・現在・未来」、2025年5月9日、愛知教育大学付属岡崎小学校、6年生、35名
- (2) 第12回勝浦川流域フィールド講座、講演：「里地・里山の過去・現在・未来」、徳島県・とくしま生物多様性センター・NPO 徳島保全生物学研究会・生物多様性とくしま会議、2025年6月29日、一般、20名
- (3) 企業のための生物多様性保全講座①、講演：「自然共生サイト制度とは？」、愛知県環境局自然環境課、企業サステイナ部門担当者、2025年8月25日、25人
- (4) 蒲郡自然体験ツアー、講演：「海岸漂着物から学ぶ資源循環社会づくり」、愛知県環境局資源循環推進課、2025年9月23日、一般（親子参加）、40人
- (5) 企業のための生物多様性保全講座②、講演：「生物多様性緑化と外来生物」、愛知県環境局自然環境課、企業サステイナ部門担当者、2025年10月6日、25人
- (6) 企業のための生物多様性保全講座③、講演：「生物多様性保全がもたらすもの～自然のめぐみを再考しよう～」、愛知県環境局自然環境課、企業サステイナ部門担当者、2025年10月31日、25人
- (7) 第12回ふれあいフェスタ、講演：「海ごみはどこから来て・どこへ行く？」、岡崎市立根石小学校、児童参加、2025年11月22日、50人
- (8) 第43回全国リーダーズ研修会 愛知岡崎大会、講演：「森林資源を活用した地域活性化の可能性」、日本商工会議所青年部、2025年11月29日、リーダーズ35人
- (9) 第6回徳島カーボンオフセット推進協議会セミナー、講演：「新展開のご提案 ネイチャーポジティブ経済への移行」、2025年12月9日、一般、20名
- (10) フォーラム・北アルプス山麓の自然資源をまちの力に変える、講演：「人と自然の関係を編み直す～ネイチャーポジティブ～」、NPO 法人しぜんとは、2026年1月11日一般、70人
- (11) 緑のデザイン（徳島大学理工学部社会基盤デザインコース3年生対象講義）、講演：「ネイチャーポジティブ経済への移行＜企業の生物多様性保全活動最前線＞」、徳島大学理工学部社会基盤デザインコース3年生、2025年1月23日、90人
- (12) 地域環境リーダー研修会、講演：「SDGsの仕上げ？ネイチャーポジティブとは？」、愛知県東三河総局環境保全課、地域環境リーダー、2026年1月31日、14人

飯山 直樹

- (1) 「安全登山のための基礎講座」講師、県立高丸山千年の森ふれあい館森の学校（徳島県上勝町）、2025年4月12日、一般、5名
- (2) クビアカツヤカミキリ防除ネット設置実践勉強会講師（徳島県板野町）、2025年5月10・17・18・25・31日、6月15・22日、一般、延べ約50名
- (3) 小松島市南部土地改良区坂野地区農地・水・環境保全会、生き物調査講師（徳島県小松島市）、2025年6月1日、一般、約50名
- (4) 「上勝小学校オープンスクール」講師、上勝小学校（徳島県上勝町）、2025年11月1日、一般親子、40名

- (5) 「移動木のおもちゃ美術館」講師、海陽町海部庁舎（徳島県海陽町）、2025 年 11 月 8 日、一般親子、80 名
- (6) 「ブナ林をシカから守るぞ」保護活動講師、県立高丸山千年の森ふれあい館森の学校（徳島県上勝町）、2025 年 11 月 30 日、一般、5 名
- (7) 「広葉樹を増やそう」講師、県立高丸山千年の森ふれあい館森の学校（徳島県上勝町）、2025 年 12 月 21 日、一般、1 名

大谷 壮介

- (1) 令和 7 年度堺泉北港南泊地における里海づくり現場講師、大阪府環境保全課・一般財団法人環境事業協会、2025 年 5 月 27 日・6 月 4 日
- (2) 大阪ベイス쿨講師、国土交通省近畿地方整備局・一般財団法人みなと総合研究財団、2025 年 8 月 1 日
- (3) 大阪湾岸道路西伸部ワーキンググループ勉強会講師、「大阪湾沿岸部の近年の変化と兵庫運河における人工干潟の機能」、国土交通省近畿地方整備局神戸港湾事務所・阪神高速道路株式会社・一般財団法人みなと総合研究財団、2026 年 1 月 15 日
- (4) 第 22 回大阪湾フォーラム基調講演、「大阪湾奥のいまを知る-長期データが語る海の変化-」、2026 年 3 月 1 日

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) 徳島大学防災リーダー養成講座、「オリエンテーション／地震・津波への備え／耐震診断と補強」、2025 年 4 月 16 日、徳島大学教養教育 5 号館、101 名
- (2) なか地域価値創造協議会設立記念講演会～みんなで空き家について考えよう～、「空き家は解体？活かす？あなたの実家をどうするか」、2025 年 4 月 20 日、主催：なか地域価値創造協議会、後援：那賀町、那賀町地域交流センター、62 名
- (3) 令和 7 年度空き家カンファレンス、「今から始める！我が家・実家の空き家対策～みんなで空き家について考えよう～」、2025 年 5 月 18 日、主催：和歌山市、協力：特定非営利活動法人さんどう、和歌山市東部コミュニティセンター、20 名
- (4) WAM 寺子屋 2025 年 6 月、「空き家を活用して人生後半戦のチャレンジを豊かに」、2025 年 6 月 28 日、主催：特定非営利活動法人 ALINE LAB、まちの縁が輪（徳島市）、10 名
- (5) 令和 7 年度東牟婁地域空き家バンクコーディネーター育成研修会（第 1 回）、空き家バンクの機能と普及に向けた評価について、2025 年 6 月 27 日、和歌山県地域振興課、18 名
- (6) 令和 7 年度東牟婁地域空き家バンク登録支援セミナー、今から始める実家の空き家の対策～事前準備と空き家バンクのしくみ～、2025 年 7 月 22 日、和歌山県地域振興課、15 名
- (7) 防災 Café、「安心・安全の家づくりと建築基準法改正」、2025 年 8 月 29 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (8) 令和 7 年度空き家カンファレンス（第 2 回）、「今から始める！我が家・実家の空き家対策～みんなで空き家について考えよう～」、2025 年 8 月 30 日、主催：和歌山市、和歌山市立図書館、30 名
- (9) 小松島公民館防災勉強会、避難所運営ゲーム、2025 年 9 月 3 日、主催：小松島公民館、共催：川

南・川北・鳳栄町町内会自主防災会、10名

- (10) 令和7年度東牟婁地域空き家バンクコーディネーター育成研修会（第2回）、不動産の登記情報について、2025年9月5日、和歌山県地域振興課、18名
- (11) 令和7年度東牟婁地域空き家バンク登録支援セミナー、今から始める実家の空き家の対策～事前準備と空き家バンクのしくみ～、2025年11月15日、和歌山県地域振興課、10名
- (12) 令和7年度空き家カンファレンス（第3回）、「今から始める！我が家・実家の空き家対策～みんなで空き家について考えよう～」、2025年11月23日、主催：和歌山市、和歌山市西コミュニティセンター、30名
- (13) 防災Café、「最新の空き家バンク事情」、2025年12月12日17：45から約10分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (14) 空家再生インフルエンサー養成講座、空き家の利活用を始める前に～法令に関する予備知識～、2025年12月20日、主催：橋本市、橋本商工会館、19名
- (15) 令和7年度空き家カンファレンス（第4回）、「今から始める！我が家・実家の空き家対策～みんなで空き家について考えよう～」、2025年12月21日、主催：和歌山市、和歌山市河西コミュニティセンター、30名、
- (16) 徳島県障がい者交流プラザ防災講座、地震・津波への備え、2026年3月10日、主催：徳島県障がい者交流プラザ、35名

上月 康則

- (1) 防災Café、「最近の自然災害、防災の話題1～南海トラフ巨大地震新被害想定～」、2025年4月18日17：45から約10分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (2) 徳島大学防災リーダー養成講座、「ライフライン・交通インフラの確保」、2025年4月23日、徳島大学教養教育5号館、101名
- (3) 令和6年能登半島地震、2025年5月9日、Switch、25名
- (4) 阿南市の災害と防災、2025年5月14日、阿南高専、120名
- (5) 四国の災害を学ぶ、サマースクール、2025年7月26日、沖洲マリニピア、国土交通省小松島港湾事務所、徳島県、23名
- (6) 防災Café、「最近の自然災害、防災の話題2」、2025年8月15日17：45から約10分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (7) 令和7年度鳴門市地域防災リーダー養成講座、「地震・津波への備え」、2025年8月23日、鳴門市役所、85名
- (8) 城北高校、四国の災害と防災について、2025年8月25日、6名
- (9) 令和7年度徳島県職員等講習会、「地震・津波への備え」、2025年9月1日、あわぎんホール、171名
- (10) ぼうさいこくたい2025in新潟、2025年9月6・7日、朱鷺メッセ、内閣府、400名
- (11) 三好防災フェスタ、2025年9月23日、池田総合体育館、三好市危機管理課
- (12) 南海トラフ巨大地震の新被害想定と徳島大学の備え、2025年9月24日、中国・四国工学教育協会高専教育部会教員研究集会、30名
- (13) 徳島県地域防災推進員養成研修（第1回短期講座）、「地震・津波への備え」、2025年10月29日、あわぎんホール、159名

- (14) パネルディスカッション、四国災害対策ローカルネットワーク構築事業情報共有会議、2025 年 10 月 31 日
- (15) 防災 Café、「最近の自然災害、防災の話題 3」、2025 年 10 月 31 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (16) 災害ケースマネジメント研修・徳島、徳島県、2025 年 11 月 25 日
- (17) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 2 回短期講座）、「地震・津波への備え」、2025 年 12 月 2 日、あわぎんホール、130 名
- (18) 令和 7 年度防災士のためのスキルアップ研修、「被災後の生活困窮を防ぐ：防災パッカーンアプリ」、「誰一人取り残されない支援：災害ケースマネジメント」、「ふりかえり」徳島県立防災センター、2025 年 12 月 14 日、19 名
- (19) 災害被災者支援うずしお全国フォーラム、2026 年 1 月 8 日、徳島クレメントホテル、150 名
- (20) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 3 回短期講座）、「復旧・復興と被災者支援」、2026 年 1 月 12 日、あわぎんホール、140 名
- (21) 国土強靱化フォーラム、2026 年 1 月 19 日、徳島クレメントホテル、350 名
- (22) 情報共有会議 in かがわ、2026 年 2 月 6 日、徳島クレメントホテル、50 名
- (23) 令和 7 年度上板町防災士養成講座、「地震・津波への備え」、2026 年 2 月 14 日、上板町技の館、58 名
- (24) 防災 Café、「最近の自然災害、防災の話題 4」、2026 年 3 月 13 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内

光原 弘幸

- (1) とくしま大学環境防災 Café、「防災教育に与える生成 AI のインパクト」、2026 年 3 月 19 日、徳島大学フューチャーセンター A.BA.、25 名
- (2) 点群データの防災活用ならびに防災教育用デジタルコンテンツに関する交流、2025 年 10 月 31 日、高知県立安芸高等学校、オンライン
- (3) XR 技術を用いた避難誘導試行、2025 年 11 月 26 日、徳島県立国府支援学校
- (4) バーチャル避難訓練、2025 年 11 月 28 日（1 回目）、12 月 19 日（2 回目）、美波町立日和佐小学校

白山 敦子

- (1) とくしま大学環境防災 Café、「木造建築の揺れ方をみる」、2025 年 12 月 18 日、オンライン、17 名
- (2) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 1 回短期講座）、「地震・津波による災害」、2025 年 10 月 29 日、あわぎんホール、159 名
- (3) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 2 回短期講座）、「地震・津波による災害」、2025 年 12 月 1 日、あわぎんホール、130 名
- (4) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 3 回短期講座）、「地震・津波による災害」、2026 年 1 月 11 日、あわぎんホール、140 名
- (5) 令和 7 年度上板町防災士養成講座、「地震・津波による災害」、2026 年 2 月 14 日、上板町技の館、58 名

湯浅 恭史

- (1) とくしま大学環境防災 Café、「令和 6 年能登半島地震での医療機関の対応と課題」、2025 年 4 月 24 日、オンライン、62 名
- (2) 徳島大学防災リーダー養成講座、「行政の災害対策と危機管理、企業・団体の事業継続」、2025 年 5 月 14 日、徳島大学教養教育 5 号館、101 名
- (3) 大洲スタンプ協同組合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー1、2025 年 8 月 5 日、オンライン、10 名
- (4) 徳島大学生協家主説明会、防災のポイント、8 月 19 日、徳島大学生協、70 名
- (5) 令和 7 年度鳴門市地域防災リーダー養成講座、「自主防災活動と地区防災計画」、2025 年 8 月 24 日、鳴門市役所、85 名
- (6) 令和 7 年度徳島県職員等講習会、「自主防災活動と地区防災計画」、2025 年 9 月 2 日、あわぎんホール、171 名
- (7) 大洲スタンプ協同組合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー2、2025 年 9 月 9 日、オンライン、10 名
- (8) 防災 Café、「令和 6 年能登半島地震での医療機関の対応と課題」、2025 年 9 月 19 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (9) 道後商店街振興組合合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー1、2025 年 9 月 25 日、オンライン、10 名
- (10) 大洲スタンプ協同組合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー3、2025 年 10 月 7 日、オンライン、10 名
- (11) 道後商店街振興組合合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー2、2025 年 10 月 23 日、オンライン、10 名
- (12) 令和 7 年度中国・四国地区国立大学法人等労働安全衛生協議会、2025 年 10 月 23 日、南海トラフ地震臨時情報への対応から考える大学防災、ホテル千秋閣、70 名
- (13) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 1 回短期講座）、「企業・団体の事業継続」、2025 年 10 月 29 日、あわぎんホール、159 名
- (14) 大洲スタンプ協同組合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー4、2025 年 11 月 11 日、オンライン、10 名
- (15) 徳島県防災エキスパート研修会、2025 年 11 月 14 日、建設業 BCP の現状と課題、ホテル千秋閣、50 名
- (16) 道後商店街振興組合合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー3、2025 年 11 月 27 日、オンライン、10 名
- (17) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 2 回短期講座）、「企業・団体の事業継続」、2025 年 12 月 1 日、あわぎんホール、130 名
- (18) 大洲スタンプ協同組合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー5、2025 年 12 月 2 日、オンライン、10 名
- (19) 令和 7 年度防災士のためのスキルアップ研修、「家族を災害から守る：FCP・臨時情報演習」、徳島県立防災センター、2025 年 12 月 13 日、19 名
- (20) 道後商店街振興組合合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー4、2025 年 12 月 25 日、オンラ

イン、10名

- (21) 徳島県地域防災推進員養成研修（第3回短期講座）、「企業・団体の事業継続」、2026年1月11日、あわぎんホール、140名
- (22) 大洲スタンプ協同組合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー6、2026年1月13日、大洲スタンプ協同組合事務所、10名
- (23) 道後商店街振興組合合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー5、2026年1月29日、道後商店街振興組合事務所、10名
- (24) 大洲スタンプ協同組合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー7、2026年2月3日、オンライン、10名
- (25) 令和7年度上板町防災士養成講座、「自主防災活動と地区防災計画」、2026年2月15日、上板町技の館、58名
- (26) 道後商店街振興組合合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー6、2026年2月19日、オンライン、10名
- (27) 徳島県社会福祉法人経営者協議会、BCPの見直し・改善、2026年2月24日、オンライン、30名
- (28) 道後商店街振興組合合研修会、事業継続力強化計画策定セミナー7、2026年2月26日、オンライン、10名

金井 純子

- (1) 令和7年度第1回運営委員会総会並びに合同研修会、2025年5月16日、社会福祉法人東紅会地域交流スペース、徳島県老人福祉施設協議会南部ブロック運営委員会主催、福祉施設職員100名
- (2) 徳島大学防災リーダー養成講座、「HUG 演習」、2025年5月28日、徳島大学教養教育5号館、101名
- (3) 防災 Café、「要配慮者の避難」、2025年6月27日 17:45 から約10分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (4) 令和7年とくしま地震防災県民会議総会、自助・共助の大切さについて、2025年7月4日、中央テクノスクールろうきんホール、とくしま地震防災県民会議主催、委員49名
- (5) 令和7年度人権・防災教育講演会、2025年7月14日、徳島県立鳴門高等学校、徳島県立鳴門高等学校主催、生徒および教職員800名
- (6) 令和7年度美馬市防災士養成講座、「避難所の設営と運営協力」、2025年7月25日、穴吹農村環境改善センター、防災士研修センター主催、市職員等58名
- (7) 令和7年度綾川町防災士養成講座、「避難所の設営と運営協力」、2025年8月17日、綾川町綾南農村環境改善センター、防災士研修センター主催、自治体推薦者等107名
- (8) 令和7年度鳴門市地域防災リーダー養成講座、「避難所の設置と運営協力」、2025年8月24日、鳴門市役所、85名
- (9) 令和7年度徳島県職員等講習会、「避難所の設置と運営協力」、2025年9月2日、あわぎんホール、171名
- (10) 徳島市立保育所長・認定こども園長研修、保育現場における防災・減災、2025年9月10日、徳島市役所、徳島子ども未来部主催、徳島市立保育所長・認定こども園長15名
- (11) 日本真空工業会関西支部秋季講演会、ジェンダー視点から考える防災、2025年9月11日、アートホテル大阪ベイタワー、一般社団法人日本真空工業会関西支部主催、支部会員30名
- (12) 「中・高生等による人権交流事業」徳島県高等学校・特別支援学校人権教育研修会中部ブロック第3

- 回生徒部会、災害時の人権問題について、2025 年 9 月 13 日、徳島県立板野支援学校、第 3 回中部ブロック生徒部会主催、生徒および教員等 40 名
- (13) 橘小学校人権防災学習、人権に配慮した避難所運営、2025 年 9 月 18 日、阿南市立橘小学校、阿南市立橘小学校主催、教員 10 名
- (14) 令和 7 年度中堅保育士研修、災害について、2025 年 10 月 6 日、アスティとくしま、徳島県保育事業連合会主催、保育施設職員 94 名
- (15) 橘小学校人権防災学習、人権に配慮した避難所運営、2025 年 10 月 17 日、阿南市立橘小学校、阿南市立橘小学校主催、児童 20 名
- (16) とくしま大学環境防災 Café、「要配慮者の避難」、2025 年 10 月 23 日、オンライン、35 名
- (17) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 1 回短期講座）、「避難所の設置と運営協力」、2025 年 10 月 30 日、あわぎんホール、159 名
- (18) 高松香川 11 月防災士養成講座、避難所の設営と運営協力、2025 年 11 月 2 日、サン・イレブン高松、防災士研修センター主催、一般応募者等 127 名
- (19) 2025 年度阿南市人権教育協議会橘支部人権座談会、もしもの時に誰も取り残さないために～災害と人権・女性の視点から考える～、2025 年 11 月 6 日、阿南市橘公民館、阿南市人権教育協議会橘支部主催、市民 15 名
- (20) 令和 7 年度徳島県シルバー大学校講義、心理的応急措置、2025 年 11 月 7 日、徳島県総合福祉センター、(公益財団法人) とくしまあいランド推進協議会主催、受講生 19 名
- (21) 小豆圏域ネットワーク会議研修会、実効性のある BCP にするために、2025 年 11 月 10 日、サンシャイン会サンリゾート、小豆圏域ネットワーク会議主催、福祉施設職員 20 名
- (22) 徳島県災害派遣福祉チーム員養成基礎編研修、DWAT 連携の必要性～地域にとどまる選択を支えるには～、2025 年 11 月 14 日、徳島県総合福祉センター、徳島県 DWAT 事務局主催、福祉専門職 40 名
- (23) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 2 回短期講座）、「避難所の設置と運営協力」、2025 年 12 月 2 日、あわぎんホール、130 名
- (24) 令和 7 年度四国大学短期大学部介護福祉講演会、避難所における要配慮者支援、2025 年 12 月 10 日、四国大学共通講義棟、四国大学短期大学部主催、学生・一般 60 名
- (25) 令和 7 年度災害時発達障がい者サポート体制強化事業（防災勉強会）、講義「いざというときに備え自分にとって必要な物を準備しておこう！」&ワークショップ、2025 年 12 月 17 日、徳島県立みなと高等学園、徳島県発達障がい者総合支援センターハナミズキ主催、みなと高等学校 3 年生 30 名
- (26) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 3 回短期講座）、「避難所の設営と運営協力」、2026 年 1 月 12 日、あわぎんホール、140 名
- (27) 令和 7 年度福祉避難所研修会、災害時の福祉避難所の課題、2026 年 1 月 27 日、阿南市ひまわり会館、徳島県社会福祉協議会主催、福祉施設職員 60 名
- (28) 令和 7 年度上板町防災士養成講座、「避難所の設置と運営協力」、2026 年 2 月 15 日、上板町技の館、58 名
- (29) 令和 7 年度南部地域民生児童委員全員研修会、災害時の要配慮者対策について、2026 年 2 月 20 日、美波町日和佐公民館、徳島県南部総合県民局主催、民生児童委員 130 名
- (30) 那賀川地区地域防災リーダー育成講習会、避難所の効果的な運営や生じる課題への対応策、2026

- 年 3 月 1 日、阿南市立那賀川社会福祉会館、那賀川地区自主防災連絡協議会主催、市民 100 名
- (31) 令和 7 年度綾川町防災士養成講座、避難所の設営と運営協力、2026 年 3 月 15 日、綾川町綾南農村環境改善センター、防災士研修センター主催、自治体推薦者等 105 名
- (32) 徳島市福祉避難所避難経路確認訓練、アドバイザー、2026 年 3 月 17 日、社会福祉法人白寿会、徳島市主催、避難行動要支援者および地域住民等 20 名

松重 摩耶

- (1) 防災 Café、「令和 6 年度能登半島地震での能登町 LINE オープンチャットの活動事例について」、2025 年 4 月 25 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (2) 令和 7 年度三好市ボランティア連絡協議会研修会、四国の災害伝承と防災、2025 年 5 月 28 日、三好市池田総合体育館 2 階会議室、三好市社会福祉協議会、30 名
- (3) 松茂町防災フェスタ、四国防災八十八話マップ、2025 年 6 月 7 日、マツシゲート、100 名
- (4) 城北高校、四国の災害と防災について、2025 年 8 月 25 日、6 名
- (5) ぼうさいこくたい 2025in 新潟、2025 年 9 月 6・7 日、朱鷺メッセ、内閣府、400 名
- (6) 四国防災八十八話マップについて、2025 年 9 月 12 日、高松桜井高校
- (7) 四国防災八十八話マップについて、2025 年 9 月 22 日、松山東高校
- (8) 三好防災フェスタ、2025 年 9 月 23 日、池田総合体育館、三好市危機管理課
- (9) 藍住町防災フェスタ、2025 年 10 月 19 日
- (10) ライオンズクラブアラートセミナー、2025 年 11 月 23 日、徳島グランヴィリオホテル、高松ライオンズクラブ、100 名
- (11) 令和 7 年度防災士のためのスキルアップ研修、「四国の自然災害：四国防災八十八話マップとカルタ」、「避難生活の基礎 1: ①トイレ、②情報・スターリンクとライン」徳島県立防災センター、2025 年 12 月 13 日、19 名
- (12) J-SWEET サイエンスキャンパス、2025 年 12 月 14 日、30 名
- (13) 徳島県災害ケースマネジメント総括者育成研修、2025 年 12 月 23 日、30 名
- (14) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 3 回短期講座）、「地震・津波への備え」、2026 年 1 月 11 日、あわぎんホール、140 名
- (15) 城北高校探究活動アドバイザー、2026 年 2 月 25 日
- (16) とくしま大学環境防災 Café、「災害時の簡易・携帯トイレを座り・触り比べしてみよう」、2026 年 3 月 19 日、徳島大学フューチャーセンター A.BA.、25 名
- (17) 橘火力港湾サービス株式会社、J パワー&よんでん W a ンダーランド、2026 年 3 月 23 日、40 名

井若 和久

- (1) 徳島大学防災リーダー養成講座、「自主防災活動と地区防災計画」、2025 年 7 月 2 日、徳島大学教養教育 5 号館、101 名
- (2) 令和 7 年度徳島県職員等講習会、「復旧・復興と被災者支援」、2025 年 9 月 1 日、あわぎんホール、171 名
- (3) 徳島県地域防災推進員養成研修（第 1 回短期講座）、「復旧・復興と被災者支援」、2025 年 10 月 30 日、あわぎんホール、159 名

- (4) 徳島県地域防災推進員養成研修（第2回短期講座）、「復旧・復興と被災者支援」、2025年12月2日、あわぎんホール、130名
- (5) 令和7年度防災士のためのスキルアップ研修、「被災者訪問調査の概要：聞き取り基礎演習」、「被災者支援制度の概要：生活再建カードゲーム」、徳島県立防災センター、2025年12月14日、19名
- (6) 令和7年度上板町防災士養成講座、「復旧・復興と被災者支援」、2026年2月14日、上板町技の館、58名

中野 晋

- (1) 保育施設防災指導、2025年4月17日13:30~15:00、徳島市立富田認定こども園、施設職員、6名
- (2) とくしま大学環境防災 Café、「最新の動向を踏まえた南海トラフ地震への備え」、2025年4月24日、オンライン、62名
- (3) 徳島大学防災リーダー養成講座、「近年の主な自然災害、防災士に期待される活動」、2025年4月30日、徳島大学教養教育5号館、101名
- (4) 徳島大学工業会総会記念講演、南海トラフ地震への備えと事前復興、2025年5月10日16:30~17:20、ザ・グランドパレス徳島、徳島大学工業会、100名
- (5) 自治労徳島県本部保育部会北部ブロック学習会、南海トラフ地震への備え～園児を地震・津波から守るために～、2025年5月22日、18:35~19:35、自治労プラザ、自治労徳島県本部保育部会、40名
- (6) 自治労徳島県本部保育部会西部ブロック学習会、最悪の南海トラフ巨大地震への備え、2025年5月23日、18:35~19:35、池田総合体育館、自治労徳島県本部保育部会、40名
- (7) 四国地質調査業協会令和7年度定例総会・講演会、能登半島地震の復興計画から考える南海トラフ地震対策、2025年5月29日16:15~16:45、J R ホテルクレメント徳島、四国地質調査業協会、60名
- (8) 令和7年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2025年6月4日11:40~12:40、愛媛県中予地方局（松山市）、愛媛県、180名
- (9) 防災 Café、「大雨災害への備え」、2025年6月13日17:45から約10分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (10) 令和7年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2025年6月26日11:40~12:40、愛媛県東予地方局（西条市）、愛媛県、100名
- (11) 令和7年度学校防災 BCP 研修会、南海トラフ巨大地震時の学校被害の想定と早期学校再開に向けた事前の備え、2025年6月24日14:30~16:00、オンライン、徳島県教育委員会、120名
- (12) 横須町自主防災会結成20周年記念講演会、最悪の南海トラフ巨大地震に備える、2025年6月29日9:30~10:30、小松島市総合福祉センター、横須町自主防災会、100名
- (13) 徳島県社会福祉法人経営者協議会セミナー、新たな被害想定を考慮した南海トラフ地震に向けた事前対策、2025年7月1日16:15~17:15分、徳島グランヴィリオホテル、徳島県社会福祉法人経営者協議会、70名
- (14) 徳島市立津田小学校教職員防災研修、南海トラフ巨大地震時の学校被害の想定と安全管理に対する課題、2025年7月3日15:00~16:30、徳島市立津田小学校、40名
- (15) 徳島大学防災リーダー養成講座、「行政の災害救助・応急対応、復旧・復興と被災者支援」、2025年7月9日、徳島大学教養教育5号館、101名

- (16) 令和 7 年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2025 年 7 月 10 日 13 : 10～14 : 10、愛媛県南予地方局（宇和島市）、愛媛県、161 名
- (17) 三好地区保育事業協議会防災研修会、最悪の南海トラフ地震に向けた県西部での備え方、2025 年 7 月 12 日 10 : 00～11 : 45、三好市立三野認定こども園、三好地区保育事業協議会、60 名
- (18) 令和 7 年度私立学校教職員研修会、学校園における巨大地震への備え方、2025 年 7 月 24 日 13 : 00～14 : 30、40 名
- (19) 美馬市職員防災士養成講座、地震・津波への備え、2025 年 7 月 25 日 14 : 55～15 : 55、穴吹農村環境改善センター、防災士研修センター、51 名
- (20) 令和 7 年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2025 年 8 月 2 日 11 : 40～12 : 40、新居浜市消防防災センター（新居浜市）、愛媛県、150 名
- (21) 徳島市立城西こども園職員研修会、城西こども園の災害環境と防災対策、2025 年 8 月 7 日 17 : 15～18 : 30、徳島市立城西こども園、徳島市、35 名
- (22) 令和 7 年度愛媛県防災士養成中学生講座、地域防災と多様性への配慮、2025 年 8 月 10 日 9 : 20～10 : 20、愛媛県南予地方局宇和島庁舎（宇和島市）、愛媛県教育委員会、60 名
- (23) 綾川町防災士養成講座、地震・津波への備え、2025 年 8 月 16 日 16 : 00～17 : 00、綾川町綾南農村環境改善センター、防災士研修センター、100 名
- (24) 綾川町防災士養成講座、気象災害・風水害、2025 年 8 月 16 日 17 : 10～18 : 10、綾川町綾南農村環境改善センター、防災士研修センター、100 名
- (25) 南国市中学生防災士養成講座、地震・津波への備え、2025 年 8 月 19 日 10 : 40～11 : 40、南国市地域交流センター（南国市）、防災士研修センター、89 名
- (26) 南国市中学生防災士養成講座、気象災害・風水害、2025 年 8 月 19 日 11 : 50～12 : 50、南国市地域交流センター（南国市）、防災士研修センター、89 名
- (27) 保育所等訪問防災指導、2025 年 8 月 19 日 15 : 00～16 : 00、三好市立山城認定こども園
- (28) 徳島県高校生防災士講座、地震・津波への備え、2025 年 8 月 24 日 9 : 20～10 : 20、四国大学交流プラザ、徳島県教育委員会、高校高及び教員 88 名
- (29) 徳島県高校生防災士講座、風水害・土砂災害等への備え、2025 年 8 月 24 日 10 : 30～11 : 30、四国大学交流プラザ、徳島県教育委員会、高校高及び教員 88 名
- (30) 徳島県高等学校教育研究会工業学会研修会、南海トラフ巨大地震に備えて～工業教育の果たすべき役割～、2025 年 8 月 27 日 13 : 20～14 : 30、徳島県立科学技術高等学校多目的ホール、徳島県高等学校教育研究会工業学会、100 名
- (31) 防災士養成講座、地震・津波への備え、2025 年 8 月 28 日 14 : 50～15 : 50、難波御堂筋ホール、防災士研修センター、186 名
- (32) 令和 7 年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2025 年 9 月 19 日 11 : 40～12 : 40、愛媛県中予地方局松山庁舎（松山市）、愛媛県、172 名
- (33) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会講演会、新被害想定や最近の地震被害から考える南海トラフ地震への備え方、2025 年 9 月 20 日 13 : 30～15 : 00、とくぎんトモニプラザ小会議室、南海トラフ地震への備え方、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、28 名
- (34) 令和 7 年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2025 年 10 月 5 日 11 : 20～12 : 20、

- 松前総合文化センター（松前町）、愛媛県、123 名
- (35) 徳島県シルバー大学院防災講座、南海トラフ地震に向けた事前復興の取り組み、2025 年 10 月 8 日 13：00～15：00、徳島県立防災センター、とくしま“あい”ランド推進協議会、15 名
- (36) 防災士養成講座、地震・津波への備え、2025 年 10 月 9 日 14：50～15：50、広島イーストビル 19 階、防災士研修センター、53 名
- (37) 防災 Café、「近年の水害を振り返る」、2025 年 10 月 10 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (38) 四国大学「災害と防災」、地震と津波の災害、2025 年 10 月 17 日 10：40 分～12：10 分、四国大学 共通教育棟、100 名
- (39) 令和 7 年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2025 年 10 月 5 日 11：20～12：20、大洲市役所（大洲市）、愛媛県、130 名
- (40) 令和 7 年度津波避難啓発キャラバン、『新たな津波浸水想定』を活かして南海トラフ地震対策を進めよう、2025 年 10 月 21 日 19：00～21：30、鳴門市役所、80 名
- (41) 令和 7 年度「自然災害のリスクマネジメント講座」、地震・津波・豪雨被害と危機管理、2025 年 10 月 27 日 10：00～11：00、徳島県立自治研修センター、43 名
- (42) 令和 7 年度「自然災害のリスクマネジメント講座」、自治体のリスクマネジメントと BCP、2025 年 10 月 27 日 11：10～12：00、徳島県立自治研修センター、43 名
- (43) 令和 7 年度津波避難啓発キャラバン、『新たな津波浸水想定』を活かして南海トラフ地震対策を進めよう、2025 年 10 月 27 日 19：00～21：30、牟岐町役場、30 名
- (44) 令和 7 年度津波避難啓発キャラバン、『新たな津波浸水想定』を活かして南海トラフ地震対策を進めよう、2025 年 10 月 28 日 19：00～21：30、美波町コミュニティホール、50 名
- (45) 令和 7 年津波避難啓発キャラバン、『新たな津波浸水想定』を活かして南海トラフ地震対策を進めよう、2025 年 10 月 30 日 19：00～21：30、阿南市福井公民館、約 50 名
- (46) 防災士養成講座、気象災害・風水害、2025 年 11 月 1 日 14：50～15：50、サン・イレブン高松、防災士研修センター、127 名
- (47) 防災士養成講座、地震・津波への備え、2025 年 11 月 1 日 16：00～17：00、サン・イレブン高松、防災士研修センター、127 名
- (48) 防災士養成講座、風水害と土砂災害への備え、2025 年 11 月 2 日 15：00～16：00、百花園プラザ、防災士研修センター、100 名
- (49) 防災士養成講座、地震・津波への備え、2025 年 11 月 2 日 16：10～17：10、百花園プラザ、防災士研修センター、100 名
- (50) 令和 7 年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2025 年 11 月 8 日 11：20～12：20、愛南町役場（愛南町）、愛媛県、89 名
- (51) 令和 7 年津波避難啓発キャラバン、『新たな津波浸水想定』を活かして南海トラフ地震対策を進めよう、2025 年 11 月 10 日 19：00～21：30、小松島市保健センター、50 名
- (52) 私立認可保育園連盟主任保育士会、災害時に命を守るべき行動とは、2025 年 11 月 11 日 13：30～16：00、アスティとくしま、第 2 会議室、35 名
- (53) 令和 7 年津波避難啓発キャラバン、『新たな津波浸水想定』を活かして南海トラフ地震対策を進めよう、2025 年 11 月 13 日 19：～21：30、徳島市ふれあい健康館、50 名

- (54) 令和 7 年津波避難啓発キャラバン、『新たな津波浸水想定』を活かして南海トラフ地震対策を進めよう、2025 年 11 月 14 日 19 : 00~21 : 30、松茂町総合会館、50 名
- (55) 令和 7 年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2025 年 11 月 16 日 11 : 20~12 : 20、四国中央市消防防災センター（四国中央市）、愛媛県、130 名
- (56) 令和 7 年津波避難啓発キャラバン、『新たな津波浸水想定』を活かして南海トラフ地震対策を進めよう、2025 年 11 月 17 日 19 : 00~21 : 30、藍住町役場、50 名
- (57) 令和 7 年津波避難啓発キャラバン、『新たな津波浸水想定』を活かして南海トラフ地震対策を進めよう、2025 年 11 月 18 日 19 : 00~21 : 30、北島町創世ホール、50 名
- (58) 令和 7 年津波避難啓発キャラバン、『新たな津波浸水想定』を活かして南海トラフ地震対策を進めよう、2025 年 11 月 20 日 19 : 00~21 : 30、海陽町役場海南庁舎、60 名
- (59) 令和 7 年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2025 年 12 月 3 日 11 : 20~12 : 20 分、愛媛県中予地方局松山庁舎（松山市）、愛媛県、175 名
- (60) 令和 7 年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2025 年 12 月 7 日 11 : 20~12 : 20、今治市消防防災センター（今治市）、愛媛県、175 名
- (61) 学校防災指導、2025 年 12 月 19 日 9 : 30~11 : 00、徳島市南井上小学校
- (62) 福祉避難所開設訓練事前打合せ、オンライン、2025 年 12 月 22 日 14 : 00~15 : 00、徳島県社会福祉協議会
- (63) 保育所防災指導、鳴門市中央保育所、2025 年 12 月 24 日、13 : 30~15 : 00
- (64) 放課後児童クラブ防災学習、クイズとゲームで防災学習、2026 年 1 月 6 日 10 : 00~11 : 45、大津西児童クラブ、17 名
- (65) 福祉避難所開設訓練事前打合せ、オンライン、2026 年 1 月 7 日 14 : 00~15 : 00、徳島県社会福祉協議会
- (66) 防災 Café、「大地震時のライフライン被害に備える」、2026 年 1 月 9 日 17 : 45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (67) 福祉避難所開設訓練事前打合せ、オンライン、2026 年 1 月 14 日 14 : 00~15 : 00、徳島県社会福祉協議会
- (68) 学校防災指導、2026 年 1 月 14 日 15 : 30~17 : 30、徳島市論田小学校、3 名
- (69) 学校防災指導、2026 年 1 月 15 日 15 : 30~17 : 30、徳島市国府小学校、2 名
- (70) 学校防災指導、2026 年 1 月 16 日 15 : 00~17 : 00、徳島市助任小学校、3 名
- (71) 内子町商工会防災セミナー、南海トラフ地震に備えよう、2026 年 1 月 17 日 16 : 00~18 : 00、18 名
- (72) 令和 7 年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2026 年 1 月 18 日 11 : 20~12 : 20、宇和島市役所（宇和島市）、愛媛県、136 名
- (73) 学校防災指導、2026 年 1 月 22 日 15 : 00~17 : 00、徳島市大松小学校、22 名
- (74) 幼稚園保護者会防災研修会、2026 年 1 月 24 日 9 : 30~12 : 00、はのうら幼稚園、45 名
- (75) 保育所防災指導、2026 年 1 月 24 日 13 : 00~15 : 00、みずほ保育園、24 名
- (76) 福祉避難所開設訓練指導、2026 年 1 月 27 日 13 : 00~17 : 00、特別養護老人ホーム・阿南荘、徳島県社会福祉協議会、45 名
- (77) 令和 7 年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2026 年 2 月 3 日 13 : 30~14 : 30、愛媛県中予地方局（松山市）、愛媛県、172 名

- (78) 令和 7 年度愛媛県防災士養成講座、企業・団体の事業継続、2026 年 2 月 8 日 11:20~12:20、愛媛県中予地方局（松山市）、愛媛県、75 名
- (79) 指導助言、令和 7 年度徳島県南部圏域における防災・事前復興学習合同発表会、2026 年 2 月 9 日 9:30~11:40、旧牟岐小学校体育館、愛媛大学、150 名
- (80) 防災士養成講座、行政の災害対策と危機管理、2026 年 2 月 15 日 9:30~10:30、さぬき市役所、防災士研修センター、110 名
- (81) 防災士養成講座、風水害・土砂災害等への備え、2025 年 2 月 15 日 10:40~11:40、さぬき市役所、防災士研修センター、110 名
- (82) 鳴門法人会防災セミナー、新たな被害想定を踏まえた南海トラフ地震対策、2025 年 2 月 18 日 14:00~15:30、鳴門法人会、18 名
- (83) アドバイザー、徳島県南部ブロック福祉避難所立ち上げ訓練、2026 年 2 月 19 日 13:00~15:00、特別養護老人ホーム阿南荘、徳島県社会福祉法人経営者協議会、100 名
- (84) 地震・津波避難訓練指導、2026 年 2 月 26 日 13:30~17:00、徳島市論田小学校

畠 一樹

- (1) 徳島大学防災リーダー養成講座、「災害ボランティア活動」、2025 年 7 月 23 日、徳島大学教養教育 5 号館、101 名

宇野 宏司

- (1) まなぼうさい、2025 年 4 月、ブランチ学園都市
- (2) 「考えよう大阪湾の環境と防災」、2025 年 4 月、ファラデーラボ加古川
- (3) 国土交通省神戸港湾局、2025 年 8 月、「大阪ベ이스クール」（神戸港）
- (4) 中学生・高校生「夢チャレンジ！未来に届け！我らの防災力」、2025 年 8 月、兵庫県立こどもの館
- (5) 神戸高専出前授業「あそんで学ぼう防災クイズ」、2025 年 9 月、神戸市立五位の池小学校
- (6) 神戸高専出前授業「雨水を貯めて水害を防ぐ」、2025 年 10 月、神戸市立五位の池小学校
- (7) とくしま大学環境防災 Café、「あそんで学ぼう防災クイズ(出前授業の取り組みと体験)」、2025 年 10 月 23 日、オンライン、35 名
- (8) 冬休みサイエンスと技術を学び楽しむワークショップ「目で見ると地球温暖化の脅威」、2025 年 12 月 バンドー神戸青少年科学館
- (9) 神戸高専出前授業「あそんで学ぼう防災クイズ」、2025 年 12 月、神戸市立岩岡小学校
- (10) 神戸高専出前授業「未来に活かす自然災害の教訓」、2026 年 1 月、神戸市立有瀬小学校
- (11) 神戸高専出前授業「あそんで学ぼう防災すごろく」、2026 年 1 月、神戸市立井吹の丘小学校
- (12) 近畿科学教育研究協議会「温暖化の可視化実験」、2026 年 2 月、UNITY 学園都市
- (13) 垂水観光ボランティア わがまち垂水 ミニ講座 特別講演「垂水の海・川から考える 地球環境と防災の話～ミニ実験付き～」、2026 年 2 月、橋の科学館
- (14) 神戸高専出前授業「未来に活かす自然災害の教訓」、2026 年 2 月、神戸市立岩岡中学校

坂東 淳

- (1) 防災 Café、「あなたのまわりの災害リスクは？～重ねるハザードマップとキキクル～」、2025 年 5 月 9 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint Weekend」内
- (2) 令和 7 年度鳴門市地域防災リーダー養成講座、「行政の災害対策と危機管理」、2025 年 8 月 23 日、鳴門市役所、85 名
- (3) 令和 7 年度徳島県職員等講習会、「行政の災害対策と危機管理」、2025 年 9 月 1 日、あわぎんホール、171 名
- (4) 防災 Café、「171 を使ってみよう！～災害時の安否確認」、2025 年 9 月 12 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint Weekend」内
- (5) とくしま大学環境防災 Café、「人口減少下における地域防災を考える」、2025 年 9 月 25 日、オンライン、28 名
- (6) 四国防災危機管理プログラム、「行政・企業のリスクマネジメント」、2025 年 11 月 12 日、Web 配信、14 名
- (7) 防災 Café、「隠し味の防災～生活文化の中で考える」、2025 年 11 月 14 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint Weekend」内
- (8) 令和 7 年度第 4 回 RC77 研究会、「災害時の情報共有基盤構築における官民連携の取り組みについて」、2025 年 12 月 19 日、東京大学生産技術研究所目黒研究室、約 60 名
- (9) 南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト（文部科学省科学技術試験研究委託事業）キックオフシンポジウム、2026 年 1 月 15 日、海洋研究開発機構ほか、約 140 名
- (10) 防災シンポジウム「瀬戸内発・地域社会が築く災害レジリエンス」、香川大学、2026 年 1 月 27 日、香川大学幸町キャンパス オリーブスクエア、話題提供及びパネリストとして参加、約 40 名
- (11) JICA2025 年度課題別研修「コミュニティ防災」コース、徳島大学フューチャーセンター、2026 年 1 月 30 日、約 20 名
- (12) 鳴門市職員研修、2026 年 2 月 2～4・6 日、鳴門市庁舎、約 360 名
- (13) 防災 Café、「地震のもたらす恵みと災い」、2026 年 2 月 13 日 17：45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint Weekend」内
- (14) 令和 7 年度上板町防災士養成講座、「行政の災害対策と危機管理」、2026 年 2 月 14 日、上板町技の館、58 名

徳永 雅彦

- (1) 令和 7 年度鳴門市地域防災リーダー養成講座、「行政の災害救助・応急対策」、2025 年 8 月 23 日、鳴門市役所、85 名
- (2) 徳島県シルバー大学校大学院、水害に備える、2025 年 9 月 18 日 13：00～15：00、徳島県立防災センター1 階視聴覚室、公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会・徳島県シルバー大学校大学院事務局、生徒 14 名

三上 卓

- (1) とくしま大学環境防災 Café、「防災ワークショップの企画と運営～効果的な住民参加型防災教育

の実現に向けて～」、2025 年 11 月 27 日、オンライン、30 名

西村 実穂

- (1) とくしま大学環境防災 Café、「保育施設の災害対応(能登半島地震の保育への影響)など」、2025 年 7 月 24 日、オンライン、34 名
- (2) 防災 Café、「保育施設の災害対応」、2025 年 8 月 8 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内
- (3) 防災 Café、「能登半島地震の保育への影響」、2026 年 1 月 30 日 17:45 から約 10 分間、エフエム徳島ラジオ番組「T-Joint WEEKEND」内

4. 3 支援・協働（支援・協働の対象、実施日、実施場所、依頼機関 など）

<防災研究部門>

蔣 景彩

- (1) 国道 195 号那賀郡那賀町朴野斜面崩壊対策検討会、対策検討について助言、2025 年 5 月 2 日、徳島大学環境防災研究センター、徳島県南部県民局

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 徳島県における生物多様性の主流化支援：「生物多様性とくしま会議」の共同代表として会の運営を支援（毎月第 2 水曜日、定例会を開催）
- (2) 徳島県における生物多様性の主流化支援：「とくしま生物多様性活動認証機構」の機構長、団体会員として運営支援
- (3) 徳島県における生物多様性の主流化支援：「とくしま SDGs 未来会議」の理事として運営支援

上月 康則

- (1) 山中 亮一・上月 康則：尼崎運河魅力アップ事業「歩いて&クルーズで運河大発見」、2025 年 11 月 2 日、尼崎運河、兵庫県
- (2) 海辺の環境再生サイトの視察、2025 年 11 月 2 日、尼崎運河、生態系工学会

山中 亮一

- (1) 尼崎運河オープンチャナルデイ：運営主体として支援（毎月第 4 日曜日）

日時・参加者：2025 年 4 月 27 日 9:00～16:00、参加者 30 名

2025 年 5 月 25 日 9:00～16:00、参加者 33 名

2025 年 6 月 22 日 9:00～16:00、参加者 36 名

2025 年 7 月 27 日 9:00～16:00、参加者 33 名

2025 年 8 月 27 日 9:00～16:00、参加者約 26 名

2025 年 9 月 28 日 9:00～16:00、参加者 22 名

2025 年 10 月 26 日 9:00～16:00、参加者 21 名

2025 年 11 月 23 日 9:00～16:00、参加者 34 名

2025 年 12 月 21 日 9:00～16:00、参加者 20 名

2026 年 1 月 25 日 9:00～16:00、参加者 21 名

2026 年 2 月 22 日 9:00～16:00、参加者 26 名

2026 年 3 月 22 日 9:00～16:00、参加者 30 名

古川 恵太

- (1) 朝潮地区運河ルネサンス事業支援、朝潮地区運河ルネサンス協議会・豊海小学校・東京水産振興会、2025 年 4 月～2026 年 3 月、東京水産振興会の支援を受けて朝潮地区運河ルネサンスの活動に参加するとともに、簡易カゴ調査や豊海小学校における運河教育を支援
- (2) 東京湾 UMI プロジェクト、2025 年 4 月 12 日～2026 年 3 月 9 日（年間延べ 66 日）、横浜市海の公園・ベイサイドマリナー脇の浅場・みなとみらい臨港パーク・柴漁港、アマモ場のモニタリングと移植、種子の採取と種まき、苗の育成などを実施、延べ 1,700 人、海辺つくり研究会として協力
- (3) 東京湾再生官民連携フォーラム関連行事、2025 年 8 月 6 日（一斉調査基準日）、2025 年 9 月 27～28 日（東京湾大感謝祭）、2025 年 10 月 17 日（東京湾シンポジウム）、2026 年 1 月 21 日（一斉調査ワークショップ）、一斉調査：東京湾全域、大感謝祭：横浜市役所アトリウム会場、東京湾シンポジウム：横浜港大栈橋ホール、ワークショップ：オンライン、運営延 20 人、一斉調査：157 機関、大感謝祭：10,000 人、東京湾シンポジウム：200 人、一斉調査ワークショップ：30 人
- (4) 海辺の自然再生・高校生サミット 2025 in よこすか、2025 年 11 月 1～3 日、横須賀市立横須賀総合高校、基調講演や全国から 20 校からの活動報告ならびに円卓会議が行われた、参加高校生・関係者 80 人、来場者延べ 200 人・オンライン視聴 550 回、海辺つくり研究会として主催、共存の森ネットワークとの共催
- (5) 瀬戸内町マングローブ再生事業支援、瀬戸内町・瀬戸内町漁業協同組合・古仁屋高校・地元関係者、2025 年 11 月 29 日、鹿児島県瀬戸内町、瀬戸内町で実施するマングローブ林再生事業について、町役場・漁協・高校生等に技術的なアドバイスを行い、共同で現地調査・植林などを実施
- (6) 夢ワカメ・ワークショップ、2025 年 12 月 6 日（種付け）～2026 年 2 月 14 日（収穫）、横浜市・みなとみらい臨港パーク、筏によるワカメ育成・収穫、スタッフ 150 人・参加者 500 人、夢ワカメ・ワークショップ実行委員会による主催（海辺つくり研究会他 6 団体で構成）

西田 貴明

- (1) 第 41 回個体群生態学会大会、同志社大学寒梅館、2025 年 9 月 14 日～16 日、大会実行委員
- (2) 企画シンポジウム：個体群生態学会生態学を起点としたネイチャーポジティブ・NbS の社会実装研究の展開、第 41 回個体群生態学会大会、同志社大学寒梅館、2025 年 9 月 15 日
- (3) 第 2 回いなベグリーンインフラフェス 2025、京都産業大学・いなべ市・SIP グリーンインフラ研究プロジェクト、三重県いなべ市・にぎわいの森シビックコア棟、2025 年 12 月 13 日、50 名
- (4) データ・技術から進めるグリーンインフラの実践、グリーンインフラ研究会・内閣府 SIP スマートインフラマネジメントシステムの構築、2026 年 1 月 29 日、東京ビッグサイト、100 名
- (5) グリーンインフラネットワークジャパン 2026 全国大会、GIJ2026 実行委員会、クロージングイベント、東京ビッグサイト、2026 年 1 月 29 日、100 名

- (6) 第 73 回生態学会大会（京都）、京都大学・国際会館、2026 年 3 月 11 日～15 日、大会実行委員

飯山 直樹

- (1) 徳島県における生物多様性の主流化支援：「生物多様性とくしま会議」の事務局長として会の運営を支援（毎月定例会を開催）
- (2) 徳島県における生物多様性の主流化支援：「とくしま生物多様性活動認証機構」の運営委員会会長代理として運営を支援

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) 洲本市の公共施設の統廃合や再編に関する取材協力、2026 年 3 月 2 日、オンライン取材、読売新聞洲本支局

上月 康則

- (1) 四国建設フェア、2025 年 11 月 21・22 日、アイテム愛媛

光原 弘幸

- (1) DX を活用した特別な支援を必要とする児童生徒のリハビリテーションや防災教育などの推進、徳島県立国府支援学校、2025 年度（継続）、徳島県教育委員会特別支援教育課

松重 摩耶

- (1) 住吉児童館防災ワークショップ、2025 年 5 月 17 日、住吉児童館（藍住町）、損害保険ジャパン徳島支店
- (2) 肱川総合水防演習、2025 年 5 月 18 日、愛媛県大洲市若宮地先（肱川右岸河川敷）、令和 7 年度肱川水防演習実行委員会、一般市民、200 名
- (3) 吉野川防災フェスタ、2025 年 5 月 24 日、鴨島市民プラザ、損害保険ジャパン徳島支店
- (4) 上板町防災フェスタ、2025 年 11 月 15 日、かみいた技の館
- (5) 飯尾敷地地区自主防災訓練、2025 年 11 月 16 日、（吉野川市立）飯尾敷地小学校
- (6) 四国建設フェア、2025 年 11 月 21・22 日、アイテム愛媛
- (7) 徳島河川国道事務所、地震による堤防決壊シミュレーション訓練、2025 年 9 月 9 日
- (8) 徳島河川国道事務所、吉野川流域の治水対策と歴史について、2025 年 9 月 18 日
- (9) 渭北地区防災訓練徳島大学常三島体育館、2025 年 10 月 26 日
- (10) 徳島大学避難所運営訓練、2025 年 11 月 12 日
- (11) 徳島大学総合防災訓練、2025 年 12 月 1 日
- (12) 学生・教職員対象防災訓練（シェイクアウト訓練）、2025 年 12 月 26 日

坂東 淳

- (1) 美波町のこれからを考えるための意識・買い物調査（「人口減少社会における持続可能な地域のあり方に関する調査」の一環）、2025 年 12 月～1 月、美波町住民及び事業所職員（町外在住者）、美

波町の現状と将来に対するイメージ・自身の買い物行動について、約 3,500 人（配布枚数）※美波町の協力を得て「広報みなみ」に挟み込み＋地域商工会や協力企業等を通じて配布

4. 4 連携協定（連携機関、内容、締結日 など）

<環境研究部門>

- (1) とくしま生物多様性センター、徳島県における生物多様性の主流化に向けた活動支援、2016 年 11 月 28 日締結

4. 5 その他（学会誌、マスコミ、商業誌等で取り上げられた記事や紹介 など）

<防災研究部門>

蔣 景彩

- (1) 徳島新聞朝刊、2025 年 4 月 17 日、徳島県地域防災推進員養成研修「長期講座」開校式と第 1 回授業
- (2) NHK 徳島放送局、2025 年 4 月 17 日、徳島県地域防災推進員養成研修「長期講座」開校式
- (3) NHK 松山放送局、2025 年 6 月 7 日、土木学会の発表内容と今後の土砂災害対策について
- (4) 四国放送、フォーカス徳島、2025 年 6 月 10 日、今後土砂災害や落石から身を守る注意点について

<環境研究部門>

中西 敬

- (1) 中国新聞、「海洋環境の変化 課題探る 福山産官学民が共同会議」コメント掲載、2025 年 7 月 31 日
- (2) 西日本工業大学 HP「包括的な事業連携に関する協定締結式」写真、大学・氏名掲載、2025 年 12 月 4 日
- (3) 神戸市 HP「全国の工事用船舶を活用したブルーカーボンとなる藻場の創出の実証実験」大学名掲載、2025 年 12 月 12 日
- (4) 神戸新聞「工事用船舶使いワカメ藻場形成」実験イメージ図提供、大学・氏名掲載、2026 年 1 月 20 日
- (5) 水産経済新聞「工事用船舶活用し藻場創出」記事掲載、大学・氏名掲載、2026 年 3 月 6 日

西田 貴明

- (1) 日本経済新聞 経済教室 11 面（記事執筆）、ネイチャーポジティブの視点：自然は活用すべき対象、2026 年 2 月 12 日

古川 恵太

- (1) 「ブルーカーボン」をはやりで終わらせないために、CNAC 全国フォーラム Web 記事『うみ*にゆう』、<https://www.cnac.or.jp/posts/post181.html>
- (2) 「海辺の自然再生・高校生サミット」への期待、アクアネット、2026JAN、pp. 24-27.

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) 徳島新聞朝刊、2025 年 4 月 17 日、徳島県地域防災推進員養成研修「長期講座」開校式と第 1 回授業
- (2) NHK 徳島放送局、2025 年 4 月 17 日、徳島県地域防災推進員養成研修「長期講座」開校式
- (3) 徳島新聞朝刊、2025 年 4 月 22 日、那賀で徳大教授が講演 空き家の利活用を考える
- (4) NHK 徳島放送局、とく 6、2025 年 8 月 15 日、徳島市の公立小中学校の適正な規模 検討委が教育長に答申
- (5) 徳島新聞朝刊、2025 年 8 月 16 日、1 校当たり学級数「中学 9～15」答申 徳島市の公立校検討委

上月 康則

- (1) 防災てくてく～防災×観光＝防災ツーリズムとは？～、NHK 徳島放送局、2025 年 4 月 10 日
- (2) 防災てくてく～阿南市吉井小学校・水害避難～、NHK 徳島放送局、2025 年 6 月 20 日
- (3) 愛媛新聞、先人の経験大切な財産、2025 年 9 月 1 日
- (4) 防災てくてく～鳴門市大里小学校・津波避難～、NHK 徳島放送局、2025 年 9 月 17 日
- (5) 防災てくてく～阿南市横見小学校・水害避難～、NHK 徳島放送局、2025 年 10 月 25 日
- (6) 防災てくてく～鳴門・大塚工場～、NHK 徳島放送局、2025 年 11 月 28 日
- (7) 防災てくてく～阿南市・あたまん要支援避難者計画～、NHK 徳島放送局、2025 年 12 月 6 日
- (8) NHK 徳島放送局、とく 6 徳島、2025 年 12 月 16 日、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発出されその対応が、南海トラフにどう活かすことができるのか？
- (9) LOVE ラジオ、NHK 徳島ラジオ、2026 年 1 月 31 日
- (10) LOVE ラジオ、エフエムびざん、2026 年 1 月 31 日
- (11) LOVE ラジオ、四国放送ラジオ、2026 年 2 月 1 日
- (12) LOVE ラジオ、エフエム徳島、2026 年 2 月 1 日
- (13) 毎日新聞、「国土強靱化シンポジウム in 徳島」、2026 年 2 月 25 日
- (14) 徳島新聞、「国土強靱化シンポジウム in 徳島」、2026 年 2 月 25 日
- (15) 紀伊民報、「国土強靱化シンポジウム in 徳島」、2026 年 2 月 25 日
- (16) 静岡新聞、「国土強靱化シンポジウム in 徳島」、2026 年 2 月 26 日
- (17) 高知新聞、「国土強靱化シンポジウム in 徳島」、2026 年 2 月 27 日
- (18) 中日新聞・静岡版、「国土強靱化シンポジウム in 徳島」、2026 年 2 月 27 日
- (19) 中日新聞・見え版、「国土強靱化シンポジウム in 徳島」、2026 年 2 月 28 日

金井 純子

- (1) 徳島新聞、日常防災、毎月第 4 火曜日
- (2) 読売新聞、高齢者施設避難模索 九州豪雨 5 年、2025 年 7 月 1 日
- (3) 読売新聞オンライン、高齢者施設で濁流から「逃げ遅れ」防ぐために、2025 年 7 月 1 日
- (4) NHK 時論公論、南海トラフ臨時情報 1 年・教訓と次への課題、2025 年 8 月 8 日
- (5) NHK 鳥取、高齢者施設の水害、2025 年 8 月 18 日
- (6) 徳島新聞、要配慮者避難支援方法学ぶ 介護福祉講演会、四国大学、2025 年 12 月 20 日

- (7) 徳島新聞、福祉避難所開設課題を議論 県社協が阿南で研修会、2026 年 2 月 2 日

松重 摩耶

- (1) 愛媛新聞、先人の経験大切な財産、2025 年 9 月 1 日
- (2) 2025 年夏号、毎日新聞、毎日フォーラム、特集 NIPPON 防災資産
- (3) NHK とくしま、災害の教訓学ぶカルタ完成 四国各地の言い伝えや伝承を題材に、2026 年 3 月 10 日
- (4) 読売新聞、四国災害教訓ゲームに、カルタ・すごろく・クイズ言い伝えや体験談継承、2026 年 3 月 15 日
- (5) 徳島新聞、あそびながら防災学ぶ、四国の災害教訓まとめ、2026 年 3 月 29 日

中野 晋

- (1) フォーカスとくしま、南海トラフ巨大地震の被害想定、2026 年 2 月 4 日 18 時 20 分～18 時 32、四国放送テレビ、スタジオで解説

徳島大学 防災サークルてくと 活動紹介

「防災サークルてくと」は、徳島大学の学生が自然災害や防災について学び、地域での防災活動に取り組んでいる学生サークルです。環境防災研究センターの湯浅講師が顧問を務め、松重助教、上月教授がアドバイザーとして関わり、教員と学生が連携しながら学内や地域防災力の向上に貢献しています！

徳島大学防災サークルてくと

○スローガン【若者によるつなぐ防災】

○目的

- ・サークルメンバー個人の防災能力向上
- ・大学と地域(子供たち)、団体を防災でつなぐ
- ・徳大生の防災意識向上(危機感)、大学内の連携強化

○活動目標

- ・被災地ボランティア
- ・勉強会
- ・学園祭出店
- ・避難所運営訓練
- ・学生向けイベントの実施



目次

- 1 てくととは
- 2 活動内容
- 3 今後の活動



1 てくととは

徳島大学防災サークルてくと

●てくと由来

To

Each

Circle

Tokushima



防災の輪を徳島から作っていく
円のように途切れることのない
活動をしていこう



ロゴ

概要

- 活動頻度：週1回＋第3金曜日 ミーティング
毎週月曜日 海岸実験室にて
第3金曜日 ZOOM

●部員：15名

2年生：4人 3年生：6人 4年生：3人 M1：2人

●設立経緯：

南海トラフの影響の可能性のある徳島。
徳島大学にはサークルとして、防災の活動を行う団体がなかった。
徳島大学から防災を広げていこうと思い設立。



2 具体的な活動（2025年度）

- 五月祭/常三島祭
- 防災フェスタ
- 防災グッズ試用
- Giving Campaign
- 科学体験フェスティバル
- メディア出演
- 「やっぞ！阿波おどり！！with能登」/Teen's防災
- 「やっぞ！阿波おどり！！in能登」/Teen's防災
- テレビ徳島感謝祭 etc.

五月祭・常三島祭

大学祭にて、学生や来学者を対象に防災を学ぶ場を提供！
五月祭では防災ボトルの販売を実施。
常三島祭では学内他団体との合同出展も実現！



やっぞ！阿波おどり！！WITH能登

昨年の8/12~15に実施をお手伝い！

被災した中高生を中心に構成されたメンバーと一緒に、神山町での川遊びや阿波踊り体験、ネパール村での異文化体験など徳島ならではの経験を楽しみました！



TEEN'S 防災

Teen's 防災とは・・・



「子どもの意見で大人の意識を変える」ことを目的に、被災した中高生からの様々な想いを元にグループでディスカッションを行い、防災に関する意見を出し合う会のことです。

今年の8月15日に「やっぞ！阿波おどり！！with能登」プロジェクトの一環として実施しました。
一般社団法人OPEN JAPANさん、ダツシユ隊徳島さんと協力させていただき、てくとメンバーで会の運営を実施！

TEEN'S 防災

徳島県立防災センターにて開催。

能登:17名、徳島:25名、大学生:15名 その他大勢のスタッフの方々が参加！
語り部の言葉や中高生の話し合いから、私たち自身も様々なことを学ばせてもらえるとても意義のある会となりました！



防災フェスタ

今年は、四国大学ボランティア支援室さんと合同企画！
フェスタ全体の企画にも携わらせていただきました！



前年度に引き続き、大人から子供まで楽しんで防災を考えられるよう、実際に自分で作ってもらう「防災ボトル作成体験」の出展と同時に、防災に関する意識調査アンケートも行い、大学生の防災活動に対して前向きな意見を多くいただき、改めて大学生の主体的な活動の重要性を感じました！

Giving Campaign

若き学生の挑戦に応援票を投じるにより、その投票数に応じて、寄付金が配当されるというオンラインチャリティーイベント。

応援票 **145票**

獲得賞 **企業賞**

地域に貢献する
団体として賞を
いただきました！



メディア出演

- ・FMとくしま 「Teen's防災」
- ・FMとくしま 「Teen's防災 in 能登」
- ・NHK徳島「防災自分ごと」
- ・とくだいウェブ 「避難所×脱出ゲーム」
- ・読売新聞「防災の輪 徳大から」

→てくとの活動を知ってもらうきっかけに



チャリティーサンタ IN能登

昨年の12月24,25日に奥能登にサンタとして笑顔とプレゼントを届けに！！
能登町のご家庭や能登町、輪島市内の100件以上の仮設住宅に伺い、
現状のヒアリングとプレゼントをお届けしました！！



やっぞ！阿波おどり！！IN能登

今年の1月17,18日に開催！！
阿呆連の方々に招いて輪島市、能登町の二か所で阿波踊りを披露していただきました！
また、能登町で行われた寒ブリ祭りにも参加しました！



TEEN'S 防災 IN 能登

今年の3月20日～22日に開催！
徳島の小中高生19名を能登に招待
2泊3日のスケジュールで、被災地視察・避難所宿泊訓練・Teen's防災を実施！



TEEN'S 防災 IN 能登

今年の3月21日に開催！
徳島の小中高生19名＋能登の中学生18名＋大学生13名
合計50名で実施！！

徳島県・石川県・能登町教育委員会をはじめ
様々な機関・企業・団体様にご協力いただきました！



3 今後について

●課題と感じている点

- 1 大学生の防災意識が低い
子どもを通した保護者の方には防災に対しての意識があるが、
大学生は、依然として防災意識が低い。
被災地へのボランティアにも若い世代の元気は大切！
- 2 若い世代の声を届ける
声を発信しづらい、子どもたちの想いも大事にすること必要がある
若いからこそ視点・考えにも価値を見出しながら
広く伝わりやすい「楽しい防災」を自指すことで、
次の世代を担う若者の声を届けていく。

徳島大学防災サークルてくと

○今後の活動方針

若者による「つなぐ」防災

→各世代の防災意識の低さ、現代若者の声の発信しにくさ

○今後に向けて

この先も大学生が起点となる防災活動に取り組んでいきます！

ご協力よろしくお願いいたします！！



てくとと防災について発信しています！
ようすればフォローも出来ます！

5. 研究

5. 1 経常経費特別分

①四国防災・危機管理プログラムによる防災・危機管理教育の実践と防災啓発事業の展開

担当者：上月 康則、湯浅 恭史

研究費：2,648,000 円

②南海トラフ巨大地震に対応する徳島大学 BCP(事業継続計画)の運用と教育・訓練の実施

担当者：湯浅 恭史、松重 摩耶、上月 康則

研究費：584,000 円

5. 2 学長裁量経費(機能強化)研究クラスター

①南海トラフ巨大地震後の地域医療継続方法に関する研究～新たな自立型の地域医療継続方法の確立～

代表者：湯浅 恭史

担当者：上月 康則 松重 摩耶 鎌村 好孝(徳島県) 佐々木 宏之(東北大学)

岡崎 丈弘(東京海上日動火災保険株式会社)

研究費：900,000 円

概要：地域の復旧・復興に資する新たな医療機関 BCP を開発し、南海トラフ地震の被害が懸念される徳島県内のモデル地域で BCP 研修会や訓練を実施し、社会実装する。この結果をフィードバックし、改善を行う。

②中高大連携による防災実践共同体の実現に向けた災害伝承のアクションリサーチ

代表者：松重 摩耶

担当者：上月 康則 湯浅 恭史 吉田 博 塩川 奈々美 井ノ崎 敦子

研究費：1,000,000 円

概要：中高大が中心となり、防災実践共同体の構築と実践を目指すことを目的に本研究を行う。具体的には、地域の災害伝承や大学での先端科学の防災の知見や技術等を中高生に伝え、中高生はそれらをカルタづくり等で具現化し、かつ友人、家族、地域で広め、地域防災力を向上させる。

5. 3 受託研究

①企業防災の訓練指導事業の実施とその効果検証（とくしま BCP 等策定支援事業）

代表者：湯浅 恭史

委託機関：徳島県

研究費：810,000 円

概要：災害時における企業の事業継続力を強化するため、BCP 等の策定及び見直し改善の支援として、県内企業や商工団体を対象にした訓練指導等を行うとともに、実際に訓練を実

施した企業からの聞き取り調査などから訓練指導の手法について検証を行う。

②一般廃棄物最終処分場廃止に向けた課題解決のための検討

代 表 者：上月 康則

委託機関：徳島市

研 究 費：100,100 円

概 要：徳島市西須賀最終処分場の廃止に向けた取り組みについて、当該処分場に係る水質調査資料等を学術的な見地から検討を行い、課題解決への助言を行う。

③自然・人工サイトとの相互作用を考慮した沿岸域の物質循環・輸送モデルの開発

代 表 者：遠藤 徹（公立大学法人大阪 大阪公立大学）

担 当 者：山中 亮一 上月 康則

委託機関：国立大学法人大阪大学（独立行政法人環境再生保全機構）

研 究 費：3,978,000 円

概 要：大阪湾の湾奥部に形成される強閉鎖性海域の護岸生態系に着目し、生態系の構造と機能について調査し、地先タイプごとに生態系機能の評価と分類を行う。また中立粒子による数値実験を実施し、地先間における生態系のつながりを明らかにする。これらの成果を基に、環境にとって負のイメージが強い強閉鎖性海域における生態系サービスを可視化し、今後、大阪湾の環境再生に向けた地先生態系の管理と活用方法に向けた政策提案に貢献することを目的とする。

④データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発(第3回)

代 表 者：上月 康則

委託機関：国立研究開発法人情報通信研究機構

研 究 費：534,490 円

概 要：本研究では、徳島県内市町村を対象に、ITC を活用した市民協働型のデータ収集基盤を構築し、そのデータを活用した防災・減災向けの技術(総合知説明型ハザードマップ・VR体験教育コンテンツ)と復興支援向けの技術(罹災判定・仕様案)を開発事で、地域の防災レジリエンス向けに貢献する。研究開発お完遂が事態に直面しない限り2025年までに、全て項目のプロトタイプの実装を完了する。10月以降は、徳島県でショッップを開催し研究成果の体験・評価機会を設ける。そして評価結果や意取りまとめ研究開発期間終了までに、可能な開発成果の改善に務める。

⑤南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト

代 表 者：堀 高峰（国立研究開発法人海洋研究開発機構）

担 当 者：金井 純子

委託機関：文部科学省

研 究 費：3,900,000 円

概要：地域の防災特性に応じた連鎖災害の影響が強い地城を選択し、地域との連携構築に取り組む。必要に応じて、各地域の防災特性や地域内の防災を担う各組織の事業継続計画を把握するために必要な情報を収集、基礎調査を実施する。地域レジリエンス研究会を4つの地域で開催するための準備を進め、キックオフの研究会を開催する。また、地域防災力の向上を長期的に見据えて、教育機関や各地区への働きかけも行う。

5. 4 共同研究

①中空立方体ブロック構造による海水温上昇抑制効果に関する研究

代表者：山中 亮一

委託機関：日建工学株式会社

追加額：300,000 円

概要：本研究では、中空ブロックを用いて施工された人工リーフを対象に、消波ブロックと水温上昇抑制効果に関する基礎的な調査研究をおこない、消波ブロックを用いた新たな藻場保全・造成工法の可能性を検討するものとする。

②尼崎運河と尼崎港での水環境管理手法の検討

代表者：上月 康則

担当者：山中 亮一

委託機関：兵庫県阪神南県民センター

研究費：1,799,200 円

概要：尼崎運河と尼崎港での水環境管理手法の検討

(1) 尼崎運河と尼崎港における水環境特性の把握

尼崎運河と尼崎港を対象に、水質・底質・生態系に関する現地調査を実施し水質監視を行うとともに、水質管理方針について検討する。特に開門操作、冬季赤潮、渡り鳥に着目した研究を行う。

(2) 尼崎運河と尼崎港の環境修復技術・手法の開発および啓発

魚類の生息域拡大に関する実験を行う。チチブを対象とし、鋼矢板でのすみかづくり実験を行う。啓発活動をイベントの機会に実施する。

③AI 解析と GPU 高速シミュレーションによる都市・地盤・沿岸リアルタイム可視化基盤に関する研究

代表者：山中 亮一

委託機関：株式会社エイト日本技術開発

研究費：2,750,000 円

概要：社内ニーズへの対応および他社との差別化を図るために、空間的数値情報の利用フィールドとして、主に水防災分野へ適用（他分野への応用可能）し、その利用価値を向上させるものである。

(1) Celeris と可視化ソフト連携によるリアルタイム沿岸波浪可視化システム

(2) GPU 強化型実地形沿岸 SPH 解析による高精度沿岸防災シミュレーションの実用化

5. 5 受託事業

①令和 7 年度徳島県地域防災推進員養成研修（防災士養成研修）業務

代 表 者：上月 康則

委託機関：徳島県

事 業 費：14,144,000 円

概 要：体系的な防災講座を一般県民及び徳島県職員等を対象に実施することにより、地域防災活動に行政と協働して取り組む「地域防災推進員」の養成を図り、地域防災力の強化につなげる。

②令和 7 年度鳴門市地域防災リーダー養成講座開催業務

代 表 者：上月 康則

委託機関：鳴門市

事 業 費：1,878,500 円

概 要：(1) 日本防災士機構が定める研修カリキュラムの実施
(2) 防災士資格取得試験実施の手続き

③令和 7 年度上板町防災士養成講座開催業務

代 表 者：上月 康則

委託機関：上板町

事 業 費：1,326,000 円

概 要：(1) 日本防災士機構が定める研修カリキュラムの実施
(2) 防災士資格取得試験実施の手続き

④地域防災力強化事業業務

代 表 者：田村 隆雄

委託機関：徳島市

事 業 費：1,862,874 円

概 要：大規模な災害が発生した場合の被害を最小限に止めるためには、地域の防災力の強化が不可欠である。特に地域に居住する住民の防災意識の向上とその居住する地域の特性を知ることが、地域の防災力強化の近道となる。平成 23 年 3 月に発行した「徳島市総合防災マップ」を市民が保管用として自宅に置くだけのものにしないようフォローアップを実施し、徳島市内の行政区 2 地区を対象に地域住民が自ら考え作る自分たちの避難支援マップを作成することにより、地域の特性を再認識し、地域の防災力強化と防災意識の高揚を図ることを目的とする。

⑤令和7年度防災士スキルアップ研修業務

代 表 者：上月 康則

委託機関：徳島県防災人材育成センター

事 業 費：600,000 円

概 要：防災活動に取り組む、意欲のある防災士有資格者を対象に、防災学習指導方法を学ぶことができる体験的・実践的な研修を実施し、地域防災の指導者となる人材を育成し、地域防災力の向上に繋げる。

⑥実践的な防災行動推進に資する災害の記録・課題・教訓の継承等に関する調査・分析業務

代 表 者：松重 摩耶

委託機関：株式会社三菱総合研究所

事 業 費：4,365,090 円

概 要：株式会社三菱総合研究所が内閣府から受託した「令和7年度 実践的な防災行動推進に資する災害の記録・課題・教訓の継承等に関する調査・分析業務」を実施するにあたり、その業務の一部である「地域における災害教訓の継承・伝承等に取り組む団体等による、新たな実践活動の実施に係る支援業務」を行う。

5. 6 助成金

①科学研究費助成事業（学術研究助成基金）基盤研究（B）（一般）

研究名：徳島県小松島沖亀磯を対象とした臨海地盤の崩壊現象の解明と誘発津波の予測

研究者：馬場 俊孝

研究費：3,250,000 円

②科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B）（一般）

研究名：仮想と現実を密にリンクする避難訓練 XR システム

研究者：光原 弘幸

研究費：3,380,000 円

③科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：海岸ハイブリッドインフラにおける生態系サービスの持続的な活用と保全

研究者：山中 亮一

研究費：520,000 円

④科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）（一般）

研究名：流通困難空き家の解消に向けた公民連携による譲渡・寄付モデルの構築

研究者：小川 宏樹

研究費：1,430,000 円

⑤科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究

研究名：乳幼児をもつ母親の育児リテラシーに着目した複合災害想定型防災教育プログラムの開発

研究者：多田 美由貴

研究費：1,300,000 円

5. 7 寄附金

①松重 摩耶

寄附者：一般社団法人四国クリエイト協会

研究費：4,000,000 円

②山中 亮一

寄附者：株式会社フジタ建設コンサルタント

研究費：300,000 円

③上月 康則

寄附者：五洋建設株式会社

研究費：550,000 円

④松重 摩耶

寄附者：損保保険ジャパン株式会社

研究費：500,000 円

⑤山中 亮一

寄附者：株式会社エイト日本技術開発

研究費：1,000,000 円

⑥山中 亮一

寄附者：株式会社基礎建設コンサルタント

研究費：500,000 円

⑦山中 亮一

寄附者：株式会社日本港湾コンサルタント東京支店

研究費：500,000 円

⑧山中 亮一

寄附者：日建工業株式会社

研究費：700,000 円

6. 研究業績

6. 1 著書（名前、著書題目、著者等名、発行所・発表雑誌等の名称、巻・号・ページ、発行または発表年月 など）

<防災研究部門>

西山 賢一

- (1) 西山 賢一・元山 茂樹：さなごうち学ブックレット2 佐那河内村の地形と地質、佐那河内村役場、2025 年 8 月 20 日、91 ページ

<災害医療研究部門>

内海 千種

- (1) 第 1 章「子供時代の困難な体験の影響：小児期に焦点を当てて」岩切昌宏(監)・瀧野揚三(監)・内海千種(編)・中村有吾(編)・石橋正浩(編)『トラウマセンシティブスクール：安心して学べるやさしい学校づくりの理論と実践』、福村出版、2025 年 7 月

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 湯本 貴和・佐久間 大介・鎌田 磨人・原 慶太郎 編著、「図説 日本の里山」、朝倉書店、2025 年 6 月

大谷 壮介

- (1) 伊藤 禎彦・大谷 壮介・上月 康則・西村 文武・樋口 隆哉・松重 摩耶・山中 亮一・山本 裕史・横木 裕宗・吉田 英樹：ぜんぶわかる環境工学、理工図書、全 232 頁、東京、2025 年 12 月
(2) 大谷 壮介：ブルーカーボンとしての湿地生態系、特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議編：きれいで豊かな海への挑戦ー瀬戸内からの提案、全 288 頁、恒星社厚生閣、2026 年 2 月

上月 康則

- (1) 伊藤 禎彦・大谷 壮介・上月 康則・西村 文武・樋口 隆哉・松重 摩耶・山中 亮一・山本 裕史・横木 裕宗・吉田 英樹：ぜんぶわかる環境工学、理工図書、全 232 頁、東京、2025 年 12 月
(2) 特定非営利法人 瀬戸内海研究会議編：「きれいで豊かな海への挑戦ー瀬戸内海からの提案」特定非営利法人 瀬戸内海研究会議編、恒星社厚生閣、2026 年 2 月（一部担当）

山中 亮一

- (1) 伊藤 禎彦・大谷 壮介・上月 康則・西村 文武・樋口 隆哉・松重 摩耶・山中 亮一・山本 裕史・横木 裕宗・吉田 英樹：ぜんぶわかる環境工学、理工図書、全 232 頁、東京、2025 年 12 月
(2) 特定非営利法人 瀬戸内海研究会議編：「きれいで豊かな海への挑戦ー瀬戸内海からの提案」特定非営利法人 瀬戸内海研究会議編、恒星社厚生閣、2026 年 2 月（一部担当）

<危機管理研究部門>

湯浅 恭史

- (1) 水のインフラ事典、西日本豪雨の水道被害と教訓、丸善出版、第Ⅴ部第1章、2025年10月24日

6. 2 論文 (名前、題目、著者等名、発行所・発表雑誌等の名称、巻・号・ページ、発行または発表年月 など)

<防災研究部門>

馬場 俊孝

- (1) Futagi, K., Yuhi, M., Arita, M., Umeda, S., Ninomiya, J., Baba, T., ... Haraguchi, T. (2025). Post-event survey and numerical simulation of the tsunami inundation caused by the 2024 Noto Peninsula Earthquake in Hegurajima Island, Japan. Coastal Engineering Journal, 67(4), 608-632. <https://doi.org/10.1080/21664250.2025.2545691>
- (2) Iwabuchi, Y., Baba, T., Hori, T., Okada, M., and Igarashi Y. (2025). A Seafloor Pressure Sensor Effectiveness Evaluation in a Tsunami Height Estimation Model Using Gaussian Process Regression with Automatic Relevance Determination, J. Disaster Res., 20(5), 831-842. <https://doi.org/10.20965/jdr.2025.p0831>
- (3) Iwabuchi, Y., Baba, T., Hori, T. et al. (2025). Tsunami height estimation via Gaussian process regression using the maximum absolute pressure change and time from seafloor sensors off the Kii Peninsula, Japan. Mar Geophys Res 46, 22. <https://doi.org/10.1007/s11001-025-09583-6>
- (4) Naito, A., Motoi, K., Baba, T. (2025). Initial sea surface displacement of non-seismic tsunami associated with the 2020 sand point earthquake off the Alaska Peninsula, Prog. Earth Planet. Sci., 12, 42. <https://doi.org/10.1186/s40645-025-00716-4>

蔣 景彩

- (1) 蔣 景彩・古谷 綱崇：土砂災害警戒区域(土石流)指定の最新動向と課題、斜面崩壊と雨の降り方に関するシンポジウム（北九州 2025～豪雨災害の特徴から避難までを考える～）論文集、2025年
- (2) 蔣 景彩・大上 侑真・湯浅 恭史：雨量指標 R' を用いた土石流発生基準に関する検討—火山噴出岩地質の場合—、令和7年度自然災害フォーラム論文集、pp. 7-16、2025年
- (3) 甲田習人・蔣 景彩・湯浅 恭史：数値解析による土砂災害警戒区域（土石流）の検討、21世紀の南海地震と防災—第20巻—、pp. 9-18、2025年
- (4) 門屋 慶太郎・湯浅 恭史・蔣 景彩：四国の水道施設における地震に対する安心度指標の研究、21世紀の南海地震と防災—第20巻—、pp. 55-62、2025年
- (5) 金井 純子・中野 晋・蔣 景彩・山崎 健司・西村 実穂・徳永 雅彦・榎本 誠一・渡辺 一也：令和5年秋田豪雨による五城目町の浸水被害と高齢者施設における法人間連携の有効性、河川技術論文集、31、391-396、2025年

西山 賢一

- (1) Susumu Tanabe, Yoshiro Ishihara, Ken-ichi Nishiyama and Yoshiki Sato (2026) Tectonic control on incised-valley geometry : Late Pleistocene examples along the longest active fault in Japan. *Geomorphology*, Vol. 498
- (2) 羽田 裕貴・本郷 美佐緒・水野 清秀・納谷 友規・中谷 是崇・中島 礼・西山 賢一 (2025) 徳島平野南東部沿岸地域における地下更新統年代層序. *地質学雑誌*, 131 巻 1 号 p. 11-30
- (3) 西山 賢一・元山 茂樹 (2025) 佐那河内村の地形と地質. *阿波学会紀要*, 65 号、p. 1-10

青矢 睦月

- (1) Daisuke Nakamura, Mutsuki Aoya and Tomoki Okamura. Metamorphic pressure-temperature conditions of garnet granulite from the Eastern Iratsu body in the Sambagawa belt, SW Japan. *Journal of Mineralogical and Petrological Sciences*, vol.120 (issue 1), Article ID : 241001, 2025 年 4 月. DOI : 10.2465/jmps.241001

古谷 綱崇

- (1) 蔣 景彩・古谷 綱崇 : 土砂災害警戒区域(土石流)指定の最新動向と課題、斜面崩壊と雨の降り方の関係に関するシンポジウム(北九州 2025~豪雨災害の特徴から避難までを考える~) 論文集、2025 年

<災害医療研究部門>

西村 明儒

- (1) Hirofumi Iseki, Hideyuki Nushida, Asuka Ito, Hiromitsu Kurata and Akiyoshi Nishimura: Analysis of head rotation movements produced by falls in toddlers. *Acta Criminologiae et Medicinae Legalis Japonica*, vol. 91(4): 1-10, 2025
- (2) 吉野 巧望・伊藤 明日香・主田 英之・倉田 浩充・梅本 ひとみ・井関 博文・徳永 逸夫・西村 明儒 : 法医解剖症例の脳アミロイド前駆体タンパクの発現、*四国医学雑誌* 81(5, 6)、168-175、2025 年

岡久 玲子

- (1) 上白川 沙織・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子 : 第 3 章 訪問看護事業所の防災対応、津波浸水リア地域の医療福祉関連施設における防災対策と南海トラフ地震臨時情報発表時の対応に係る調査報告書(速報)、7-9、2025 年
- (2) 金井 純子・上白川 沙織・西村 実穂・中野 晋・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子・2024 年 8 月の南海トラフ地震臨時情報発表後の高齢者施設の対応と事前避難の課題、21 世紀の南海地震と防災、20、109-116、2025 年

主田 英之

- (1) Hirofumi Iseki, Hideyuki Nushida, Asuka Ito, Hiromitsu Kurata and Akiyoshi Nishimura: Analysis of head rotation movements produced by falls in toddlers. *Acta Criminologiae et Medicinae Legalis Japonica*, vol. 91(4): 1-10, 2025
- (2) 吉野 巧望・伊藤 明日香・主田 英之・倉田 浩充・梅本 ひとみ・井関 博文・徳永 逸夫・西村 明

儒：法医解剖症例の脳アミロイド前駆体タンパクの発現、四国医学雑誌 81(5, 6)、168-175、2025 年

松下 恭子

- (1) 金井 純子・上白川 沙織・西村 実穂・中野 晋・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：2024 年 8 月の南海トラフ地震臨時情報発表後の高齢者施設の対応と事前避難の課題、21 世紀の南海地震と防災、20、109-116、2025 年
- (2) 上白川 沙織・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：第 3 章 訪問看護事業所の防災対応、津波浸水エリア地域の医療福祉関連施設における防災対策と南海トラフ地震臨時情報発表時の対応に係る調査報告書(速報)、7-9、2025 年

多田 美由貴

- (1) 金井 純子・上白川 沙織・西村 実穂・中野 晋・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：2024 年 8 月の南海トラフ地震臨時情報発表後の高齢者施設の対応と事前避難の課題、21 世紀の南海地震と防災、20、109-116、2025 年
- (2) 上白川 沙織・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：第 3 章 訪問看護事業所の防災対応、津波浸水エリア地域の医療福祉関連施設における防災対策と南海トラフ地震臨時情報発表時の対応に係る調査報告書(速報)、7-9、2025 年

上白川 沙織

- (1) 金井 純子・上白川 沙織・西村 実穂・中野 晋・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：2024 年 8 月の南海トラフ地震臨時情報発表後の高齢者施設の対応と事前避難の課題、21 世紀の南海地震と防災、20、109-116、2025 年
- (2) 上白川 沙織・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：第 3 章 訪問看護事業所の防災対応、津波浸水エリア地域の医療福祉関連施設における防災対策と南海トラフ地震臨時情報発表時の対応に係る調査報告書(速報)、7-9、2025 年

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 鎌田 磨人・増田 唯吹・東出 天舞音・鮫島 慈敬・芳賀 智宏・戴 帰航・鎌田 敏子・古谷 怜音・富田 聖夢：日本景観生態学会第 35 回金武町大会エクスカッション報告—沖縄県金武町の自然・文化資本とその活用. 景観生態学、30:54-63. (記事) 2025 年 12 月

上月 康則

- (1) 本原 将吾・上月 康則・羽崎 圭吾・齋藤 稔・松尾 優輝・山中 亮一・松重 摩耶・石黒 由梨：ライブソナーを用いた尼崎運河での夜間の魚類行動観察に関する基礎的な研究、土木学会論文集特集号(海洋開発)、2025 年、81 巻、18 号、論文 ID: 25-18181
- (2) 大谷 壮介・中西 美桜・田村 生弥・東 和之・上月 康則：大阪湾沿岸域の堆積物における微生物の炭素源資化特性の空間分布、土木学会論文集、Vol. 81、No. 17、25-17076、2025 年 11 月

山中 亮一

- (1) Yamanaka Ryoichi, Umeda Kowa, Kozuki Yasunori, Matsushige Maya, Obata Koshiro, Ayukawa Kazuhiro, Ishiguro Yuri, Toda Ryosuke. Changes in Water Quality due to Saltwater Intrusion in the Amagasaki Canal, Japan. Proceedings of the 2025th International Ocean and Polar Engineering Conference. 2025, ISOPE-I-25-160.
- (2) Ryutaro Takeuchi, Ryoichi Yamanaka, Yasunori Kozuki, Maya Matsushige, Yuri Ishiguro. A Study of the Migration of Aythya Ferina in the Amagasaki Canal, Japan. Proceedings of the 2025th International Ocean and Polar Engineering Conference. 2025, ISOPE-I-25-156.
- (3) 本原 将吾・上月 康則・羽崎 圭吾・齋藤 稔・松尾 優輝・山中 亮一・松重 摩耶・石黒 由梨：ライブソナーを用いた尼崎運河での夜間の魚類行動観察に関する基礎的な研究、土木学会論文集特集号（海洋開発）、2025 年、81 巻、18 号、論文 ID：25-18181
- (4) Hironori Okegawa, Ryoichi Yamanaka, Yasunori Kozuki, and Maya Matsushige. Hindcast of Inundation Process of Coastal Forest in Osato, Japan by Typhoon Hagibis No. 19. Proceedings of the Thirty-fifth (2025) International Ocean and Polar Engineering Conference www.isopec.org Seoul/Goyang, Korea, June 1-6, 2025, 544-2025-TPC-0417.

松重 摩耶

- (1) 本原 将吾・上月 康則・羽崎 圭吾・齋藤 稔・松尾 優輝・山中 亮一・松重 摩耶・石黒 由梨：ライブソナーを用いた尼崎運河での夜間の魚類行動観察に関する基礎的な研究、土木学会論文集特集号（海洋開発）、2025 年、81 巻、18 号、論文 ID：25-18181

中西 敬

- (1) 中西 敬：「きれいで豊かな海への挑戦 -瀬戸内海からの提案」特定非営利法人 瀬戸内海研究会編、恒星社厚生閣、『ブルーカーボン生態系の創出と J ブルークレジットの活用』、pp. 205-212. 2026 年 2 月

古川 恵太

- (1) 古川 恵太：東京湾と人との関係をとりにどすための活動～新たな海辺づくりをめざして～、水環境学会誌、第 49 巻（A）第 3 号、pp. 101-104、2026

西田 貴明

- (1) Kawabata, Y., Takimoto, K., Nishida, T., Koshikawa, Y., Aizawa, A (2025) Integration of Green and Gray Infrastructures-Conceptualization from the Perspective of Gray Engineers. Structural Engineering International, 35(1), 125-133.
- (2) Osawa, T., Nishida, T., Oka, T. (2025) Evaluating the impact of agricultural abandonment on flood mitigation functions. Scientific Reports, 15(1), 19997.
- (3) 大澤 剛士・西田 貴明・遠香 尚史・山野 博哉・小笠原 奨悟：地方自治体における生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）の推進に及ぼす社会的な条件の検討、保全生態学研究、30(2)、149-160、2025 年

- (4) 西田 貴明：市民科学によるグリーンインフラ・コミュニティの創出へー三重県いなべ市におけるモバイルアプリを用いた生態系管理の実践、都市計画 377 号、pp. 24-27、2025 年
- (5) 竹下 明日香・西田 貴明：京都御苑の犬連れ利用者と一般利用者のコミュニケーションと消費行動の比較、環境情報科学論文集 Vol. 39、pp. 321-327、2025 年

大谷 壮介

- (1) 大谷 壮介・古木 健太郎：半導体式ガスセンサーを用いた潮間帯の堆積物のメタンフラックス計測手法の開発、土木学会論文集、Vol. 81, No. 18、25-18100、2025年10月
- (2) 東 和之・大田 直友・遠野 竜翁・橋本 温・大谷 壮介：代償人工海浜における巻貝ホソウミナナの定着阻害要因の検討、土木学会論文集、Vol. 81、No. 18、25-18026、2025年10月
- (3) 大谷 壮介・中西 美桜・田村 生弥・東 和之・上月 康則：大阪湾沿岸域の堆積物における微生物の炭素源資化特性の空間分布、土木学会論文集、Vol. 81、No. 17、25-17076、2025年11月

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) Kose Koga, Kaito Fukuchi, Hiroki Ogawa, Discourse on Affordability by Shane Phillips, Proceedings of 2025 International Conference of Asian-Pacific Planning Societies, pp. 1-20, Seoul, Korea, 2025 年 8 月 21 日
- (2) Kaito Fukuchi, Kose Koga, Hiroki Ogawa, Comparing Housing Policies in Japan and the U.S. for Building Affordable Cities, Proceedings of 2025 International Conference of Asian-Pacific Planning Societies, pp. 1-20, Seoul, Korea, 2025 年 8 月 21 日
- (3) 大畠 涼太郎・金井 純子・小川 宏樹：災害時における道の駅のネットワーク構築に向けた研究、21 世紀の南海地震と防災、20、49-54、2025 年
- (4) 友成 紗綾・金井 純子・小川 宏樹：児童館を結節点とした地域防災の取り組みー徳島県吉野川市鴨島児童館を事例としてー、令和 7 年度自然災害フォーラム論文集、61-68、2025 年

上月 康則

- (1) 松重 摩耶・湯浅 恭史・上月 康則・大森 理佐：令和 5 年度の徳島大学防災・BCM の取り組み、徳島大学人と地域共創センター紀要、第 34 巻、pp. 33-42、2025 年
- (2) 松重 摩耶・上月 康則・山中 亮一・徳石奈央子：令和 6 年能登半島地震における LINE オープンチャットを用いた住民主体の情報共有の実態と運用に関する考察、日本災害情報学会、印刷中、2026 年

山中 亮一

- (1) 松重 摩耶・上月 康則・山中 亮一・徳石 奈央子：令和 6 年能登半島地震における LINE オープンチャットを用いた住民主体の情報共有の実態と運用に関する考察、日本災害情報学会、2026 年

湯浅 恭史

- (1) 松重 摩耶・湯浅 恭史・上月 康則・大森 理佐：令和5年度の徳島大学防災・BCMの取り組み、徳島大学人と地域共創センター紀要、第34巻、pp.33-42、2025年
- (2) 蔣 景彩・大上 侑真・湯浅 恭史：雨量指標R'を用いた土石流発生基準に関する検討―火山噴出岩地質の場合―、令和7年度自然災害フォーラム論文集、pp.7-16、2025年
- (3) 甲田習人・蔣 景彩・湯浅 恭史：数値解析による土砂災害警戒区域（土石流）の検討、21世紀の南海地震と防災―第20巻一、pp.9-18、2025年
- (4) 門屋 慶太郎・湯浅 恭史・蔣 景彩：四国の水道施設における地震に対する安心度指標の研究、21世紀の南海地震と防災―第20巻一、pp.55-62、2025年

金井 純子

- (1) 金井 純子・中野 晋・蔣 景彩・山崎 健司・西村 実穂・徳永 雅彦・樫本 誠一・渡辺 一也：令和5年秋田豪雨による五城目町の浸水被害と高齢者施設における法人間連携の有効性、河川技術論文集、31、391-396、2025年
- (2) 金井 純子・上白川 沙織・西村 実穂・中野 晋・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：2024年8月の南海トラフ地震臨時情報発表後の高齢者施設の対応と事前避難の課題、21世紀の南海地震と防災、20、109-116、2025年
- (3) 西村 実穂・中野 晋・金井 純子・川瀬 公美子・越智 亮太・岡本 凌：令和6年能登半島地震による石川県能登町の保育施設の被害と保育継続、21世紀の南海地震と防災、20、87-94、2025年
- (4) 中野 晋・金井 純子・西村 実穂・川瀬 公美子・越智 亮太・岡本 凌：石川県能登町の公立学校の地震被害と教育継続、21世紀の南海地震と防災、20、63-72、2025年
- (5) 大畠 涼太郎・金井 純子・小川 宏樹：災害時における道の駅のネットワーク構築に向けた研究、21世紀の南海地震と防災、20、49-54、2025年
- (6) 友成 紗綾・金井 純子・小川 宏樹：児童館を結節点とした地域防災の取り組み―徳島県吉野川市鴨島児童館を事例として―、令和7年度自然災害フォーラム論文集、61-68、2025年

松重 摩耶

- (1) 松重 摩耶・湯浅 恭史・上月 康則・大森 理佐：令和5年度の徳島大学防災・BCMの取り組み、徳島大学人と地域共創センター紀要、第34巻、pp.33-42、2025年
- (2) 査読付き論文：松重 摩耶・上月 康則・山中 亮一・徳石 奈央子：令和6年能登半島地震におけるLINEオープンチャットを用いた住民主体の情報共有の実態と運用に関する考察、日本災害情報学会、2026年

中野 晋

- (1) 西村 実穂・中野 晋：東京都足立区内における保育施設の水害発生時の対応、地域安全学会梗概集、No.56、pp.131-134、2025年5月
- (2) 中野 晋・西村 実穂：徳島県内の保育施設を対象とした水害発生時の対応に関するアンケート調査、地域安全学会梗概集、No.56、pp.135-138、2025年5月
- (3) 金井 純子・中野 晋・蔣 景彩・山崎 健司・西村 実穂・徳永 雅彦・樫本 誠一・渡辺 一也：令和

- 5 年秋田豪雨による五城目町の浸水被害と高齢者施設における法人間連携の有効性、河川技術論文
文集、Vol. 31、pp. 391-396、2025 年 5 月
- (4) 中野 晋・徳永 雅彦・廣瀬 幸佑：体験談等と氾濫解析による徳島県北部市街地の第二室戸台風被害の実態分析、土木学会論文集、Vol. 81、No. 17、25-17186、pp. 1-7、2025 年 11 月
 - (5) 中野 晋・金井 純子・西村 実穂・川瀬 公美子・越智 亮太・岡本 凌：石川県能登町の公立学校の地震被害と教育継続、21 世紀の南海地震と防災、第 20 巻、pp. 63-72、2025 年 12 月
 - (6) 西村 実穂・中野 晋・金井 純子・川瀬 公美子・越智 亮太・岡本 凌：令和 6 年能登半島地震による石川県能登町の保育施設の被害と保育継続、21 世紀の南海地震と防災、第 20 巻、pp. 87-94、2025 年 12 月
 - (7) 西村 実穂・中野 晋・徳永 雅彦：令和 6 年能登半島地震による石川県志賀町、輪島市の保育施設の被害と保育継続、21 世紀の南海地震と防災、第 20 巻、pp. 95-102、2025 年 12 月
 - (8) 徳永 雅彦・中野 晋：令和 6 年能登半島地震における石川県測量設計業協会の対応について、21 世紀の南海地震と防災、第 20 巻、pp. 73-78、2025 年 12 月
 - (9) 徳永 雅彦・中野 晋：令和 6 年能登半島地震における石川県建設業協会の対応について、21 世紀の南海地震と防災、第 20 巻、pp. 79-86、2025 年 12 月
 - (10) 金井 純子・上白川 沙織・西村 実穂・中野 晋・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：2024 年 8 月の南海トラフ地震臨時情報発表後の高齢者施設の対応と事前避難の課題、21 世紀の南海地震と防災、第 20 巻、pp. 109-116、2025 年 12 月

宇野 宏司

- (1) 宇野 宏司：ポストコロナ禍のみなとオアシスにおける BCP 策定に向けた現状と課題、土木学会論文集、第 81 巻、論文 ID:25-17236、2025 年
- (2) 宇野 宏司・北村 春乃・今井 洋太：ハザード情報を活用した里地里山におけるネイチャーポジティブ推進適性地の抽出、土木学会論文集、第 81 巻、2025 年
- (3) 宇野 宏司・北村 春乃：ハザードマップを活用した兵庫県沿岸域のネイチャーポジティブ推進適性地抽出方法の提案、土木学会論文集、第 81 巻、論文 ID:25-18177、2025 年

徳永 雅彦

- (1) 金井 純子・中野 晋・蔣 景彩・山崎 健司・西村 実穂・徳永 雅彦・檜本 誠一・渡辺 一也：令和 5 年秋田豪雨による五城目町の浸水被害と高齢者施設における法人間連携の有効性、河川技術論文
文集、Vol. 31、pp. 391-396、2025 年 5 月
- (2) 中野 晋・徳永 雅彦・廣瀬 幸佑：体験談等と氾濫解析による徳島県北部市街地の第二室戸台風被害の実態分析、土木学会論文集、vol. 81、No. 25-17186、2025 年 11 月
- (3) 徳永 雅彦・中野 晋：令和 6 年能登半島地震における石川県測量設計業協会の対応について、21 世紀の南海地震と防災（第 20 巻）、pp. 73-78、2025 年 12 月
- (4) 徳永 雅彦・中野 晋：令和 6 年能登半島地震における石川県建設業協会の対応について、21 世紀の南海地震と防災（第 20 巻）、pp. 79-86、2025 年 12 月
- (5) 西村 実穂・中野 晋・徳永 雅彦：令和 6 年能登半島地震による石川県志賀町、輪島市の保育施設の被害と保育継続、21 世紀の南海地震と防災（第 20 巻）、pp. 95-102、2025 年 12 月

6. 3 研究発表等

(名前, 発表題目, 著者等名, 発行所・発表雑誌等の名称, 巻・号・ページ, 発行または発表年月 など)

<防災研究部門>

蔣 景彩

- (1) 蔣 景彩: 松山市城山土砂災害から見る土石流警戒区域の課題、令和 7 年度四国支部技術研究発表会フォーラム、2025 年 6 月 7 日
- (2) 磯村 尚紀・久保 慶徳・蔣 景彩: 低透水性地盤を対象とした透水試験器の試作と定水位透水実験、第 60 回地盤工学研究発表会、2025 年 7 月 22 日
- (3) 蔣 景彩・古谷 綱崇・西山 賢一: 土石流警戒区域指定の課題についての考察、第 44 回日本自然災害学会学術講演会講演概要集、2025 年 9 月
- (4) Jing-Cai Jiang: Characteristics of the geotechnical damage due to the 2024 Noto Peninsula Earthquake, Int. Conf, on Intelligent Operations and Maintenance of Existing Engineering Structures (ICIOM-EES, 2025), Oct. 17-18, 2025, Changsha, China
- (5) 蔣 景彩・古谷 綱崇: 土砂災害警戒区域(土石流)指定の最新動向と課題、斜面崩壊と雨の降り方の関係に関するシンポジウム 北九州 2025～豪雨災害の特徴から避難までを考える～、2025 年 11 月 28・29 日
- (6) 蔣 景彩・大上 侑真・湯浅 恭史: 雨量指標 R' を用いた土石流発生基準に関する検討—火山噴出岩地質の場合—、令和 7 年度自然災害フォーラム&第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松市、2025 年 12 月 18 日
- (7) 甲田 習人・蔣 景彩・湯浅 恭史: 数値解析による土砂災害警戒区域(土石流)の検討、令和 7 年度自然災害フォーラム&第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松市、2025 年 12 月 18 日

西山 賢一

- (1) 西山 賢一・山崎 新太郎・星住 英夫・川畑 大作・横田 修一郎 (2025): 阿蘇火砕流台地に分布するテフラ層にみられるノンテクトニック構造、日本地質学会第 132 年学術大会、熊本大学、2025 年 9 月 14 日
- (2) 蔣 景彩・古谷 綱崇・西山 賢一: 土石流警戒区域指定の課題についての考察、第 44 回日本自然災害学会学術講演会講演概要集、2025 年 9 月
- (3) 西山 賢一・山崎 新太郎・原口 強・鈴木 雄介 (2025): 四国中央部・三波川変成岩分布域の地すべりにおけるボーリングコアの詳細解析、日本応用地質学会令和 7 年度研究発表会講演論文集、pp. 47-48、北海道札幌市、2025 年 10 月 9 日
- (4) 野々村 敦子・中村 梨聖・西山 賢一・柳内 守・古谷 勇人・殿谷 梓 (2025): 地形情報を活用した傾斜地集落における豪雨時避難計画策定に向けた取り組み、日本応用地質学会令和 7 年度研究発表会講演論文集、pp. 307-308、北海道札幌市、2025 年 10 月 9 日
- (5) 西山 賢一・山崎 新太郎・原口 強・鈴木 雄介 (2025): 四国中央部・三波川変成岩分布域の地すべりにおけるボーリングコアの詳細解析、日本応用地質学会中国四国支部 2025 年度研究発表会発表論文集、pp. 1-9~1-10、愛媛県松山市、2025 年 10 月 24 日
- (6) 野々村 敦子・中村 梨聖・西山 賢一・柳内 守・古谷 勇人・殿谷 梓 (2025): 地形情報を活用した傾斜地集落における豪雨時危険箇所の可視化、日本応用地質学会中国四国支部 2025 年度研究発表

表会発表論文集、pp. 1-1~1-2. 愛媛県松山市、2025 年 10 月 24 日

- (7) Atsuko Nonomura, Ken-ichi Nishiyama, Mamoru Yanagiuchi, Yuto Furutani, and Azusa Totonani (2025) Communication and application of engineering geology for community based disaster preparedness. Asian Journal of Engineering Geology, 2025, Nepal

上野 勝利

- (1) 高田 章徳・木村 充宏・上野 勝利：公益社団法人地盤工学会四国支部、四国支部賞（技術開発賞）、2025 年 4 月
- (2) 渡邊 健治・平川 大貴・上野 勝利：公益社団法人地盤工学会、令和 6 年度「地盤工学会誌」年間最優秀賞、地盤工学における模型実験、第 6 回 各論 土構造物、2025 年 6 月

青矢 睦月

- (1) Yukinojo Koyama, Simon Wallis, Takayoshi Nagaya, Mutsuki Aoya. Constructing CPO patterns from EBSD measurements to be used in quartz c-axis fabric opening-angle thermometry : issues and proposed protocol. Abstract for Japan Geoscience Union (JpGU) Meetina 2025, SMP28-P10, May 27th 2025.
- (2) 高橋 慶多・青矢 睦月・福山 繭子・平田 岳史・川嶋 大陸・ウォリス サイモン：EBSD 解析のジルコン年代への応用：三波川エクログジャイト中のジルコンに見られる疑似包有物と多段階の変形ステージの認識. 日本地球惑星科学連合 2025 年大会講演要旨 SMP28-13、2025 年 5 月 27 日
- (3) 高橋 慶多・平田 岳史・青矢 睦月・福山 繭子・川嶋 大陸・ウォリス サイモン：三波川帯エクログジャイト中のジルコンに見られる微細変形組織と疑似包有物の発見：顕微鏡写真測量と EBSD 解析に基づく放射年代解釈の新たなアプローチ. 日本鉱物科学会 2025 年年会講演要旨 R8-P-06、2025 年 9 月 10 日
- (4) 青矢 睦月・中村 豊・遠藤 俊祐・端野 晋平・山岡 邦章：中四国-近畿の弥生時代の遺跡に分布する青色片岩製磨製石器（片刃石斧）の原産地推定：地質学的なアプローチ（経過報告）. 日本地質学会第 132 年学術大会講演要旨 T3-P-4. 2025 年 9 月 15 日

古谷 綱崇

- (1) 蔣 景彩・古谷 綱崇・西山 賢一：土石流警戒区域指定の課題についての考察、第 44 回日本自然災害学会学術講演会講演概要集、2025 年 9 月
- (2) 蔣 景彩・古谷 綱崇：土砂災害警戒区域(土石流)指定の最新動向と課題、斜面崩壊と雨の降り方の関係に関するシンポジウム 北九州 2025~豪雨災害の特徴から避難までを考える~、2025 年 11 月 28・29 日

<災害医療研究部門>

西村 明儒

- (1) 伊藤 明日香・梅本 ひとみ・倉田 浩充・主田 英之・徳永 逸夫・井関 博文・吉田 菜々花・吉野 巧望・西村 明儒：低血糖脳症とモノカルボン酸トランスポーターの発見、第 109 次日本法医学会学術全国集会、2025 年 6 月、久留米

- (2) 梅本 ひとみ・伊藤 明日香・倉田 浩充・主田 英之・徳永 逸夫・井関 博文・吉田 菜々花・吉野 巧望・西村 明儒：抗 GFAP 染色を用いた反応性アストロサイト及びクラスマトデンドロシスの死因による発現の相違に関する検討、第 109 次日本法医学会学術全国集会、2025 年 6 月、久留米
- (3) 伊藤 明日香・主田 英之・倉田 浩充・梅本 ひとみ・井関 博文・吉野 巧望・徳永 逸夫・西村 明儒：膀胱出血の 1 剖検例、第 42 回日本法医学会学術中四国地方集会、2025 年 10 月、高松
- (4) 吉野 巧望・伊藤 明日香・主田 英之・倉田 浩充・梅本 ひとみ・井関 博文・徳永 逸夫・西村 明儒：法医解剖症例の脳アミロイド前駆体タンパクの発現、第 42 回日本法医学会学術中四国地方集会、2025 年 10 月、高松

岡久 玲子

- (1) 金井 純子・上白川 沙織・西村 実穂・中野 晋・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：2024 年 8 月南海トラフ地震臨時情報の発表を受けて高齢者施設はどうしたか?、令和 7 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、2025 年 6 月
- (2) 多田 美由貴・上白川 沙織・松下 恭子・岡久 玲子：医療系大学に勤務する教員の大規模災害に対する 防災意識と備えの実態、日本災害看護学会第 27 回年次大会、2025 年 9 月
- (3) 上白川 沙織・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子・金井 純子・中野 晋：南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表時の対応と対策～津波浸水地域に位置する訪問看護事業所への調査、第 56 回日本看護学会学術集会、2025 年 9 月
- (4) 多田 美由貴・岡久 玲子・上白川 沙織・松下 恭子：乳幼児をもつ母親の大規模災害に対する防災意識と備えの実態、第 14 回日本公衆衛生看護学会学術集会、2025 年 12 月

主田 英之

- (1) 伊藤 明日香・梅本 ひとみ・倉田 浩充・主田 英之・徳永 逸夫・井関 博文・吉田 菜々花・吉野 巧望・西村 明儒：低血糖脳症とモノカルボン酸トランスポーターの発現、第 109 次日本法医学会学術全国集会、2025 年 6 月、久留米
- (2) 梅本 ひとみ・伊藤 明日香・倉田 浩充・主田 英之・徳永 逸夫・井関 博文・吉田 菜々花・吉野 巧望・西村 明儒：抗 GFAP 染色を用いた反応性アストロサイト及びクラスマトデンドロシスの死因による発現の相違に関する検討、第 109 次日本法医学会学術全国集会、2025 年 6 月、久留米
- (3) 伊藤 明日香・主田 英之・倉田 浩充・梅本 ひとみ・井関 博文・吉野 巧望・徳永 逸夫・西村 明儒：膀胱出血の 1 剖検例、第 42 回日本法医学会学術中四国地方集会、2025 年 10 月、高松
- (4) 吉野 巧望・伊藤 明日香・主田 英之・倉田 浩充・梅本 ひとみ・井関 博文・徳永 逸夫・西村 明儒：法医解剖症例の脳アミロイド前駆体タンパクの発現、第 42 回日本法医学会学術中四国地方集会、2025 年 10 月、高松

松下 恭子

- (1) 金井 純子・上白川 沙織・西村 実穂・中野 晋・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：2024 年 8 月南海トラフ地震臨時情報の発表を受けて高齢者施設はどうしたか?、令和 7 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、2025 年 6 月
- (2) 多田 美由貴・上白川 沙織・松下 恭子・岡久 玲子：医療系大学に勤務する教員の大規模災害に

対する 防災意識と備えの実態、日本災害看護学会第 27 回年次大会、2025 年 9 月

- (3) 上白川 沙織・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子・金井 純子・中野 晋：南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表時の対応と対策～津波浸水地域に位置する訪問看護事業所への調査、第 56 回日本看護学会学術集会、2025 年 9 月
- (4) 多田 美由貴・岡久 玲子・上白川 沙織・松下 恭子：乳幼児をもつ母親の大規模災害に対する防災意識と備えの実態、第 14 回日本公衆衛生看護学会学術集会、2025 年 12 月
- (5) 藤川 友結・大西 由記・鈴木 希沙・上白川 沙織・松下 恭子：訪問看護ステーションの災害対策における地域連携の現状と課題、令和 7 年度四国公衆衛生研究発表会プログラム、2026 年 2 月

多田 美由貴

- (1) 金井 純子・上白川 沙織・西村 実穂・中野 晋・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：2024 年 8 月南海トラフ地震臨時情報の発表を受けて高齢者施設はどうしたか?、令和 7 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、2025 年 6 月
- (2) 多田 美由貴・上白川 沙織・松下 恭子・岡久 玲子：医療系大学に勤務する教員の大規模災害に対する 防災意識と備えの実態、日本災害看護学会第 27 回年次大会、2025 年 9 月
- (3) 上白川 沙織・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子・金井 純子・中野 晋：南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表時の対応と対策～津波浸水地域に位置する訪問看護事業所への調査、第 56 回日本看護学会学術集会、2025 年 9 月
- (4) 多田 美由貴・岡久 玲子・上白川 沙織・松下 恭子：乳幼児をもつ母親の大規模災害に対する防災意識と備えの実態、第 14 回日本公衆衛生看護学会学術集会、2025 年 12 月

上白川 沙織

- (1) 金井 純子・上白川 沙織・西村 実穂・中野 晋・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：2024 年 8 月南海トラフ地震臨時情報の発表を受けて高齢者施設はどうしたか?、令和 7 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、2025 年 6 月
- (2) 多田 美由貴・上白川 沙織・松下 恭子・岡久 玲子：医療系大学に勤務する教員の大規模災害に対する 防災意識と備えの実態、日本災害看護学会第 27 回年次大会、2025 年 9 月
- (3) 上白川 沙織・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子・金井 純子・中野 晋：南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表時の対応と対策～津波浸水地域に位置する訪問看護事業所への調査、第 56 回日本看護学会学術集会、2025 年 9 月
- (4) 多田 美由貴・岡久 玲子・上白川 沙織・松下 恭子：乳幼児をもつ母親の大規模災害に対する防災意識と備えの実態、第 14 回日本公衆衛生看護学会学術集会、2025 年 12 月
- (5) 藤川 友結・大西 由記・鈴木 希沙・上白川 沙織・松下 恭子：訪問看護ステーションの災害対策における地域連携の現状と課題、令和 7 年度四国公衆衛生研究発表会プログラム、2026 年 2 月

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 富田 聖夢・鎌田 磨人：徳島県那賀川流域における育成林業の展開にともなう人とツキノワグマの関係の変化、第 35 回日本景観生態学会大会（金武町）、2025 年 6 月 21 日

- (2) 戴 帰航・鎌田 磨人：四国および紀伊半島におけるツキノワグマ生息空間としてのブナ科植生の連結性評価、第 35 回日本景観生態学会大会（金武町）、2025 年 6 月 21 日
- (3) PARK MINJU・鎌田 磨人：韓国におけるツキノワグマ導入個体群が利用する森林植生とその連続性評価、第 35 回日本景観生態学会大会（金武町）、2025 年 6 月 21 日
- (4) 鬼久保 浩正・鎌田 磨人：香川県土器川の霞堤が持つ治水および生態的機能に関する予察的考察、第 35 回日本景観生態学会大会（金武町）、2025 年 6 月 21 日
- (5) 伊勢紀・鎌田 磨人：国立公園を起点にした保護区のつながりを探る～環境特性にもとづくネットワークの可視化、第 35 回日本景観生態学会大会（金武町）、2025 年 6 月 21 日
- (6) 森定伸・鎌田磨人：瀬戸内海島嶼群の植生景観を決定づける自然・社会的条件、第 35 回日本景観生態学会大会（金武町）、2025 年 6 月 21 日
- (7) 丹羽 英之・鎌田 磨人：多時期の DSM を用いたマングローブ林のモニタリング方法の開発、第 35 回日本景観生態学会大会（金武町）、2025 年 6 月 21 日
- (8) 長谷川 太一・今井 洋太・宇野 宏司・鎌田 磨人：数値標高モデルを用いた窪地指標の作成と洪水浸水想定区域との関係性評価、第 35 回日本景観生態学会大会（金武町）、2025 年 6 月 21 日
- (9) 須藤 朋美・丹羽 英之・石川 麻衣子・鎌田 磨人・宮園 遼・橋場 友拓・伊東 啓太郎・Ingunn Fjortoft(2025.6.21)：森のようちえんにおける子どもの森林環境の活用-京都市宝ヶ池公園どろんこ園でのアクティビティ調査、第 35 回日本景観生態学会大会（金武町）、2025 年 6 月 21 日
- (10) Kawaguchi Y, Sato T, Onikubo H, Akamatsu A, Nakao R, Yamanaka R, Mori S, Muto Y, Kamada M (2025.10.24) Quantitative environmental DNA metabarcoding reveals fish biodiversity patterns in the lower reaches of Yoshinogawa river basin in Tokushima. 21st Annual Joint Seminar between Korea & Japan on Ecological Engineering (Gifu, Japan)、2025 年 10 月 24 日
- (11) 鎌田 磨人：都市に残された里山が創発する多元的活動、シンポジウム「森林サービス産業を批判的に検討するー森林・林業の価値の視点から」、第 137 回日本森林学会大会（つくば市）、2026 年 3 月 18 日

上月 康則

- (1) 酒井 孟・上月 康則・都 美穂・青木 信利・斎藤 稔・坂東 知明：簡易魚道に設置した呼び水の効果に関する現地調査、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (2) 山本 来実・山中 亮一・森田 椋也・尾幡 厚志郎・竹内 隆太郎・梅田 倭和・上月 康則・松重 摩耶：神山町水質浄化池でのガマを活用した浄化筏の検討について、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (3) 武智 匡城・尾幡 厚志郎・山中 亮一・鮎川 和泰・上月 康則・松重 摩耶・石黒 由梨：尼崎運河での植物プランクトンの優占性の遷移について、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (4) 庄司 千夏良・本原 将吾・上月 康則・山中 亮一・松尾 優輝・羽崎 圭吾・河邊 咲葵・松重 摩耶：尼崎運河でのヨシ筏を上部につけたロープ魚礁への生物増集効果について、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日

- (5) 岩崎 玄・山中 亮一・三村 毅人・板東 尚吾・松重 摩耶・上月 康則・竹内 隆太郎・桶川 博
教：大里松原での 2019 年台風 19 号高潮による植生変化について、土木学会四国支部技術研究
発表会、2025 年 6 月 7 日
- (6) 羽崎 圭吾・本原 将吾・上月 康則・山中 亮一・松尾 優輝・松重 摩耶・石黒 由梨：尼崎運河での
ライブソナーを用いた夜間の魚類調査、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (7) 河邊 咲葵・上月 康則・大谷 壮介・糸谷 謙一・本原 将吾・羽崎 圭吾・庄司 千夏良・上村 了
美・魚谷 貴秀・山中 亮一・松重 摩耶：兵庫運河の 3 つの干潟に生息するアサリの現存量に関
する現地調査、瀬戸内海研究フォーラム in 香川、2025 年 9 月 8 日
- (8) 酒井 孟・上月 康則・齋藤 稔・青木 信利：都市感潮河川の潮止堰への魚道構造に関する現地実
験、第 72 回海岸工学講演会、2025 年 11 月 27 日

渡辺 公次郎

- (1) 小畠 直将・渡辺 公次郎：ゲーム技術を活用したまちづくり支援の可能性に関する研究、土木学
会四国支部第 31 回技術研究発表会梗概集、2025 年 6 月
- (2) 岩佐 和磨・渡辺 公次郎：西日本豪雨災害の被災地における人口変化の特徴に関する研究、真備地区・
大洲市中心地区を対象にして、土木学会四国支部第 31 回技術研究発表会梗概集、2025 年 6 月
- (3) 渡辺 公次郎：平成 30 年 7 月豪雨の被災地における人口変化に関する研究 真備地区・大洲地区に
おけるケーススタディ、日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1、55-56、2025 年 9 月
- (4) 坂東 武・渡辺 公次郎：四国の都市施設整備と都市活動の関連に関する研究、日本環境共生学会
第 28 回学術大会発表論文集、41-42、2025 年 9 月
- (5) 玉有 朋子・渡辺 公次郎：認知症共生社会に向けたアイデア発想ワークショップにおける事例の
表現方法に関する研究、日本環境共生学会第 28 回学術大会発表論文集、49-50、2025 年 9 月
- (6) Tseren-Ochir Purevjargal and Kojiro WATANABE：Population Change Analysis in a Regional
Japanese City Through Machine Learning, 14th International Symposium on Computer Science
and Educational Technology (ISCSET 2025), Online, 2025 年 9 月
- (7) 小畠 直将・渡辺 公次郎：3 次元モデルを活用したまちづくりワークショップでの効果分析、第
19 回四国 GIS シンポジウム、2026 年 3 月
- (8) 岩佐 和磨・渡辺 公次郎：都市計画区域における線引きの有無が世帯数変化に与える影響分析と
土地利用計画に関する研究、第 19 回四国 GIS シンポジウム、2026 年 3 月
- (9) Tseren-Ochir Purevjargal and Kojiro WATANABE：Population change analysis in Tokushima
urban area for disaster mitigation land use planning, 19th Shikoku GIS symposium, 2026
年 3 月
- (10) 玉有 朋子・渡辺 公次郎：グラフィックを活用したワークショップにおける事例の理解とアイデ
ア発想の特徴、日本教育工学会 2026 年春季全国大会講演論文集、553-554、2026 年 3 月

松重 摩耶

- (1) 山本 来実・山中 亮一・森田 棕也・尾幡 厚志郎・竹内 隆太郎・梅田 倭和・上月 康則・松重 摩耶：神山町水質浄化池でのガマを活用した浄化筏の検討について、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (2) 武智 匡城・尾幡 厚志郎・山中 亮一・鮎川 和泰・上月 康則・松重 摩耶・石黒 由梨：尼崎運河での植物プランクトンの優占性の遷移について、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (3) 庄司 千夏良・本原 将吾・上月 康則・山中 亮一・松尾 優輝・羽崎 圭吾・河邊 咲葵・松重 摩耶：尼崎運河でのヨシ筏を上部につけたロープ魚礁への生物蛸集効果について、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (4) 岩崎 玄・山中 亮一・三村 毅人・板東 尚吾・松重 摩耶・上月 康則・竹内 隆太郎・桶川 博教：大里松原での 2019 年台風 19 号高潮による植生変化について、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (5) 羽崎 圭吾・本原 将吾・上月 康則・山中 亮一・松尾 優輝・松重 摩耶・石黒 由梨：尼崎運河でのライブソナーを用いた夜間の魚類調査、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (6) 河邊 咲葵・上月 康則・大谷 壮介・糸谷 謙一・本原 将吾・羽崎 圭吾・庄司 千夏良・上村 了美・魚谷 貴秀・山中 亮一・松重 摩耶：兵庫運河の 3 つの干潟に生息するアサリの現存量に関する現地調査、瀬戸内海研究フォーラム in 香川、2025 年 9 月 8 日

中西 敬

- (1) Tomohiro Yasuda, Takashi Nakanishi, Ryoichi Yamanaka and Hiroshi Matsushita : INVESTIGATION OF FAVORABLE ENVIRONMENTAL FACTORS FOR CORAL HABITAT CONDITIONS BASED ON CONTINUOUS FIELD SURVEY AT ARTIFICIAL REEF, COASTAL DYNAMICS 2025, 7-11 April, Aveiro, Portugal

古川 恵太

- (1) 古川 恵太：360 度カメラによる水中動画を用いた生態系評価の試み、土木学会四国支部、福森 太一・山中 亮一・糸谷 謙一・古川 恵太・遠藤 徹、2025 年 6 月
- (2) 古川 恵太：デジタルツインプラットフォーム構築への市民参画、日本沿岸域学会、古川 恵太・岡田 知也・菊地 淳・嘉藤 亮・見島 伊織・石井 裕一・東 博紀、2025 年 7 月

西田 貴明

- (1) 上杉 瑠架・張 浩東・三鬼 裕泰郎・御手洗 彰・西田 貴明・棟方 渚：多地点カメラ映像を用いた屋外イベントの人流分析～モバイルアプリによる人流の粗密制御に向けて～、観光情報学会、第 21 回全国大会、京都市・京都橘大学、2025 年 6 月 28 日
- (2) 鈴木 敏弘・中村 圭吾・和田 彰・村上 暁信・西田 貴明：自治体を対象としたグリーンインフラ認証制度について、応用生態工学会第 28 回新潟大会、新潟県新潟市・新潟大学五十嵐キャンパス、ポスター発表、2025 年 9 月 11 日
- (3) 池ヶ谷 咲妃・西田 貴明：三重県いなべ市の伝統的水利施設「マンボ」が水生生物に与える影響、

応用生態工学会第 28 回新潟大会、新潟県新潟市・新潟大学五十嵐キャンパス、ポスター発表、2025 年 9 月 11 日

- (4) 西田 貴明：ネイチャーポジティブ・NbS の社会動向と本イベントの狙い、個体群生態学会生態学を起点としたネイチャーポジティブ・NbS の社会実装研究の展開、第 41 回個体群生態学会大会、同志社大学寒梅館、2025 年 9 月 15 日
- (5) 池ヶ谷 咲妃・西田 貴明：三重県いなべ市の伝統的水利施設「マンボ」は地域の生物多様性を支えるグリーンインフラか？、グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン 2026 全国大会、東京都・東京ビッグサイト、ポスター発表、2026 年 1 月 29 日
- (6) 富岡 瑠加・西田 貴明：森林環境譲与税の自治体特性に応じた活用の傾向分析 ―近畿 226 市町村の定量分析に基づく 4 類型化と意思決定プロセスの解明―、グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン 2026 全国大会、東京都・東京ビッグサイト、ポスター発表、2026 年 1 月 29 日
- (7) 奥戸 祐貴・西田 貴明：三重県竜ヶ岳における植物に配慮した登山行動を促す情報発信の手法 グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン 2026 全国大会、東京都・東京ビッグサイト、ポスター発表、2026 年 1 月 29 日
- (8) 三鬼 裕泰郎・西田 貴明：Web アプリケーションを用いたナッジ介入による自然との関わり促進効果の検証 グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン 2026 全国大会、東京都・東京ビッグサイト、ポスター発表、2026 年 1 月 29 日
- (9) 松尾 彩子・西田 貴明：グリーンインフラ商業施設（三重県いなべ市にぎわいの森）における利用者の主観的ウェルビーイングと行動の特性グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン 2025 全国大会、東京都・東京ビッグサイト、ポスター発表、2026 年 1 月 29 日
- (10) 西田 貴明、モバイルアプリによるグリーンインフラ市民参画：データ・技術から進めるグリーンインフラの実践、グリーンインフラ産業展 2026、東京都・東京ビッグサイト、口頭発表、2026 年 1 月 29 日

大谷 壮介

- (1) Yoshihisa Hayashi, Taketoshi Kusakabe, Sosuke Otani: Biodegradability of Water-Extracted Organic Matter from the Soil of an Abandoned Forest in the Lake Biwa-Yodo River Basin, Japan, #217, Brisbane, Australia, 2025
- (2) Tatsuya Ozaki, Rikuto Honda, Risa Hayashi, Hiroshi Koba, Ryo Sugimoto, Sosuke Otani, Tomohiro Komorita: Primary production of microphytobenthos enhanced by submarine groundwater discharge (SGD): comparison between muddy and sandy tidal flats, The North Pacific Marine Science Organization (PICES), BIO-P, Oral, AbstractID=18370, Yokohama, Japan, 2025
- (3) 尾崎 竜也・本田 陸斗・林 莉紗・木庭 博・杉本 亮・大谷 壮介・小森田 智大：干出時において海底湧水が向上させる底生微細藻類の基礎生産量：砂質干潟と泥質干潟の比較、日本地球惑星科学連合 2025 年大会、ACG53-04、2025 年 5 月 28 日
- (4) 上村 了美・大谷 壮介 (2025)：兵庫運河の人工干潟におけるウミユナ類の個体群動態と水質浄化機能、第 32 回瀬戸内海研究フォーラム in 香川、No. 8、2025 年 9 月 8・9 日
- (5) 伊達 晃平・仲宗 根陸斗・上村 了美・平井 研・霜鳥 孝一・大谷 壮介：大阪湾湾奥に造成された

人工浅場の19年後の水質浄化機能、第32回瀬戸内海研究フォーラム in 香川、No. 9、2025年9月8・9日

- (6) 河邊 咲葵・上月 康則・大谷 壮介・糸谷 謙一・本原 将吾・羽崎 圭吾・庄司 千夏良・上村 了美・魚谷 貴秀・山中 亮一・松重 摩耶：兵庫運河の3つの干潟に生息するアサリの現存量に関する現地調査、第32回瀬戸内海研究フォーラム in 香川、No. 13、2025年9月8・9日
- (7) 大谷 壮介・松重摩耶・上月康則：尼崎港における気候変動と貧栄養化に伴う付着動物の長期的変化、2025年日本プランクトン学会・日本ベントス学会・合同大会、BP70、2025年9月9～12日
- (8) 尾崎 竜也・本田 陸斗・林 莉紗・木庭 博・杉本 亮・大谷 壮介・小森田 智大：河口干潟における海底湧水と堆積物構造が制御する干出時の底生微細藻類の基礎生産量、2025年日本プランクトン学会・日本ベントス学会・合同大会、B026、2025年9月9～12日
- (9) 霜鳥 孝一・平井 研・大谷 壮介：大阪湾奥の人工干潟における底泥酸素消費量、日本陸水学会第89回大会、0-C25、2025年9月25～28日
- (10) 上村 了美・大谷 壮介・霜鳥 孝一・平井 研：大阪湾沿岸域の微生物群集が持つ堆積有機物の分解能の季節変動、第73回日本生態学会大会、P2-234、2026年3月11～15日

<環境研究部門／危機管理研究部門>

山中 亮一

- (1) Toru Endo, Mutsuki Hashimoto, Shunsuke Ura, Ryhoichi Yamanaka, Yasunori Kozuki. Spatial Distribution and Habitat Potential of Artificial Coastal Structures in Osaka Bay, 39th International Conference on Coastal Engineering. Galveston, Texas, May 17-22, 2026.
- (2) 安原 愛翔・山中 亮一・桶川 博教・坂東 尚吾・中川 頌将・上月 康則・松重 摩耶：CSHORE による2019年台風19号高潮時の海浜変形評価の試み、土木学会四国支部技術研究発表会、2025年6月7日
- (3) 西部 大志・上月 康則・松重 摩耶・松家 茉莉子・安藤 青空・山中 亮一：中間支援組織の機能と災害への展開について、土木学会四国支部技術研究発表会、2025年6月7日
- (4) Yamanaka Ryoichi, Umeda Kowa, Kozuki Yasunori, Matsushige Maya, Obata Koshiro, Ayukawa Kazuhiro, Ishiguro Yuri, Toda Ryosuke. Changes in Water Quality due to Saltwater Intrusion in the Amagasaki Canal, Japan. The 35th edition of the International Ocean and Polar Engineering Conference. Goyang, Korea, Jun 1-6, 2025.
- (5) Ryutaro Takeuchi, Ryoichi Yamanaka, Yasunori Kozuki, Maya Matsushige, Yuri Ishiguro. A Study of the Migration of Aythya Ferina in the Amagasaki Canal, Japan. The 35th edition of the International Ocean and Polar Engineering Conference. Goyang, Korea, Jun 1-6, 2025
- (6) 武智 匡城・尾幡 厚志郎・山中 亮一・鮎川 和泰・上月 康則・松重 摩耶・石黒 由梨：尼崎運河での植物プランクトンの優占性の遷移について、令和7年度土木学会四国支部第31回技術研究発表会、愛媛大学城北キャンパス、2025年6月7日
- (7) 福森 太一・山中 亮一・糸谷 謙一・古川 恵太・遠藤 徹：360度カメラによる水中動画を用いた生態系評価の試み、土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、2025、令和7年度土木学会四国支部第31回技術研究発表会、愛媛大学城北キャンパス、2025年6月7日

- (8) 羽崎 圭吾・本原 将吾・上月 康則・山中 亮一・松尾 優輝・松重 摩耶・石黒 由梨：尼崎運河でのライブソナーを用いた夜間の魚類調査、土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、2025、令和7年度土木学会四国支部第31回技術研究発表会、愛媛大学城北キャンパス、2025年6月7日
- (9) 庄司 千夏良・本原 将吾・上月 康則・山中 亮一・松尾 優輝・羽崎 圭吾・河邊 咲葵・松重 摩耶：尼崎運河でのヨシ筏を上部につけたロープ漁礁への生物増集効果について、令和7年度土木学会四国支部第31回技術研究発表会、愛媛大学城北キャンパス、2025年6月7日
- (10) 本原 将吾・上月 康則・羽崎 圭吾・齋藤 稔・松尾 優輝・山中 亮一・松重 摩耶・石黒 由梨：ライブソナーを用いた尼崎運河での夜間の魚類行動観察に関する基礎的な研究、第50回海洋開発シンポジウム、ウイंकあいち、2025年6月20日～7月2日
- (11) 尾幡 厚志郎・山中 亮一・鮎川 和泰・上月 康則・松重 摩耶・石黒 由梨・戸田 涼介：尼崎運河での冬期における植物プランクトン種の遷移と水質との関係、土木学会海岸工学講演会2025、高松、2025年11月26～28日
- (12) 酒井 孟・上月 康則・齋藤 稔・青木 信利・都 美穂・坂東 知明・山中 亮一・松重 摩耶：都市感潮河川の潮止堰への魚道構造に関する現地実験、土木学会海岸工学講演会2025、高松、2025年11月26～28日
- (13) 上月 康則・小山 翔太郎・松重 摩耶・塚田 義典・梅原 喜政・井若 和久・山中 亮一：徳島県沿岸域の7地区におけるコンクリート・ブロック塀の悉皆調査結果について、令和7年度自然災害フォーラム&第20回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025年12月18日
- (14) 上月 康則・西部 大志・井若 和久・谷村 一将・中津川 潤弥・松重 摩耶・松家 茉莉子・山中 亮一：徳島県における官民連携による被災者支援ネットワーク形成の状況について、令和7年度自然災害フォーラム&第20回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025年12月18日
- (15) 麻生 大勝・松重 摩耶・上月 康則・山中 亮一：徳島大学避難所開設キットへの配慮項目とその効果について、令和7年度SPOD共催事業、第21回大学教育カンファレンス in 徳島、2025年12月26日

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) 松下 誠・小川 宏樹：空き家問題の解決に向けた地域内譲渡・寄付モデルの研究 ―和歌山県における事例研究―、第23回日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集、Vol.23、pp.82-84、大阪公立大学(大阪市)、2025年7月26日
- (2) 福地 海都・小川 宏樹・金井 純子：土地利用計画を援用した公共施設の総合管理のスキームに関する研究、日本建築学会学術講演梗概集、2025年度大会(九州)、都市計画、pp.355-356、九州大学(福岡市)、2025年9月11日
- (3) 池田 風雅・小川 宏樹・金井 純子：アフォーダブル住宅の普及に向けた住宅政策に関する研究・その1 -Shane Phillipsの「The Affordable City」から-、2025年度大会(九州)、都市計画、pp.409-410、九州大学(福岡市)、2025年9月12日
- (4) 池下 昇也・小川 宏樹・金井 純子：アフォーダブル住宅の普及に向けた住宅政策に関する研究・その2 -日米の住宅政策比較-、2025年度大会(九州)、都市計画、pp.411-412、九州大学(福岡市)、2025年9月12日

- (5) 古賀 航成・小川 宏樹・金井 純子：流通困難空き家の無償・低額譲渡に関する公的制度、2025 年度大会(九州)、都市計画、pp. 637-638、九州大学(福岡市)、2025 年 9 月 12 日
- (6) 池下 昇也・小川 宏樹・金井 純子：リノベーションまちづくり地域の周辺における土地利用の変化に関する研究、第 26 号、pp. 130-131、高知工科大学(香美市)、2026 年 3 月 7 日
- (7) 池田 風雅・小川 宏樹・金井 純子：地方自治体における空き家コーディネーター制度を用いた流通支援に関する研究、第 26 号、pp. 132-133、高知工科大学(香美市)、2026 年 3 月 7 日

上月 康則

- (1) 安原 愛翔・山中 亮一・桶川 博教・坂東 尚吾・中川 頌将・上月 康則・松重 摩耶：CSHORE による 2019 年台風 19 号高潮時の海浜変形評価の試み、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (2) 梅原 喜政・塚田 義典・中原 匡哉・多田 豊・上月 康則・安藤 ゆかり：センシングデータを活用した応急危険度判定及び住家の被害認定調査の支援に関する構想研究、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (3) 西部 大志・上月 康則・松重 摩耶・松家 茉莉子・安藤 青空・山中 亮一：中間支援組織の機能と災害への展開について、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (4) 松重 摩耶・上月 康則：地域防災の視点で見た防災ゲームの動向と特徴、～リスクコミュニケーションツールとしての可能性～、防災教育学会、2025 年 6 月 14・15 日
- (5) 松重 摩耶・湯浅 恭史・上月 康則、徳島大学防災サークルの取り組みとその波及効果、SPOD フォーラム in 徳島、2025 年 8 月 27 日
- (6) 湯浅 恭史・松重 摩耶・上月 康則・有賀なぎさ：徳島大学での防災ワークショップの実践～想定外をなくすために～、令和 7 年度自然災害フォーラム&第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025 年 12 月 18 日
- (7) 松重 摩耶・湯浅 恭史・上月 康則・佐藤 健一郎・有賀 なぎさ：徳島大学における災害対策総合訓練の実効性向上の試み、令和 7 年度自然災害フォーラム&第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025 年 12 月 18 日
- (8) 多田 豊・杉森 太一・小坂 真叶・森脇 亮・塚田 義典・梅原 喜政・中原 匡哉・上月 康則・安藤 ゆかり：避難時間と危険性のジレンマに関する地域住民意識～スマートハザードマップ 1.5 阿南市橘町版の開発と試行～、令和 7 年度自然災害フォーラム&第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025 年 12 月 18 日
- (9) 上月 康則・小山 翔太郎・松重 摩耶・塚田 義典・梅原 喜政・井若 和久・山中 亮一：徳島県沿岸域の 7 地区におけるコンクリート・ブロック塀の悉皆調査結果について、令和 7 年度自然災害フォーラム&第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025 年 12 月 18 日
- (10) 上月 康則・西部 大志・井若 和久・谷村 一将・中津川 潤弥・松重 摩耶・松家 茉莉子・山中 亮一：徳島県における官民連携による被災者支援ネットワーク形成の状況について、令和 7 年度自然災害フォーラム&第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025 年 12 月 18 日
- (11) 麻生 大勝・松重 摩耶・上月 康則・山中 亮一：徳島大学避難所開設キットへの配慮項目とその効果について、令和 7 年度 SPOD 共催事業、第 21 回大学教育カンファレンス in 徳島、2025 年 12 月 26 日

光原 弘幸

- (1) Hiroyuki Mitsuhashi, Ryoichi Yamanaka, Maya Matsushige, and Yasunori Kozuki, Using, “3D Point Cloud Data from a Disaster-Devastated Area for Disaster Education”, Proc. of 25th IEEE International Conference on Advanced Learning Technologies (ICALT2025), pp.279-280, 2025
- (2) 中山 温加・光原 弘幸：“非常用持ち出し袋の作成に焦点を当てた防災シリアスゲーム”、信学技報（電子情報通信学会・教育工学研究会）、高知大学、Vol. 125、No. 196、pp. 27-34、2025 年 10 月 4 日
- (3) 岩本 陽・光原 弘幸：“負傷・死亡表現を取り入れた避難訓練 VR の試作”、信学技報（電子情報通信学会・教育工学研究会）、高知大学、Vol. 125、No. 196、pp. 35-42、2025 年 10 月 4 日
- (4) 小林 周・光原 弘幸：“混雑した避難所を疑似体験可能な没入型 VR システム”、信学技報（電子情報通信学会・教育工学研究会）、高知大学、Vol. 125、No. 196、pp. 43-50、2025 年 10 月 4 日
- (5) 岸浜 新・光原 弘幸：“3D 都市モデルを用いた広域避難訓練 VR とその予備実験”、信学技報（電子情報通信学会・教育工学研究会）、高知大学、Vol. 125、No. 196、pp. 51-58、2025 年 10 月 4 日
- (6) 中崎 陽介・光原 弘幸：“防災教育を指向した AR による津波挙動の可視化”、信学技報（電子情報通信学会・教育工学研究会）、高知大学、Vol. 125、No. 196、pp. 59-66、2025 年 10 月 4 日

湯浅 恭史

- (1) 湯浅 恭史・松重 摩耶・上月 康則：大規模災害における大学の安全配慮義務についての考察、SPOD フォーラム 2025、2025 年 8 月
- (2) 松重 摩耶・湯浅 恭史・上月 康則：徳島大学防災サークルの取り組みとその波及効果、SPOD フォーラム in 徳島、2025 年 8 月 27 日
- (3) 湯浅 恭史・松重 摩耶・上月 康則・有賀 なぎさ：徳島大学での防災ワークショップの実践～想定外をなくすために～、令和 7 年度自然災害フォーラム&第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025 年 12 月 18 日
- (4) 松重 摩耶・湯浅 恭史・上月 康則・佐藤 健一郎・有賀 なぎさ：徳島大学における災害対策総合訓練の実効性向上の試み、令和 7 年度自然災害フォーラム&第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025 年 12 月 18 日
- (5) 甲田 習人・蔭 景彩・湯浅 恭史：数値解析による土砂災害警戒区域（土石流）の検討、第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2025 年 12 月 18 日
- (6) 門屋 慶太郎・蔭 景彩・湯浅 恭史：四国の水道施設における地震に対する安心度指標の研究、第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2025 年 12 月 18 日
- (7) 蔭 景彩・大上 侑真・湯浅 恭史：雨量指標 R' を用いた土石流発生基準に関する検討—火山噴出岩地質の場合—、令和 7 年度自然災害フォーラム&第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松市、2025 年 12 月 18 日
- (8) 湯浅 恭史：地域の復旧・復興から考える病院 BCP と地域連携、第 31 回日本災害医学会学術集会、2026 年 3 月

金井 純子

- (1) 金井 純子・上白川 沙織・西村 実穂・中野 晋・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：2024 年 8 月南海トラフ地震臨時情報の発表を受けて高齢者施設はどうしたか?、令和 7 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、2025 年 6 月
- (2) 友成 紗綾・金井 純子・小川 宏樹：児童館を対象にした災害時における子どもの居場所(CFS)に関する研究、令和 7 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、2025 年 6 月
- (3) 大畠 涼太郎・金井 純子・小川 宏樹：災害時における道の駅の運営実態とネットワーク構築に向けた研究 ～令和 6 年能登半島地震を事例として～、令和 7 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、2025 年 6 月
- (4) 八杉 龍志・金井 純子・小川 宏樹：避難所運営訓練の取り組み状況から見た避難所 DX 導入の課題 ～徳島市を事例として～、令和 7 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、2025 年 6 月
- (5) 花岡 仁志・金井 純子・小川 宏樹：四国八十八か所霊場の台風被害の現状と課題に関する研究、令和 7 年度土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集、2025 年 6 月
- (6) 福地 海都・小川 宏樹・金井 純子：土地利用計画を援用した公共施設の総合管理のスキームに関する研究、日本建築学会学術講演梗概集、2025 年度大会(九州)、都市計画、pp. 355-356、九州大学(福岡市)、2025 年 9 月 11 日
- (7) 池田 風雅・小川 宏樹・金井 純子：アフォーダブル住宅の普及に向けた住宅政策に関する研究・その 1 -Shane Phillips の「The Affordable City」から-、2025 年度大会(九州)、都市計画、pp. 409-410、九州大学(福岡市)、2025 年 9 月 12 日
- (8) 池下 昇也・小川 宏樹・金井 純子：アフォーダブル住宅の普及に向けた住宅政策に関する研究・その 2 -日米の住宅政策比較-、2025 年度大会(九州)、都市計画、pp. 411-412、九州大学(福岡市)、2025 年 9 月 12 日
- (9) 古賀 航成・小川 宏樹・金井 純子：流通困難空き家の無償・低額譲渡に関する公的制度、2025 年度大会(九州)、都市計画、pp. 637-638、九州大学(福岡市)、2025 年 9 月 12 日
- (10) 中野 晋・金井 純子・川瀬 公美子：令和 6 年能登半島地震における七尾市の公立学校の学校再開、日本安全教育学会第 26 回岩手大会予稿集、58-59、2025 年 9 月
- (11) 上白川 沙織・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子・金井 純子・中野 晋：南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表時の対応と対策一津波浸水地域に位置する訪問看護事業所への調査、第 56 回日本看護学会学術集会、2025 年 9 月
- (12) 池下 昇也・小川 宏樹・金井 純子：リノベーションまちづくり地域の周辺における土地利用の変化に関する研究、第 26 号、pp. 130-131、高知工科大学(香美市)、2026 年 3 月 7 日
- (13) 池田 風雅・小川 宏樹・金井 純子：地方自治体における空き家コーディネーター制度を用いた流通支援に関する研究、第 26 号、pp. 132-133、高知工科大学(香美市)、2026 年 3 月 7 日

松重 摩耶

- (1) 安原 愛翔・山中 亮一・桶川 博教・坂東 尚吾・中川 頌将・上月 康則・松重 摩耶：CSHORE による 2019 年台風 19 号高潮時の海浜変形評価の試み、土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月 7 日
- (2) 梅原 喜政、塚田 義典、中原 匡哉、多田 豊、上月 康則、安藤 ゆかり：センシングデータを活用

した応急危険度判定及び住家の被害認定調査の支援に関する構想研究、土木学会四国支部技術研究発表会、2025年6月7日

- (3) 西部 大志・上月 康則・松重 摩耶・松家 茉莉子・安藤 青空・山中 亮一：中間支援組織の機能と災害への展開について、土木学会四国支部技術研究発表会、2025年6月7日
- (4) 松重 摩耶・上月 康則：地域防災の視点で見た防災ゲームの動向と特徴、～リスクコミュニケーションツールとしての可能性～、防災教育学会、2025年6月14・15日
- (5) 松重 摩耶・湯浅 恭史・上月 康則：徳島大学防災サークルの取り組みとその波及効果、SPOD フォーラム in 徳島、2025年8月27日
- (6) 湯浅 恭史・松重 摩耶・上月 康則・有賀 なぎさ：徳島大学での防災ワークショップの実践～想定外をなくすために～、令和7年度自然災害フォーラム&第20回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025年12月18日
- (7) 松重 摩耶・湯浅 恭史・上月 康則・佐藤 健一郎・有賀 なぎさ：徳島大学における災害対策総合訓練の実効性向上の試み、令和7年度自然災害フォーラム&第20回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025年12月18日
- (8) 多田 豊、杉森 太一、小坂 真叶、森脇 亮、塚田 義典、梅原 喜政、中原 匡哉、上月 康則、安藤 ゆかり：避難時間と危険性のジレンマに関する地域住民意識～スマートハザードマップ1.5 阿南市橘町版の開発と試行～、令和7年度自然災害フォーラム&第20回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025年12月18日
- (9) 上月 康則・小山 翔太郎・松重 摩耶・塚田 義典・梅原 喜政・井若 和久・山中 亮一：徳島県沿岸域の7地区におけるコンクリート・ブロック塀の悉皆調査結果について、令和7年度自然災害フォーラム&第20回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025年12月18日
- (10) 上月 康則・西部 大志・井若 和久・谷村 一将・中津川 潤弥・松重 摩耶・松家 茉莉子・山中 亮一：徳島県における官民連携による被災者支援ネットワーク形成の状況について、令和7年度自然災害フォーラム&第20回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025年12月18日
- (11) 麻生 大勝・松重 摩耶・上月 康則・山中 亮一：徳島大学避難所開設キットへの配慮項目とその効果について、令和7年度 SPOD 共催事業、第21回大学教育カンファレンス in 徳島、2025年12月26日

井若 和久

- (1) 上月 康則・小山 翔太郎・松重 摩耶・塚田 義典・梅原 喜政・井若 和久・山中 亮一：徳島県沿岸域の7地区におけるコンクリート・ブロック塀の悉皆調査結果について、令和7年度自然災害フォーラム&第20回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025年12月18日
- (2) 上月 康則・西部 大志・井若 和久・谷村 一将・中津川 潤弥・松重 摩耶・松家 茉莉子・山中 亮一：徳島県における官民連携による被災者支援ネットワーク形成の状況について、令和7年度自然災害フォーラム&第20回南海地震四国地域学術シンポジウム、高松、2025年12月18日

中野 晋

- (1) 西村 実穂・中野 晋：令和6年能登半島地震において被災した石川県輪島市・珠洲市の保育施設の保育継続における課題、日本保育学会第78回大会、2025年5月

- (2) 西村 実穂・中野 晋：東京都足立区内における保育施設の水害発生時の対応、第 56 回地域安全学会研究発表会、2025 年 5 月
- (3) 中野 晋・西村 実穂、徳島県内の保育施設を対象とした水害発生時の対応に関するアンケート調査、第 56 回地域安全学会研究発表会、2025 年 5 月
- (4) 中野 晋・西村 実穂・徳永 雅彦：輪島市における能登半島地震からの学校再開、令和 7 年度土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月
- (5) 徳永 雅彦・中野 晋・長尾 一樹：令和 6 年能登半島地震における輪島市町野地区の被害とその対応、令和 7 年度土木学会四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月
- (6) 金井 純子・中野 晋・蔣 景彩・山崎 健司・西村 実穂・徳永 雅彦・樫本 誠一・渡辺 一也：令和 5 年秋田豪雨による五城目町の浸水被害と高齢者施設における法人間連携の有効性、2025 年度・河川技術シンポジウム、2025 年 5 月
- (7) 西村 実穂・中野 晋・金井 純子：令和 6 年能登半島地震発生後の石川県内の院内保育所の対応 ～災害時の医療提供体制を支える保育の役割～、第 52 回医療研究全国集会、第 10 分科会「わたしたちが大切にしたい保育～院内保育所のあり方～」、2025 年 6 月
- (8) 中野 晋・西村 実穂・徳永 雅彦：輪島市における学校施設の地震被害と教育継続、2025 年 9 月
- (9) 徳永 雅彦・中野 晋・長尾 一樹：孤立地区の建設会社の能登半島地震時緊急対応～輪島市町野地区の事例から～、第 45 回土木学会地震工学研究発表会、2025 年 9 月
- (10) 中野 晋・金井 純子・川瀬 公美子：令和 6 年能登半島地震における七尾市の公立学校の学校再開、日本安全教育学会第 26 回岩手大会、2025 年 9 月
- (11) 中野 晋・徳永 雅彦・廣瀬 幸佑：体験談等と氾濫解析による徳島県北部市街地の第二室戸台風被害の実態分析、第 72 回海岸工学講演会、2025 年 11 月
- (12) 中野 晋・金井 純子・西村 実穂・川瀬 公美子・越智 亮太・岡本 凌：石川県能登町の公立学校の地震被害と教育継続、第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2025 年 12 月
- (13) 西村 実穂・中野 晋・金井 純子・川瀬 公美子・越智 亮太・岡本 凌：令和 6 年能登半島地震による石川県能登町の保育施設の被害と保育継続、第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2025 年 12 月
- (14) 西村 実穂・中野 晋、徳永 雅彦：令和 6 年能登半島地震による石川県志賀町、輪島市の保育施設の被害と保育継続、第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2025 年 12 月
- (15) 徳永 雅彦・中野 晋：令和 6 年能登半島地震における石川県測量設計業協会の対応について、第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2025 年 12 月
- (16) 徳永 雅彦・中野 晋：令和 6 年能登半島地震における石川県建設業協会の対応について、第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2025 年 12 月
- (17) 金井 純子・上白川 沙織・西村 実穂・中野 晋・多田 美由貴・松下 恭子・岡久 玲子：2024 年 8 月の南海トラフ地震臨時情報発表後の高齢者施設の対応と事前避難の課題、第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2025 年 12 月

宇野 宏司

- (1) 宇野 宏司・藤原 真優：兵庫県内の近代歴史遺産の自然災害被災リスク検証と今後の保全活用に向けた防災・減災対策の現状と課題、神戸高専研究紀要、Vol. 64、2026 年

- (2) 宇野 宏司・尾上 由紀乃：工業高校における防災減災教育の現状と課題、令和 7 年度自然災害フォーラム&第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム論文集、2 頁、2025 年
- (3) 松本 礼都・宇野 宏司：土地利用の変遷による流出形態変化に関する基礎的研究 ―神戸市福田川を例に―、2025 年度 関西土木工学交流発表会講演概要集、2 頁、2025 年
- (4) 宇野 宏司・三尾 春奈：特別支援学校における防災減災教育の現状と課題、第 44 回日本自然学会学術講演会講演概要集、2 頁、2025 年
- (5) 宇野 宏司・北村 春乃：兵庫県沿岸域におけるネイチャーポジティブ推進適性地の空間的特徴、第 37 回日本沿岸域学会研究討論会講演概要集、2 頁、2025 年
- (6) 宇野 宏司・北村 春乃：ハザードマップを活用したネイチャーポジティブ推進適性抽出方法の提案、令和 7 年度土木学会全国大会第 79 回年次学術講演会講演概要集、VII-20 頁、2025 年
- (7) 宇野 宏司：地域の理科系教員との交流：ファラデーラボでの活動を通じて、日本高専学会 第 31 回年会講演会講演概要集 (USB)、2p、2025 年
- (8) 宇野 宏司：ポストコロナ禍のみなとオアシスにおける BCP 策定に向けた現状と課題、地域安全学会梗概集 No. 56、190-191 頁、2025 年
- (9) 宇野 宏司・藤間 明来：里山ため池における酸素消費速度の実験的検討、神戸高専研究紀要、Vol. 63、pp. 4-9、2025 年

坂東 淳

- (1) 坂東 淳：防災・危機管理部門から見た部局間の情報連携体制の現状と課題、日本災害医学会第 30 回学術集会、2026 年 3 月 19 日

徳永 雅彦

- (1) 徳永 雅彦・中野 晋・長尾 一樹：令和 6 年能登半島地震における輪島市町野地区の被害と対応、令和 7 年度第 31 回四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月
- (2) 中野 晋・西村 実穂・徳永 雅彦：輪島市における能登半島地震からの学校再開、令和 7 年度第 31 回四国支部技術研究発表会、2025 年 6 月
- (3) 徳永 雅彦・中野 晋・長尾 一樹：孤立地区の建設会社の能登半島地震時緊急対応～輪島市町野地区の事例から、第 45 回地震工学研究発表会、2025 年 9 月
- (4) 中野 晋・西村 実穂・徳永 雅彦：輪島市における学校施設の地震被害と教育継続、第 45 回地震工学研究発表会、2025 年 9 月
- (5) 徳永 雅彦・中野 晋：令和 6 年能登半島地震における石川県測量設計業協会の対応について、第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2025 年 12 月
- (6) 徳永 雅彦・中野 晋：令和 6 年能登半島地震における石川県建設業協会の対応について、第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2025 年 12 月
- (7) 西村 実穂・中野 晋・徳永 雅彦：令和 6 年能登半島地震による石川県志賀町、輪島市の保育施設の被害と保育継続、第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2025 年 12 月

6. 4 受賞・表彰（名前，授与機関名，受賞年月日 など）

1) 令和7年度日本沿岸域学会論文賞

大谷 壮介・中西 敬・上月 康則：市民参加型生物モニタリング調査結果を用いた大阪湾沿岸部潮間帯の底生動物の変化と市民参加の役割に関する考察、2025年7月12日

2) 日本海洋工学会 JAMSTEC 中西賞

安田 誠宏・櫻井 健太・横田 杏圭・山中 亮一・松下 紘資・田島 佳征・松本 範子：2026年1月16日

3) グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン 2026 研究者学生部門 チャレンジ賞

池ヶ谷 咲妃・西田 貴明：グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン 2026 実行委員会、三重県いなべ市の伝統的水利施設「マンボ」は地域の生物多様性を支えるグリーンインフラか？、2026年1月29日

4) 令和7年度日本沿岸域学会論文賞

安田 誠宏・櫻井 健太・横田 杏圭・山中 亮一・松下 紘資・高野 向後・田島 佳征・松本 範子・富永 隼賢・大熊 康平・佐藤 裕則・中西 敬：中空ブロック型人工リーフにおける継続調査に基づくサンゴの生育状況と堆積物量に関する考察

5) 2025年度神戸市立工業高等専門学校教育表彰

宇野 宏司：神戸市立工業高等専門学校、学力向上以外の取り組み、防災関連の出前授業をはじめとした連携教育活動の推進

6. 5 その他

<災害医療研究部門>

内海 千種

- (1) 「災害後の被災者支援の基本～これからの災害支援に備えて」、シンポジウム、東日本大震災 15 年目を迎えて：“心のケア” が問い直すもの in 宮城、2026年3月7日

<危機管理部門>

光原 弘幸

- (1) 考えて備えるための ICT 活用型防災教育”、AXIES 教育技術開発部会 第 21 回研究会、2025年8月27日
- (2) 防災教育 VR 出展、ビジネスチャレンジメッセ TOKUSHIMA 2025、アスティとくしま、2025年10月9～11日

Ⅲ 徳島大学環境防災研究センター規則

平成16年2月20日

規則第1821号制定

(設置)

第1条 徳島大学（以下「本学」という。）に、徳島大学環境防災研究センター（以下「センター」という。）を置く。

(目的)

第2条 センターは、本学において地域の防災と自然環境保全に関する研究を推進するとともに、地域に密着した活動を通して地域貢献の責務を果たすことを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 地域防災に関する研究と地域支援
- (2) 地域の自然環境保全に関する研究と地域支援
- (3) 安全・安心な地域社会の形成に関する研究と地域支援
- (4) その他、地域の防災と自然環境保全に関する研究教育に必要な事項

(組織)

第4条 前条の目的を達成するため、センターに次の部門を置く。

- (1) 防災研究部門
- (2) 災害医療研究部門
- (3) 環境研究部門
- (4) 危機管理研究部門

(職員)

第5条 センターに次の職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 部門長
- (4) 専任教員（特任教員を含む。以下同じ。）
- (5) 部門スタッフ
- (6) その他必要な職員

(センター長及び副センター長)

第6条 センター長は、センターの専任教授のうちから第7条に規定する運営委員会の意見を聴いて、学長が命ずる。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

3 副センター長は、前条の職員（本学の専任教授又は准教授に限る。）のうちから第7条に規定する運営委員会の意見を聴いて、学長が命ずる。

4 副センター長は、センター長の職務を補佐する。

5 センター長及び副センター長の任期は、2年とする。ただし、センター長及び副センター長が任期の途中で欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

6 センター長及び副センター長は、再任されることができる。

（部門長及び部門スタッフ）

第6条の2 部門長は、第7条に規定する運営委員会の意見を聴いて、センター長が命じ、又は委嘱する。

2 部門スタッフは、部門長の推薦に基づき、センター長が命じ、又は委嘱する。

3 部門長の任期は、2年とする。ただし、部門長が任期の途中で欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 部門長は、再任されることができる。

（専任教員）

第6条の3 専任教員は、センターの運営を補助し、所属する部門の業務を処理する。

（運営委員会）

第7条 センターに、業務の計画と実施に関して必要な事項を審議するため、環境防災研究センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

第8条 運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) センターの管理運営の基本方針に関する事項
- (2) センターの事業計画に関する事項
- (3) センターの予算・決算に関する事項
- (4) センターに係る人事に関する事項
- (5) センターの自己点検・評価に関する事項
- (6) その他センターの管理運営と業務に関する必要な事項

第9条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 部門長
- (4) 専任教員
- (5) その他運営委員会が必要と認めた者

2 前項第5号の委員は、学長が命じる。

第9条の2 前条第1項第5号の委員の任期は、2年とする。ただし、当該委員が任期の途中で欠員

となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項の委員は、再任されることができる。

第10条 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

2 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、副センター長が、その職務を代理する。

第11条 運営委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 議事は、出席した委員の過半数の賛成をもって決し、賛否同数のときは、議長の決するところによる。

3 運営委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(部門長連絡会議)

第12条 センター業務の企画と実施に必要な情報交換と相互連絡を密にするとともに、運営委員会の委嘱により、自己点検・評価を実施するため、部門長連絡会議（以下「連絡会議」という。）を開催する。

2 連絡会議は、センター長が招集する。

3 連絡会議には部門長のほかセンター長及び副センター長が出席する。

(専門委員会)

第13条 運営委員会に専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の所掌事項、組織及び運営に関し必要な事項は、運営委員会が定める。

(事務)

第14条 センターに関する事務は、研究・産学連携部常三島研究・産学支援課において処理する。

(雑則)

第15条 この規則に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この規則施行後最初に任命されるセンター長、副センター長及び部門主任は、第6条第3項の規定にかかわらず、学長が選出し、命ずるものとし、その任期は、同条第5項の規定にかかわらず、平成17年3月31日までとする。

3 この規則施行後、最初に任命される第9条第1項第3号の委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成17年3月31日までとする。

附 則（平成18年3月31日規則第123号改正）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成１８年５月１６日規則第３号改正）

- 1 この規則は、平成１８年５月１６日から施行し、この規則による改正後の徳島大学環境防災研究センター規則の規定は、平成１８年４月１日から適用する。
- 2 この規則施行後、最初に任命される総務担当の副センター長の任期は、第６条第５項の規定にかかわらず、平成１９年３月３１日までとする。

附 則（平成１８年８月９日規則第１９号改正）

この規則は、平成１８年８月９日から施行する。

附 則（平成１９年２月１６日規則第４２号改正）

この規則は、平成１９年４月１日から施行する。

附 則（平成１９年３月１６日規則第７３号改正）

この規則は、平成１９年４月１日から施行する。

附 則（平成２１年３月２４日規則第１０１号改正）

この規則は、平成２１年４月１日から施行する。

附 則（平成２２年２月２６日規則第２５号改正）

この規則は、平成２２年４月１日から施行する。

附 則（平成２５年３月１９日規則第８９号改正）

- 1 この規則は、平成２５年４月１日から施行する。
- 2 徳島大学環境防災研究センター研究生規則（平成１８年度規則第２０号）は、廃止する。

附 則（平成２６年９月１９日規則第１１号改正）

- 1 この規則は、平成２６年１０月１日から施行する。
- 2 この規則施行後、最初に任命される室長の任期は、第６条の３第３項の規定にかかわらず、平成２７年３月３１日までとする。

附 則（平成２７年３月１７日規則第４０号改正）

この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

附 則（平成２８年３月２４日規則第９８号改正）

この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

附 則（平成２９年３月２１日規則第４８号改正）

この規則は、平成２９年４月１日から施行する。

附 則（平成３０年３月８日規則第６４号改正）

この規則は、平成３０年４月１日から施行する。

附 則（平成３１年３月２８日規則第８９号改正）

この規則は、平成３１年４月１日から施行する。

附 則（令和２年３月２５日規則第８０号改正）

この規則は、令和２年４月１日から施行する。

附 則（令和２年８月３日規則第１８号改正）

この規則は、令和２年９月１日から施行する。